

千歳市の教育

2023



4年ぶりの再開した千歳市・指宿市青少年相互交流事業（指宿市での歓迎式）



4年ぶりにアメリカ合衆国アンカレジ市にあるミアーズ中学校へ訪問した際の様子

「WBC で実現しよう！未来に羽ばたく千歳の教育」



千歳第二小学校で開催された世界遺産こどもサミットの様子



令和5年2月に千歳市の給食で初登場した「揚げパン」

千歳市教育委員会

目次

I	千歳市の概要	1
	〔1〕 位置及び地勢	1
	〔2〕 気候	1
	〔3〕 人口	2
	〔4〕 地名の由来	2
II	教育計画	3
	〔1〕 千歳市教育大綱	3
	〔2〕 令和5年度教育行政執行方針	3
	〔3〕 千歳市第7期総合計画（教育関係）（令和3年度～令和12年度）	5
	〔4〕 千歳市教育振興基本計画（令和3年度～令和12年度）	8
	〔5〕 千歳市子どもの読書活動推進計画（第3次）（令和3年度～令和12年度）	9
III	教育行財政	10
	〔1〕 教育行政	10
	1 教育委員・歴代教育委員長・歴代教育長・歴代教育委員	10
	2 教育委員会会議の開催状況	12
	3 教育行政の沿革	12
	4 教育委員会組織と事務分掌	17
	〔2〕 教育財政	20
	1 教育予算	20
	2 令和5年度主要事業予算	22
IV	学校教育	23
	〔1〕 学校教育の主な施策	23
	1 社会で生きる力を育む教育の推進	23
	2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	24
	3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実	25
	4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進	26
	5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実	27
	6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承	28
	7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進	28
	〔2〕 児童生徒数の推移	29
	1 小学校	29
	2 中学校	29
	〔3〕 市内小中学校の変遷	30
	〔4〕 学校の概要	34
	1 小学校	34
	2 中学校	52
	3 幼稚園	61
	4 認定こども園	61

5	高等学校.....	63
6	大学・専修学校.....	67
〔5〕	就学の助成.....	68
1	就学援助.....	68
2	特別支援教育助成.....	69
3	奨学金制度.....	70
4	私立幼稚園助成.....	71
〔6〕	学校保健.....	72
1	児童生徒の体位.....	72
2	災害共済給付.....	72
〔7〕	学校給食.....	73
1	施設の概要.....	73
2	学校給食の状況.....	73
3	運営方法.....	73
4	給食校及び配食数.....	74
5	給食費.....	74
6	栄養基準.....	74
〔8〕	生徒指導・青少年指導.....	75
1	教育相談.....	75
2	不登校児童生徒.....	76
3	いじめに関する取組.....	77
4	各種事故.....	77
5	児童生徒の安全確保.....	78
6	青少年指導人数.....	78
V	社会教育.....	79
〔1〕	生涯学習・社会教育の主な施策.....	79
〔2〕	社会教育委員・公民館運営審議会委員.....	80
1	社会教育委員.....	80
2	公民館運営審議会委員.....	80
〔3〕	社会教育事業.....	81
〔4〕	社会教育施設.....	83
1	千歳市立図書館.....	83
2	千歳市立千歳公民館.....	85
3	千歳市民文化センター（北ガス文化ホール）.....	88
4	千歳市民ギャラリー.....	91
5	千歳市民活動交流センター「ミナクール」.....	93
6	千歳市青少年会館.....	94
〔5〕	文化財.....	95
1	施設概要.....	95
2	沿革.....	95

3 国指定史跡.....	95
4 国指定重要文化財.....	96
5 国指定重要無形民俗文化財.....	97
6 市指定文化財.....	97
〔6〕 公益財団法人千歳青少年教育財団.....	103
1 目的.....	103
2 主な事業内容.....	103
3 サケのふるさと 千歳水族館（旧「千歳サケのふるさと館」）.....	103
4 教育事業.....	105
〔7〕 社会体育事業.....	107
〔8〕 学校開放事業.....	108
1 体育館.....	108
2 グラウンド.....	108
3 武道場.....	108
4 利用状況.....	108
〔9〕 社会体育施設.....	110
1 千歳市温水プール.....	110
2 千歳市スポーツセンター.....	111
3 千歳市開基記念総合武道館.....	112
4 その他の社会体育施設.....	113



千歳市章（昭和27年5月1日制定）

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現するとともに、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など、伸びゆく千歳の姿を描いています。

I 千歳市の概要

〔1〕 位置及び地勢

北海道の中南部、石狩平野の南端に位置する千歳市は、札幌市や苫小牧市など4市4町に隣接し、札幌市へは北へ40km、JR快速電車で約30分の至近距離にあります。

市街地の標高は15m前後の低地となっていて、国内では最も低い25m前後の分水嶺が飛行場の付近にあり、江戸期には千歳川などを利用する北海道南部の河川交通の陸上部分・シコツ越えの地として栄えました。

市域の西部は山岳地帯で国立公園支笏湖地域を形成しており、豊かな自然に恵まれています。支笏湖は、約4万年前に支笏火山の大噴火でできたカルデラ湖で、面積が国内8位、最大水深及び貯水量は国内2位の大きな湖です。市街地は支笏湖を源とする千歳川の沖積地に広がり、飛行場・空港、工業団地、自衛隊駐屯地・基地などがあり、東部は丘陵地帯で自然豊かな農業地帯となっています。

千 歳 市 の 位 置		
方位	町名	経緯度
極東	東丘	東経 141° 52' 12"
極西	美笛	東経 141° 10' 17"
極南	美笛	北緯 42° 40' 53"
極北	新川	北緯 42° 57' 12"

千歳市役所の位置 東経：141° 39' 04" 北緯：42° 49' 18"

広 が り 東西：57.20km 南北：30.40km

面 積 594.95 km²

隣 接 市 町 村 東：由仁町、安平町 西：伊達市

南：苫小牧市、白老町 北：札幌市、恵庭市、長沼町

〔2〕 気候

千歳市は、太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点にあり、梅雨や台風の影響が少なく、年間降水量は1,000mm程度で降水量も道内では少ない地域です。また、夏季の最高気温は30℃程度、冬季には最低気温が0℃未満の冬日が続き、年間の平均気温は7℃程度であり、内陸型のしのぎやすい気候となっています。

〔3〕 人口

千歳に戸長役場が置かれたのは、明治13年です。当時は、47世帯209人の宿場町に過ぎず、大正後期から昭和初期に至っても人口は5,000人前後の寒村でしたが、昭和14年に海軍航空隊の基地完成により人口が10,000人を超え、以来、戦後の米オクラホマ州兵団駐留や自衛隊の移駐などで人口は増え続け、昭和33年7月1日には、北海道第17位の人口となり、道内24番目の「市」になりました。

その後、市営工業団地への企業誘致や空港旅客ターミナルビルの完成など都市機能の充実を背景に、人口は順調に増えていきました。人口は平成7年第16回調査で8万人、17年には9万人を超え、22年は93,604人、27年は95,664人、令和2年では98,019人となり、人口増加数は、道内他市町村が人口減少の中、札幌市に次ぐ道内第2位で、増加率は道内市部第1位となり、増加の一途をたどっています。

千歳市の人口は、現在道内第10位となっております。

令和5年5月1日現在の人口・世帯	
男	49,164人
女	47,635人
総人口	96,799人
世帯数	51,271世帯

〔4〕 地名の由来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくくぼ地、または谷」という意味で、当時は、大空に鶴が舞い、川にはサケが溯る自然にあふれた大地でした。また、シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートとなる「シコツ越え」があり、万治元年(1658年)に、現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるなど、人の往来が多い地でした。文化2年(1805年)、シコツ場所担当の箱館奉行調役山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に新しい地名を付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから、「鶴は千年、亀は万年」の故事から千歳と命名されました。

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。
千歳川の 清い流れ。
開拓 ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを
願い、この憲章をかかげて、力強く
全身をつづけます。

1. 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
1. 自然を愛し、季節に親しみ、
快く 楽しい まちにしましょう。
1. きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
1. 年よりを敬い、子どもの夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
1. 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。
(昭和54年7月11日制定)



「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」
をイメージする市民憲章像
(平成3年7月20日建)

II 教育計画

〔1〕 千歳市教育大綱

1 基本目標

充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち

2 基本方針

- (ア) 社会で生きる力を育む教育の推進
- (イ) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- (ウ) 学びを支え、つなぐ教育環境の充実
- (エ) 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進
- (オ) 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実
- (カ) まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承
- (キ) 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進

〔2〕 令和5年度教育行政執行方針

1 教育行政の基本姿勢

- (ア) 未来を拓く人づくり
- (イ) つながりの教育による人づくり
- (ウ) ふるさと千歳を育む人づくり

2 教育重点施策

- (ア) 確かな学力の向上
- (イ) 教育環境の整備
- (ウ) 特別支援教育の充実
- (エ) 生涯学習の推進

3 主な施策

- (ア) 社会で生きる力を育む教育の推進
 - 学年・学級経営
 - 確かな学力の育成
 - 外国語教育
 - 情報教育
- (イ) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
 - いじめ・不登校
 - ふるさと教育
 - 読書活動
 - 体力・運動能力
 - 食育
 - 学校給食
- (ウ) 学びを支え、つなぐ教育環境の充実
 - 学校運営
 - 学びのセーフティネットの構築
 - 家庭教育支援
 - 学校と地域の連携・協働
 - 学校段階等間の連携・交流
- (エ) 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進
 - 多様な主体の連携による学び合いと交流の場
 - 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用
 - 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動
 - 学んだ成果を地域で生かす活動
- (オ) 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実
 - 乳幼児期からの家庭教育を支える学び
 - 青少年の自立と成長を育む学び

- 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学び
- 読書環境の充実
- (カ) まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承
 - 文化芸術に親しむ環境の整備
 - 文化財の保存と調査・研究及び継承
 - 文化財の活用
 - 世界文化遺産登録と資産保護の取組

〔3〕 千歳市第7期総合計画（教育関係）（令和3年度～令和12年度）

基本目標	展開方針	基本方向
充実した学びと豊かな文化・スポーツのまち	生涯学習により市民が活躍するまちづくりを推進します。	<p>市民が生涯を通じて学ぶことができ、学びを通してまちづくりで活躍することができる基盤づくりを推進します。</p> <p>地域と学校の連携により、地域で子どもたちの学びや体験を支える活動を充実するとともに、市民が学んだ成果を生かしてまちづくりに取り組む活動の支援に努めます。</p>
	生き生きと学び育つことができる小中学校教育の充実に努めます。	<p>多様化する学習ニーズに対応し、時代に応じた学習活動を行えるよう、学習者用コンピュータや電子黒板などのICTを活用したわかりやすい授業の実践と活用能力の育成を図るなど、教育環境の充実に努めます。</p> <p>児童生徒が学校生活を安全で快適に送れるよう学校施設の計画的な整備を推進します。</p> <p>過大規模校の解消や、市内小中学校の適正規模・適正配置に努めます。</p> <p>学習指導要領に則し、求められる資質・能力の育成を目指して必要な教育課程を確実に実施するとともに、学校の実態や地域の特徴を生かして、特色ある教育活動を推進します。</p> <p>「豊かな心」「確かな学力」「健やかな体」のバランスが取れた子どもたちを育むため、学力向上・体力の向上に資する施策を推進します。</p> <p>幼児教育施設・小中学校・高等学校・大学が連携し、円滑な接続を目指すことで児童生徒の育ちを一貫して支援できる体制づくりに努めます。</p> <p>学校・家庭・地域が、「子どもをどのように育てていくか」、「どのような教育を実現していくか」という目標やビジョンを共有し、力を合わせて学校運営に取り組み「地域とともにある学校」の環境づくりを推進します。</p> <p>教員の指導力やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、業務の見直しや合理化などの働き方改革を進め、教員が児童生徒とゆとりを持って向き合える環境づくりに努めます。</p>

基本目標	展開方針	基本方向
		<p>子どもの成長を見守り、支える主体として家庭の教育力向上を図るため、学校から保護者への働きかけを継続するなど、学校教育と家庭教育の連携を推進します。</p> <p>障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援することを目的に、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、特別支援教育体制の整備に努めます。</p> <p>いじめ問題への対応は学校・家庭・地域・関係機関と連携し、根絶に向けた取組を推進します。</p> <p>不登校等の悩みや問題行動を抱える児童生徒の現状を把握し、学校復帰に向けた適切な指導体制を構築するとともに、学校や関係機関との連携の中で早期解決に努めます。</p> <p>児童生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、食に関する指導を実施するなど学校給食の充実に努めます。</p> <p>安全・安心で栄養バランスの取れた学校給食を提供するとともに、食物アレルギーに対応した、新学校給食センターの整備に努めます。</p>
	<p>高等教育等の機会を確保するとともに、学園都市の形成に努めます。</p>	<p>生徒や学生の学ぶ機会の確保に努め、より高度な専門知識を身につける機会を持てるよう努めます。</p> <p>公立千歳科学技術大学が千歳市の知の拠点として展開できるように「スマートネイチャーシティちとせ構想」の取組や地域社会との連携・協力の支援に努めます。</p> <p>市内にある高等教育機関が将来にわたって千歳市の活力となるよう連携した取組を進め、学園都市の形成に努めます。</p>
	<p>各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実に努めます。</p>	<p>保護者の家庭教育を支える学習機会の充実に努めます。</p> <p>市民それぞれのライフステージにおいて、変化の激しい社会を自立して人生を豊かに生きていくことができる学習機会の充実に努めます。</p> <p>地域課題・現代的課題に関する学習など、市民一人ひとりの関心を高</p>

基本目標	展開方針	基本方向
		め、まちづくりの当事者意識を持って行動するために必要な学習機会の充実に努めます。
		安全で快適に利用できる社会教育施設の充実や、誰もが読書に親しみ、知識を深める環境づくりに努めます。
		青少年の学校外の体験活動や非行防止の取組を進め、青少年が健全に育つ環境づくりに努めます。
		青少年のネットトラブルに対応していくため、スマートフォン等の正しい利用や情報モラルの向上を促進します。
	文化芸術の振興と文化財の保護・継承に努めます。	多様な文化芸術に親しむことができる機会や地域に根ざした文化芸術活動の支援の充実に努めます。
		千歳の貴重な文化財を大切に保存、活用し、将来にわたり市民が文化財の持つ価値や魅力を楽しむよう、次世代へと確実に伝えるとともに、市民と一緒に文化財を地域で守り継承していくことを目指します。
		先人から受け継がれてきたアイヌ語や伝統舞踊、伝統儀礼をはじめとしたアイヌの伝統及び文化の保存・継承に努めるとともに、普及・啓発の取組を進め、アイヌの歴史や伝統・文化の魅力について市民の理解を深めます。
	誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの普及に努めます。	健康づくりや体力増進に関する市民の意識を高めるとともに、生涯を通じて誰もがスポーツに親しむことができる場や機会の充実に努めます。
		多様化するスポーツニーズを把握し、スポーツ活動や指導者体制の充実に努めます。
		既存スポーツ施設の老朽化に伴う整備改修を進め、快適で安全なスポーツ施設の充実に努めます。

〔4〕 千歳市教育振興基本計画（令和3年度～令和12年度）

基本目標	施策項目
社会で生きる力を育む教育の推進	認め合い、高め合う学年・学級経営の充実
	確かな学力の育成
	特別支援教育の充実
	外国語教育・国際理解教育の充実
	情報教育の充実
	キャリア教育・体験的な活動の充実
	防災・安全教育の充実
豊かな心と健やかな体を育む教育の推進	道徳教育の充実
	いじめ・不登校に対する取組の充実
	ふるさと教育の充実
	読書活動の推進
	体力・運動能力の向上
	食育の推進
	健康教育の推進
学びを支え、つなぐ教育環境の充実	学校運営の充実
	学校施設・設備の充実
	学びのセーフティネットの構築
	教員の研修の推進
	家庭教育支援の充実
	学校と地域の連携・協働の充実
	学校段階等間の連携・交流の充実
市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進	多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実
	学習情報と市民活動交流センター機能の充実
	学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
	地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実
	学んだ成果を地域で生かす活動の充実
各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実	乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実
	青少年の自立と成長を育む学びの充実
	青少年非行防止への取組の推進
	成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実
	ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実
	社会教育施設機能と読書環境の充実
まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承	文化芸術に親しむ環境の整備
	地域に根差した文化芸術活動への支援充実
	文化財の保存と調査・研究及び継承の支援
	文化財の活用と推進
	世界文化遺産登録と資産保護の取組の推進
誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進	スポーツ活動の啓発と参加促進
	スポーツに親しめる機会の充実
	スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成
	スポーツ施設の機能充実と利便性向上

〔5〕 千歳市子どもの読書活動推進計画（第3次）（令和3年度～令和12年度）

基本理念	推進方向	施策の概要と主な取組
<p>全ての子どもが読書習慣を身に付け、自主的に読書活動を行うことができるよう、家庭、地域、学校等の連携を促進し、積極的にその環境整備を進める。</p>	<p>家庭、地域、学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進</p>	<p>施策1：家庭における読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本を通じて親子がふれあうブックスタート事業の実施 絵本等の紹介による乳幼児期の読書機会の充実 家読（うちどく）の積極的な推進 <p>施策2：地域における読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> こどもネウボラ事業における読書活動の推進 読書の楽しみを知るきっかけとなる読み聞かせの実施（図書ボランティアの活用促進） 「子ども読書の日」のイベント開催及びポスターの配布・掲示による啓発 図書ボランティアの育成活動を継承するための講座の開催 図書館まつりの実施 <p>施策3：学校等における読書活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝読書などの読書活動の推進 子どもが集まる施設でリーフレットやポスターを活用した情報発信 小中学校における新刊図書、推奨図書などの展示 高等学校で実施する読書活動の推進
	<p>子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備</p>	<p>施策1：地域における読書環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書の団体貸出による利用の促進 中学生、高校生向けの図書の充実 図書館だよりの発行 移動図書館車の運行 子ども読書週間事業の実施 障がいや発達に遅れのある子どもに対応した資料の整備・充実 <p>施策2：学校図書館司書における配置環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の整備と設備の充実 学校図書館の地域開放 学校図書館司書の配置の拡充

III 教育行財政

〔1〕 教育行政

1 教育委員・歴代教育委員長・歴代教育長・歴代教育委員



佐々木教育長



荒井
教育長職務代理者



杉本委員



曙委員



柴口委員

【教育委員】

役職名	氏名	就任年月日
教育長	佐々木 智	令和元年10月1日就任（2期目）
教育長職務代理者	荒井 由紀恵	平成27年10月1日就任（3期目）
委員	杉本 功	令和3年10月1日就任（1期目）
委員	曙 嘉輝	令和4年10月1日就任（1期目）
委員	柴口 史子	令和05年04月01日就任（1期目）

【歴代教育委員長】

歴代	氏名	就任期間			
初代	五十嵐 直蔵	昭和31年10月1日	～	昭和34年5月31日	1期（2年8か月）
2代	岸本 貞治	昭和34年6月1日	～	昭和46年9月30日	4期（12年4か月）
3代	河野 有三	昭和46年4月30日	～	昭和60年9月30日	4期（14年5か月）
4代	島倉 充平	昭和60年10月11日	～	平成9年9月30日	3期（12年）
5代	伊藤 博邦	平成9年10月1日	～	平成17年9月30日	2期（8年）
6代	山田 律子	平成17年10月1日	～	平成28年9月30日	3期（11年）

※新教育委員会制度に伴い、教育長の任期更新時（平成28年9月30日）に委員長廃止

【歴代教育長】

歴代	氏名	就任期間			
初代	菅原 憲一	昭和31年10月1日	～	昭和34年3月13日	1期（2年5か月）
2代	半田 景明	昭和34年6月16日	～	昭和50年3月20日	5期（16年9か月）
3代	宮澤 一成	昭和50年6月1日	～	昭和63年9月30日	4期（13年4か月）
4代	佐藤 利雄	昭和63年10月1日	～	平成8年9月30日	2期（8年）
5代	工藤 文夫	平成8年10月1日	～	平成13年9月30日	2期（5年）
6代	小林 義知	平成13年10月1日	～	平成24年9月30日	3期（11年）
7代	宮崎 肇	平成24年10月1日	～	令和元年9月30日	2期（7年）
8代	佐々木 智	令和元年10月1日	～		2期目

【歴代教育委員】

氏名	委員（在任期間）			委員長	教育長	委員
内村 ナツ	昭和31年10月1日	昭和43年9月30日	3期（12年）			○
信田 信太郎	昭和31年10月1日	昭和41年9月30日	3期（10年）			○
五十嵐 直蔵	昭和31年10月1日	昭和34年5月31日	1期（2年8か月）	◎		
高橋 三次郎	昭和31年10月1日	昭和34年5月13日	1期（2年4か月）			○
菅原 恵一	昭和31年10月1日	昭和34年3月13日	1期（2年5か月）		○	
岸本 貞治	昭和34年6月1日	昭和46年9月30日	4期（12年4か月）	◎		
半田 景明	昭和34年6月16日	昭和50年3月20日	5期（16年9か月）		○	
若木 キサ	昭和34年7月3日	昭和36年3月	1期（1年8か月）			○
鈴木 清子	昭和36年3月31日	昭和43年9月30日	2期（7年6か月）			○
阿部 忠彦	昭和41年10月1日	昭和45年9月30日	1期（4年）			○
鎌倉 末吉	昭和43年10月1日	昭和46年4月7日	1期（2年6か月）			○
藤本 敬一	昭和43年10月1日	昭和55年9月30日	3期（12年）			○
高塚 興正	昭和45年10月1日	平成2年9月30日	5期（20年）			○
河野 有三	昭和46年4月30日	昭和60年9月30日	4期（14年5か月）	◎		
矢野 和子	昭和46年10月1日	昭和58年9月30日	3期（12年）			○
宮澤 一成	昭和50年6月1日	昭和63年9月30日	4期（13年4か月）		○	
信田 茂	昭和55年10月1日	平成4年9月30日	3期（12年）			○
寺山 恵美子	昭和58年10月1日	平成7年9月30日	3期（12年）			○
島倉 充平	昭和60年10月1日	平成9年9月30日	3期（12年）	◎		
佐藤 利雄	昭和63年10月1日	平成8年9月30日	2期（8年）		○	
佐藤 嘉彦	平成2年10月1日	平成6年8月21日	1期（3年10か月）			○
今 清	平成4年10月1日	平成12年9月30日	2期（8年）			○
三ツ野 仁	平成7年10月1日	平成18年9月30日	3期（11年）			○
橋爪 光子	平成7年10月1日	平成19年9月30日	3期（12年）			○
工藤 文夫	平成8年10月1日	平成13年9月30日	2期（5年）		○	
伊藤 博邦	平成9年10月1日	平成17年9月30日	2期（8年）	◎		
竹嶋 勝利	平成12年10月1日	平成20年9月30日	2期（8年）			○
小林 義知	平成13年10月1日	平成24年9月30日	3期（11年）		○	
阿部 弓枝	平成19年10月1日	平成27年9月30日	2期（8年）			○
明石 光正	平成20年10月1日	平成28年9月30日	2期（8年）			○
山田 律子	平成17年10月1日	平成29年9月30日	3期（12年）	◎※		○
佐々木 義朗	平成18年10月1日	令和4年9月30日	4期（16年）			○
宮崎 肇	平成24年10月1日	令和元年9月30日	2期（7年）		○	
荒井 由紀恵	平成27年10月1日	-	3期目			○
橋場 正人	平成28年10月1日	令和5年3月31日	2期（6年6か月）			○
吉村 恭子	平成29年10月1日	令和2年9月30日	1期（4年）			○
佐々木 智	令和元年10月1日	-	2期目		○	
杉本 功	令和3年10月1日	-	1期目			○
曙 嘉輝	令和4年10月1日	-	1期目			○

氏名	委員（在任期間）			委員長	教育長	委員
柴口史子	令和5年4月1日	-	1期目			○

2 教育委員会会議の開催状況

回数	開催日	議 題
1	令和4年 1月26日	教育委員会職員の任免について ほか
2	令和4年 2月18日	千歳市議会第1回定例会教育行政執行方針及び教育行政報告について ほか
3	令和4年 3月 3日	教職員の異動内申について
4	令和4年 3月23日	教育委員会職員の任免について ほか
5	令和4年 4月27日	千歳市奨学生選考委員会委員の委嘱又は任命について ほか
6	令和4年 5月23日	千歳市議会第2回定例会教育行政報告について ほか
7	令和4年 6月29日	令和4年度千歳市学校運営協議会委員の委嘱について ほか
8	令和4年 7月20日	教育委員会職員の任免について ほか
9	令和4年 8月31日	令和4年度一般会計補正予算（教育費関係予算）について ほか
10	令和4年 9月 9日	千歳市議会第3回定例会教育行政報告について ほか
11	令和4年10月26日	令和3年度千歳市教育振興基本計画の総合評価結果について ほか
12	令和4年11月21日	千歳市議会第4回定例会教育行政報告について ほか
13	令和4年12月26日	教育委員会職員の任免について ほか

3 教育行政の沿革

（ア）教育委員会の発足

戦後の民主化、地方分権化の一環として、昭和23年7月15日に教育委員会法が制定され、市町村については、昭和27年11月1日までに設置することとされました。教育委員会の委員は、住民の選挙によって決められ、市町村の委員5人のうち1人は議会から選ばれました。任期は4年ですが、最初の選挙における上位2人は4年、次の2人は2年で、2年ごとに半数の委員を改選するという規定でした。

本市では、昭和27年10月5日に第1回の選挙が行われ、4年任期の委員に今与三郎、市村政五郎、2年任期の委員に中川要助、野沢栄三郎が選ばれ、さらに町議会選出の吉田信一の5名でスタートしました。11月1日第1回教育委員会会議が開催され、委員長に今与三郎、副委員長に中川要助を選出しています。その他、教育長として町教育民生課長の谷口好忠を任命し、教育委員会会議規則や教育委員会事務局組織規程等が決定されています。発足当初は、米オクラホマ州兵師団の駐留による町の風紀問題や、人口急増に伴う不足教室の対策など、教育を取り巻く難問を抱えることになりました。昭和28年4月1日、谷口教育長に代わり、北海道民生部社会課民生・保護生活係長の佐藤勝蔵が招かれて教育長に就任しています。昭和29年6月18日に公職選挙法の一部改正があり、2年委員の任期は更に2年間延長されました。この年、野沢栄三郎委員の辞任に伴い中村竹五郎が繰上当選により委員に就任し、更に、今与三郎委員長が辞任したため、翌30年4月30日の地方統一選挙で町教育委員会委員補欠選挙が行われ、熊谷功男が委員に当選しました。議会側からは、新たに佐藤文喜が選任され、後任委員長には、副委員長であった中川要助が、副委員長には市村政五郎が選ばれました。昭和31年6月の第2回国会において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の成立（同年10月1日施行）に伴い、教育委員会委員の公選制が廃止され、地方公共団体の長が議会の同意を得て委員を任命することになりました。同年9月、第3回定例会町議会において、五十嵐直蔵、信田信太郎、高橋三次郎、内村ナツ、菅原恵一が議会の同意のもとに委員に任命され、委員長に五十嵐直蔵、副委員長に内村ナツ、教育長に菅原恵一が選出されました。当時は、ジェット機の騒音問題や東千歳地区の通学問題などを抱えていました。

(イ) 沿革

年 月	主な出来事
明治12 (1879) 年10月	千歳村で初の寺子屋式教育を始める (現千歳小学校)
〃 13 (1880) 年 3月 4月	千歳村に戸長を置き事務を行う (戸長役場開庁) 千歳教育所創設
〃 22 (1889) 年 4月	千歳教育所を改め簡易小学校となる
〃 28 (1895) 年 3月	簡易小学校が千歳尋常小学校となる (現在地に校舎新築)
〃 32 (1899) 年 9月	長都に私立教育所設置 (長都小学校)
〃 33 (1900) 年 6月	千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置 (現駒里小学校)
9月	嶮淵簡易教育所設置 (泉郷小学校の前身)
11月	幌加簡易教育所設置 (幌加小学校の前身)
〃 34 (1901) 年 6月	長都の私立教育所が長都簡易教育所となる
12月	長都簡易教育所が長都尋常小学校となる
〃 35 (1902) 年 4月	近唐教育所設置 (協和小学校の前身)
〃 39 (1906) 年 9月	木臼簡易教育所設置 (中央小学校の前身)
大正元 (1911) 年10月	阿宇砂里分教場が阿宇砂里簡易教育所となる
〃 4 (1915) 年 4月	烏柵舞特別教授所設置 (水明小学校の前身)
〃 5 (1916) 年10月	二級町村制施行 (烏柵舞村、蘭越村、長都村、千歳村を合併)
〃 6 (1917) 年 4月	幌加簡易教育所が幌加尋常小学校となる
12月	阿宇砂里、嶮淵、木臼の各簡易教育所及び近唐教育所が尋常小学校となる
〃 7 (1918) 年 6月	烏柵舞に私立王子尋常小学校開校、烏柵舞特別教授所廃止
12月	新嶮淵尋常小学校開校 (東丘小学校の前身)
〃 9 (1920) 年12月	千歳尋常小学校に高等科併置
〃 12 (1923) 年 4月	千歳尋常小学校根志越分教場設置 (現千歳第二小学校)
〃 13 (1924) 年 4月	嶮淵、私立王子の両尋常小学校に高等科併置
〃 15 (1926) 年 4月	根志越分教場が千歳尋常小学校分教場根志越特別教授所となる
5月	千歳、長都、嶮淵、幌加に青年訓練所設立
昭和 6 (1931) 年 4月	釜加特別教授場設置
〃 7 (1932) 年 0月	私立王子尋常高等小学校が公立烏柵舞尋常高等小学校となる
〃 11 (1936) 年11月	釜加特別教授場を長都尋常小学校へ統合
〃 12 (1937) 年10月	烏柵舞尋常高等小学校千歳鉱山特別教授所設置
〃 14 (1939) 年 4月	千歳鉱山特別教授所が千歳鉱山尋常高等小学校となる
〃 15 (1940) 年 6月	一級町村制施行
〃 16 (1941) 年 4月	長都尋常小学校に高等科併置
〃 17 (1942) 年 5月	国民学校令の施行により小学校を国民学校と改称する
〃 21 (1946) 年 4月	町制施行 (人口13,994人)
11月	根志越教授所が千歳第二国民学校となる
〃 22 (1947) 年 4月	蘭越国民学校開校
5月	法令改正 (学校六・三制発足) により校名変更
6月	長都、千歳鉱山、嶮淵の各小学校に千歳中学校の分校を併置 (長都、千歳鉱山、泉郷各中学校の前身)
12月	千歳中学校木臼分校設置 (中央中学校の前身)
〃 23 (1948) 年 6月	千歳中学校開校
10月	幌加中学校開校 (小学校に併置、東千歳中学校の前身)
〃 24 (1949) 年 1月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場設置 (現支笏湖小学校)
4月	千歳第三小学校開校 (現在のキンピアパーク千歳)
〃 25 (1950) 年 3月	道立野幌高等学校千歳分校設置
4月	烏柵舞小学校支笏湖畔分教場が支笏湖小学校となる
12月	千歳中学校烏柵舞分校設置 (小学校に併置、水明中学校の前身)
〃 26 (1951) 年 3月	野幌高等学校千歳分校が北海道月寒高等学校千歳分校となる
4月	月寒高等学校千歳分校が町立千歳高等学校となる
12月	千歳中学校鉱山分校が千歳鉱山中学校となる
〃 27 (1952) 年 3月	千歳中学校阿宇砂里分校設置 (小学校に併置、現駒里中学校)
4月	千歳中学校が東雲町4丁目から現在地 (栄町4丁目) に移転
10月	字名変更により木臼小学校及び千歳中学校木臼分校が中央小学校及び同中央分校に烏柵舞小学校及び千歳中学校烏柵舞分校が水明小学校及び同水明分校となる
〃 28 (1953) 年 5月	字名変更により阿宇砂里小学校・千歳中学校阿宇砂里分校、嶮淵小学校・同嶮淵分校、近唐小学校、新嶮淵小学校が駒里小学校・同駒里分校、泉郷小学校・同泉郷分校、協和小学校、東丘小学校となる
〃 29 (1954) 年 4月	幌加中学校が東千歳中学校となる
5月	千歳町教育委員会委員選挙執行
〃 30 (1955) 年 4月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
5月	千歳町教育委員会委員補欠選挙執行
〃 31 (1956) 年 1月	千歳中学校長都分校が長都中学校となる
4月	千歳中学校駒里分校、同泉郷分校、同中央分校及び同水明分校が駒里中学校、泉郷中学校、中央中学校及び水明中学校となる
4月	末広小学校開校

年 月	主な出来事
昭和32 (1957) 年 4月	緑小学校開校
8月	青葉中学校開校
〃 33 (1958) 年 7月	市制施行(人口48,443人)
〃 34 (1959) 年 4月	水明小・中学校藤の沢分校設置(藤の沢小学校の前身)
11月	キウスのチャン重要文化財の指定を受ける
〃 35 (1960) 年 5月	千歳小学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進小学校に分離独立)
〃 37 (1962) 年 4月	千歳中学校特殊学級発足(精神薄弱学級：昭和46年に北進中学校に分離独立)
10月	市民会館開館
〃 39 (1964) 年 3月	水明小学校を支笏湖小学校に統合
4月	水明中学校藤の沢分校を本校に統合
9月	水明小学校藤の沢分校が千歳小学校藤の沢分校となる
10月	ウサクマイ遺跡発掘調査
〃 40 (1965) 年10月	学校給食センター開設
〃 41 (1966) 年 3月	千歳小学校特殊学級及び千歳中学校特殊学級が千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校となる
4月	水明中学校を千歳中学校に統合
〃 42 (1967) 年 1月	千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校となる
3月	日の出小学校開校
3月	藤の沢小学校廃校
〃 43 (1968) 年 3月	青少年健全育成都市宣言
4月	泉郷小学校を千歳第二小学校に泉郷中学校を千歳中学校に統合
7月	信濃小学校開校
〃 44 (1969) 年 8月	千歳第三小学校を信濃小学校に統合
12月	中央「千歳キウス環状土籬群」北海道文化財に指定
〃 45 (1970) 年 4月	千歳市開基90周年記念式典
6月	青少年会館開館
12月	支笏湖青少年研修センター開設
〃 46 (1971) 年 1月	高台小学校開校
4月	スポーツ都市宣言
9月	東千歳地区スクールバス運行開始
〃 47 (1972) 年 1月	千歳第二小学校開校50周年記念式典
3月	幌加小学校、協和小学校、東丘小学校を統合し東小学校開校
4月	千歳小学校北栄分校・千歳中学校北栄分校が北進小学校・北進中学校となる
9月	「千歳神社境内釜加神社弁天御厨子」千歳市文化財に指定
〃 48 (1973) 年 1月	真町中学校開校
3月	中央中学校を真町中学校に統合
9月	北進小学校に言語治療教室開設
〃 49 (1974) 年 1月	青葉中学校が住吉1丁目から現在地(豊里4丁目)に移転
4月	北海道千歳北陽高等学校開校(中央)
5月	北栄小学校に情緒障害特殊学級開設
〃 49 (1974) 年 3月	未広小学校が花園1丁目から現在地(富丘2丁目)に移転
4月	学校給食センターが上長都に移転
10月	北進小学校の言語治療教室を緑小学校に移設
〃 50 (1975) 年11月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設
〃 51 (1976) 年 4月	人口6万人突破(人口60,200人)
6月	富丘中学校開校
8月	支笏湖自然の村開村
12月	美々貝塚永久保存のため発掘調査
〃 52 (1977) 年 4月	北海道千歳北陽高等学校が北信濃(現在地、北陽)に移転
〃 53 (1978) 年 3月	千歳市青少年指標制定
4月	千歳中学校に言語治療教室開設
4月	祝梅小学校開校
6月	教育委員会事務局市庁舎に移転
10月	市立図書館開館
〃 54 (1979) 年 4月	「美々貝塚」「馬通看板」「磨製石棒」「男性土偶」千歳市文化財指定
〃 55 (1980) 年 7月	千歳釜山小学校、千歳釜山中学校閉校
4月	蘭越小学校を緑小学校に統合
4月	桜木小学校開校
6月	北進中学校に情緒障害特殊学級開設
10月	総合スポーツセンター完成
12月	千歳小学校開校百年記念式典
〃 54 (1979) 年 5月	「動物形土製品」千歳市文化財指定
6月	「ウサクマイ遺跡群」国の史跡に指定
7月	「動物形土製品」国の重要文化財に指定
8月	千歳市民憲章制定
10月	千歳市開基百年記念式典
〃 55 (1980) 年 7月	「キウス周堤墓群」国の史跡に指定
7月	「泉郷獅子舞」千歳市文化財(無形民俗文化財)指定
7月	「蕨手刀」千歳市文化財指定

年 月	主な出来事
昭和57 (1982) 年 2月	(財)千歳青少年教育財団設立
4月	向陽台小学校開校
〃 58 (1983) 年 2月	人口7万人突破 (人口70,051人)
3月	北進小学校に情緒障害特殊学級開設
11月	北海道都市教育長会開催
〃 59 (1984) 年 4月	市民文化センター開館
	北斗中学校開校
〃 60 (1985) 年 8月	第16回全国中学校卓球大会開催
12月	ひびけ市民の「第9交響曲」発表
〃 61 (1986) 年 4月	千歳小学校に肢体不自由特殊学級開設
7月	青空運動公園 (アスファルトリンク) 完成
〃 62 (1987) 年 4月	向陽台中学校開校
5月	千歳市民球場完成
〃 63 (1988) 年 2月	市立図書館新築移転 (青葉公園内)
4月	通学区域変更 (末広地区を富丘中学校から千歳中学校へ、清水町及び錦町1・2丁目地区を千歳中学校から真町中学校へ)
7月	青葉公園ピクニック広場完成
9月	夢ランドちとせ開催
平成元(1989) 年 4月	教育委員会事務局が本庁者から現教育委員会庁舎に移転
	千歳中学校に肢体不自由特殊学級開設
9月	第44回国民体育大会軟式野球競技会開催
10月	千歳市開基110周年記念式典
11月	青空公園ふれあいセンター完成
〃 2 (1990) 年 8月	語学指導を行う外国青年を招致し中学校巡回訪問指導開始
12月	鶴は千年塾事業により青少年海外派遣
〃 3 (1991) 年 9月	障害児教育相談員設置
10月	人口8万人突破
〃 4 (1992) 年 9月	学校週5日制開始
〃 5 (1993) 年 3月	(財)千歳市体育協会設立
	開基記念総合武道館完成
	中央小学校を千歳小学校に統合
〃 5 (1993) 年 5月	「アイヌの伝統的芸能と工芸技術」千歳市文化財 (無形民俗文化財) 指定
8月	学校給食センターが祝梅に移転
〃 6 (1994) 年 4月	北陽小学校開校 (千歳小の肢体不自由特殊学級を北陽小に移設)
8月	第24回全国中学校剣道大会開催
9月	千歳サケのふるさと館開館
〃 7 (1995) 年 4月	市民ギャラリー開館
5月	緑小学校通級指導教室 (言語) 開設
8月	駒里水泳プール完成
〃 8 (1996) 年 5月	第39回北海道学校給食研究大会開催
9月	青葉陸上競技場全天候型トラック及び管理棟全面改修完了
〃 9 (1997) 年 4月	第46回北海道公立小中学校事務研究大会 (東北・北海道合同) 石狩大会開催
6月	泉沢小学校開校
11月	適応指導教室「おあしす」開設
〃 10 (1998) 年 4月	千歳中学校開校50周年記念式典
	千歳高校全日制普通科1学級増
7月	向陽台小学校に情緒・知的障害特殊学級開設
8月	千歳市温水プール完成
10月	支笏湖小学校開校50周年記念式典
	第47回全道へき複・併置校教育研究大会石狩大会開催
〃 11 (1999) 年 1月	第38回北海道社会教育研究大会開催
3月	北陽小学校校舎増築
4月	千歳第二小学校校舎増築
11月	千歳高校に学科を新設 (国際教養科・国際流通科)
〃 12 (2000) 年 9月	千歳高校創立50周年記念事業実施
〃 13 (2001) 年 4月	北海道言語障害児教育研究大会千歳大会開催
11月	学校評議員設置
〃 14 (2002) 年 2月	長都小学校開校100周年記念式典
4月	安全対策として小・中学校にインターホン及びオートロック設置
7月	完全学校週5日制開始「総合的な学習の時間」開始
12月	人口9万人突破
〃 15 (2003) 年 3月	東千歳中学校開校50周年記念式典
4月	支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター廃館
	支笏湖小学校に知的障害特殊学級、向陽台小学校に難聴特殊学級、千歳中学校に情緒・知的障害特殊学級開設
6月	
11月	「特別支援教育推進体制モデル事業」の指定を受ける
〃 16 (2004) 年 4月	北栄小学校開校50周年記念式典
〃 17 (2005) 年 3月	向陽台小学校に肢体不自由特殊学級開設
	長都小中学校開校

年 月	主な出来事
平成17 (2005) 年 6月	支笏湖青少年研修センター閉所
10月	「北海道美々8遺跡出土品(1,164点)」国の重要文化財に指定
〃 18 (2006) 年 4月	千歳市の教育を考える市民会議設置 国の構造改革特区の認定により幼稚園の入園年齢を1才引き下げ 千歳第二小学校、東千歳中学校で2学期制の試行開始 市民文化センターがリニューアルオープン 北進小学校通級指導教室(発達)開設
5月	児童の登下校時の安全確保のため「千歳っ子見守り隊」を設置
8月	千歳市民活動交流センター「ミナクール」オープン
11月	駒里小学校開校100周年、駒里中学校開校50周年記念式典
12月	末広小学校開校50周年記念式典
〃 19 (2007) 年 2月	千歳市の教育を考える市民会議から3つの目標、20の提言を受理
3月	第8回全国中学選抜卓球大会
10月	富丘中学校校舎増築 青葉中学校開校50周年記念式典
12月	緑小学校開校50周年記念式典
〃 20 (2008) 年 3月	北陽小学校校舎増築
4月	学校二学期制開始
5・7月	市制施行50周年、ジュニアエイトサミット2008千歳支笏湖の開催記念事業として「ちとせっこ未来フォーラム」を開催
〃 21 (2009) 年 5月	サケのふるさと館開館15周年記念事業
6月	放課後こども教室のモデル事業を北栄小学校に開設
〃 22 (2010) 年 4月	埋蔵文化財センターが旧長都小中学校に移転オープン
〃 23 (2011) 年 1月	姉妹都市であるアンカレジ市ミアーズ中学校訪問事業を実施
12月	北進小中学校開級50周年・開校40周年記念式典
〃 24 (2012) 年 3月	真町中学校閉校
4月	勇舞中学校開校 北陽小学校校舎増築
〃 25 (2013) 年 4月	北海道千歳高等支援学校開校 祝梅小学校に知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級、富丘中学校に自閉症・情緒障害特別支援学級開設
〃 26 (2014) 年 3月	千歳市学校教育基本計画の策定(2014年～2020年)
4月	北陽小学校校舎増築 スポーツセンターリニューアルオープン
〃 27 (2015) 年 3月	向陽台中学校に知的障害特別支援学級開設 社会体育事業及びサケのふるさと館の所管を観光スポーツ部に移管
8月	小中学校全ての普通教室に「電子黒板、実物投影機及びブルーレイレコーダー」を配置
9月	サケのふるさと千歳水族館リニューアルオープン
〃 28 (2016) 年 4月	全小学校において、「フッ化物流口」を開始(希望児童のみ) 全小中学校土曜授業開始(年4回) 全小学校1～4年生において外国語活動開始
12月	日の出小学校開校50周年記念式典
〃 29 (2017) 年 1月	千歳市コミュニティ・スクール調査研究校として高台小学校、駒里小中学校、青葉中学校を指定
12月	千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践モデル校区として青葉中学校区、東千歳中学校区を指定
〃 30 (2018) 年 4月	高台小学校、青葉中学校において、コミュニティ・スクール導入
6月	駒里小学校において、コミュニティ・スクール導入
8月	信濃小学校開校50周年記念式典
〃 31 (2019) 年 4月	信濃小学校に知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級開設、高台小学校に知的障害、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒障害特別支援学級開設
令和元 (2019) 年 6月	千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践第2期モデル校区として勇舞中学校区、向陽台中学校区を指定
〃 2 (2020) 年 4月	青葉中学校に知的障害、病弱・身体虚弱特別支援学級、北斗中学校に知的障害、自閉症・情緒学級特別支援学級開設
6月	千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践第3期モデル校区として富丘中学校区、北斗中学校区を指定
3 (2021) 年 3月	千歳市教育振興基本計画の策定(2021年～2030年)
4月	緑小学校に知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級、千歳第二小学校に自閉症・情緒障害特別支援学級、日の出小学校に知的障害特別支援学級、桜木小学校に知的障害特別支援学級、泉沢小学校に知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級開設
7月	キウス周堤墓群を構成資産の一つとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録決定
11月	北進小中学校開校50周年記念式典
12月	東小学校開校50周年記念式典
4 (2022) 年 2月	千歳第二小学校開校100周年記念式典
4月	みどり台小学校開校 千歳小学校に知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級、末広小学校に知的障害特別支援学級、北陽小学校に知的障害、自閉症・情緒特別支援学級開設、北陽小学校に通級指導教室(言語・発達)開設
12月	勇舞中学校開校10周年記念講和特別演奏会
5 (2023) 年 4月	みどり台小学校に知的障害、自閉症・情緒障害特別支援学級開設

(イ) 教育委員会事務局事務分掌

【企画総務課】	【学校教育課】	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の会議及び委員に関する事。 ・ 教育長訓示等の制定、改廃に関する事。 ・ 教育行政の総合調整に関する事。 ・ 儀式、渉外、ほう賞及び表彰に関する事。 ・ 陳情及び請願に関する事。 ・ 共催及び後援に関する事。 ・ 情報公開及び個人情報保護に関する事。 ・ 公印の管理に関する事。 ・ 寄附採納に関する事。 ・ 法令の調査研究に関する事。 ・ 公告式に関する事。 ・ 職員の人事に関する事。 ・ 職員の服務に関する事。 ・ 職員の賞罰に関する事。 ・ 職員の研修に関する事。 ・ 職員の給与に関する事。 ・ 職員の福利厚生に関する事。 ・ 公務災害補償等に関する事。 ・ 教育委員会関係文書の收受に関する事。 ・ 教育予算及び決算に関する事。 ・ 学校の経理事務に関する事。 ・ 教材及び備品に関する事。 ・ 広報に関する事。 ・ 教育行政相談に関する事。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の通学に関する事。 ・ スクールバスに関する事。 ・ 指定校及び指定校の変更に関する事。 ・ 区域外就学に関する事。 ・ 学齢児童生徒の就学に関する事。 ・ 外国人の就学に関する事。 ・ 学齢簿に関する事。 ・ 教育活動の支援に関する事。 ・ 就学援助に関する事。 ・ 児童生徒の健康診断に関する事。 ・ 学校施設の衛生管理に関する事。 ・ 学校災害共済に関する事。 ・ 学力向上の推進に関する事。 ・ 学級編制に関する事。 ・ 教科書、副読本その他教材に関する事。 ・ 教師用指導図書に関する事。 ・ 外国語指導助手に関する事。 ・ 特別支援学級の運営に関する事。 ・ 教育支援委員会に関する事。 ・ 就学相談に関する事。 ・ 特別支援教育就学奨励に関する事。 ・ 特別支援教育に関する事。 	
	<th data-bbox="783 1256 1401 1301">【青少年課】</th> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒のいじめ・不登校問題及び事故報告に関する事。 ・ 学校適応指導教室に関する事。 ・ 青少年問題の総合的施策の調整及び企画に関する事。 ・ 青少年問題協議会に関する事。 ・ 青少年の健全育成に関する事。 ・ 青少年の非行防止及び指導に関する事。 ・ 青少年の相談指導に関する事。 ・ 青少年指導センターに関する事。 ・ 青少年関係行政機関及び団体との連絡調整に関する事。 	【青少年課】

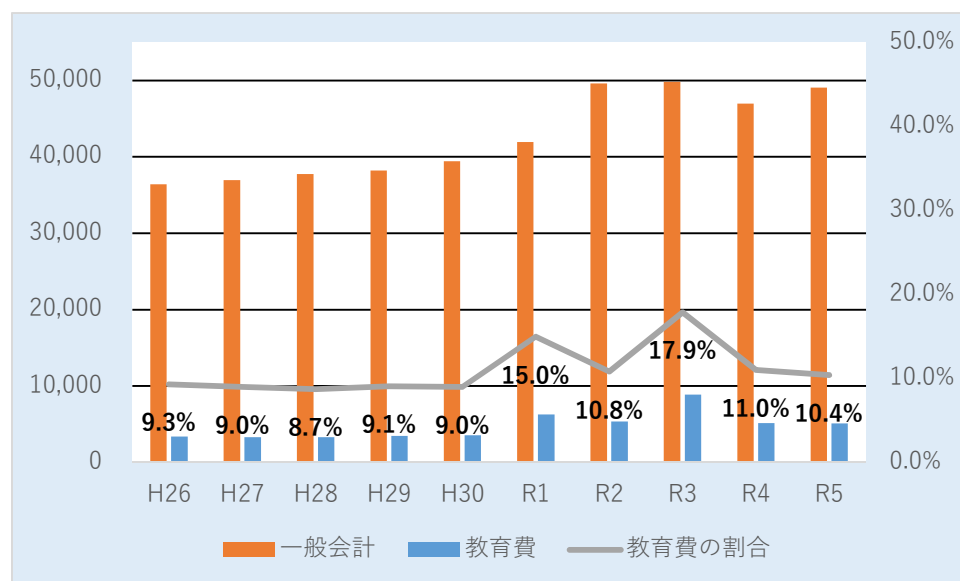
<p>【生涯学習課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会教育委員に関すること。 ・ 社会教育施設の設置、廃止に関すること。 ・ 成人教育の振興に関すること。 ・ ユネスコ活動に関すること。 ・ 社会教育関連団体の登録に関すること。 ・ 芸術文化の振興に関すること。 ・ 市民文化表彰に関すること。 ・ 文化関係団体の調整に関すること。 ・ 公益財団法人千歳青少年教育財団に関すること。 ・ 青少年の教育に関すること。 ・ 家庭教育に関すること。 ・ 生涯学習の推進に関する企画立案及び総合調整に関すること。 ・ 生涯学習の普及及び啓発に関すること。 ・ 市民活動及び地域に関する情報の提供及び活用に関すること。 ・ 市民活動交流センターの運営に関すること。 ・ みんなで、ひと・まちづくり事業に関すること。 ・ 地域学校協働活動に関すること。 ・ その他生涯学習の振興に関すること。 	<p>【文化施設課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民文化センター及び市民ギャラリーの管理運営に関すること。 ・ 図書館の管理運営に関すること。 ・ 公民館及び分館の管理運営に関すること。 ・ 公民館運営審議会に関すること。 ・ 青少年会館の管理運営に関すること。
<p>【埋蔵文化財センター】</p>	<p>【学校指導課】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化財の保護、調査、研究、保存及び活用に関すること。 ・ 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。 ・ 文化財保護審議会に関すること。 ・ 世界文化遺産の保存・活用の推進及び関係機関との調整に関すること。 ・ 埋蔵文化財センターの管理に関すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程の編成に関すること。 ・ 学校の指導助言に関すること。 ・ 学力向上検討委員会に関すること。 ・ 学力向上に係る施策立案に関すること。 ・ 教職員の人事に関すること。 ・ 教職員の服務に関すること。 ・ 教職員の賞罰に関すること。 ・ 教職員の研修に関すること。 ・ 教職員の給与に関すること。 ・ 教職員の福利厚生に関すること。 ・ 教職員の健康診断に関すること。
<p>【主幹（国指定史跡担当）】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国指定史跡の保護、調査、研究、保存及び活用に係る専門的事項及び技術的事項に関すること。 ・ 埋蔵文化財の発掘調査についての専門的及び技術的な指導・助言に関すること。 	
<p>【学校給食センター】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食センター運営審議会に関すること。 ・ 学校給食に関すること。 ・ 施設の管理・運営に関すること。 ・ 給食会計経理その他一般事務に関すること。 	

〔2〕 教育財政

1 教育予算

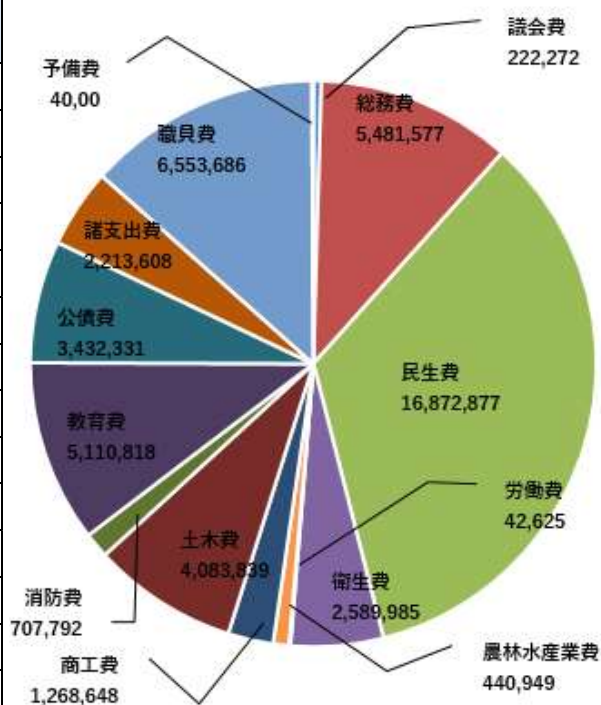
(ア) 教育費の推移 (人件費を除く)

年 度	一般会計予算 (千円)	教育費 (千円)	構成比 (%)
〃 26年度	36,409,878	3,389,523	9.3
〃 27年度	36,942,760	3,324,488	9.0
〃 28年度	37,738,509	3,295,651	8.7
〃 29年度	38,204,421	3,468,381	9.1
〃 30年度	39,432,533	3,543,067	9.0
令和元年度	41,947,094	6,282,956	15.0
〃 2年度	49,602,658	5,371,950	10.8
〃 3年度	49,808,894	8,895,651	17.9
〃 4年度	46,964,401	5,170,553	11.0
〃 5年度	49,061,007	5,110,818	10.4



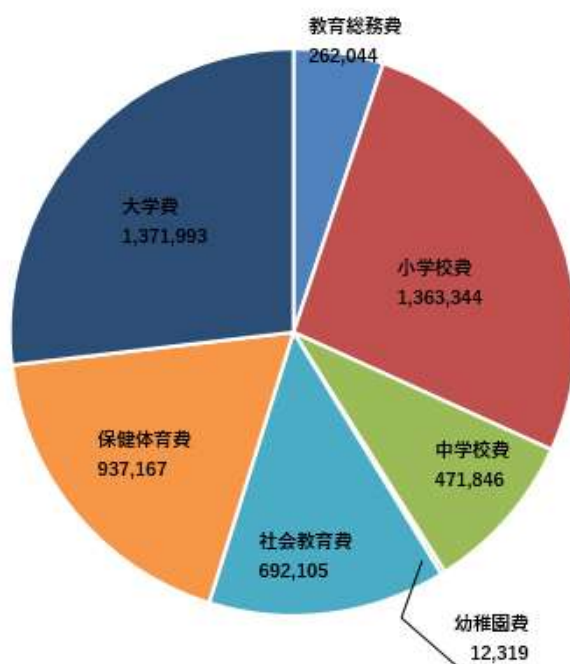
(イ) 令和5年度当初予算構成

区 分	額 (千円)	割合 (%)
議 会 費	222,272	0.5
総 務 費	5,481,577	11.2
民 生 費	16,872,877	34.4
衛 生 費	2,589,985	5.3
労 働 費	42,625	0.1
農林水産業費	440,949	0.9
商 工 費	1,268,648	2.6
土 木 費	4,083,839	8.3
消 防 費	707,792	1.4
教 育 費	5,110,818	10.4
公 債 費	3,432,331	7.0
諸 支 出 金	2,213,608	4.5
職 員 費	6,553,686	13.4
予 備 費	40,000	0.1
総 額	49,061,007	100.0



【教育費】

区 分	額 (千円)	割合 (%)
教育総務費	262,044	5.1
小学校費	1,363,344	26.7
中学校費	471,846	9.2
幼稚園費	12,319	0.2
社会教育費	692,105	13.5
保健体育費	937,167	18.3
大学費	1,371,993	26.8
総 額	5,110,818	100.0



2 令和5年度主要事業予算

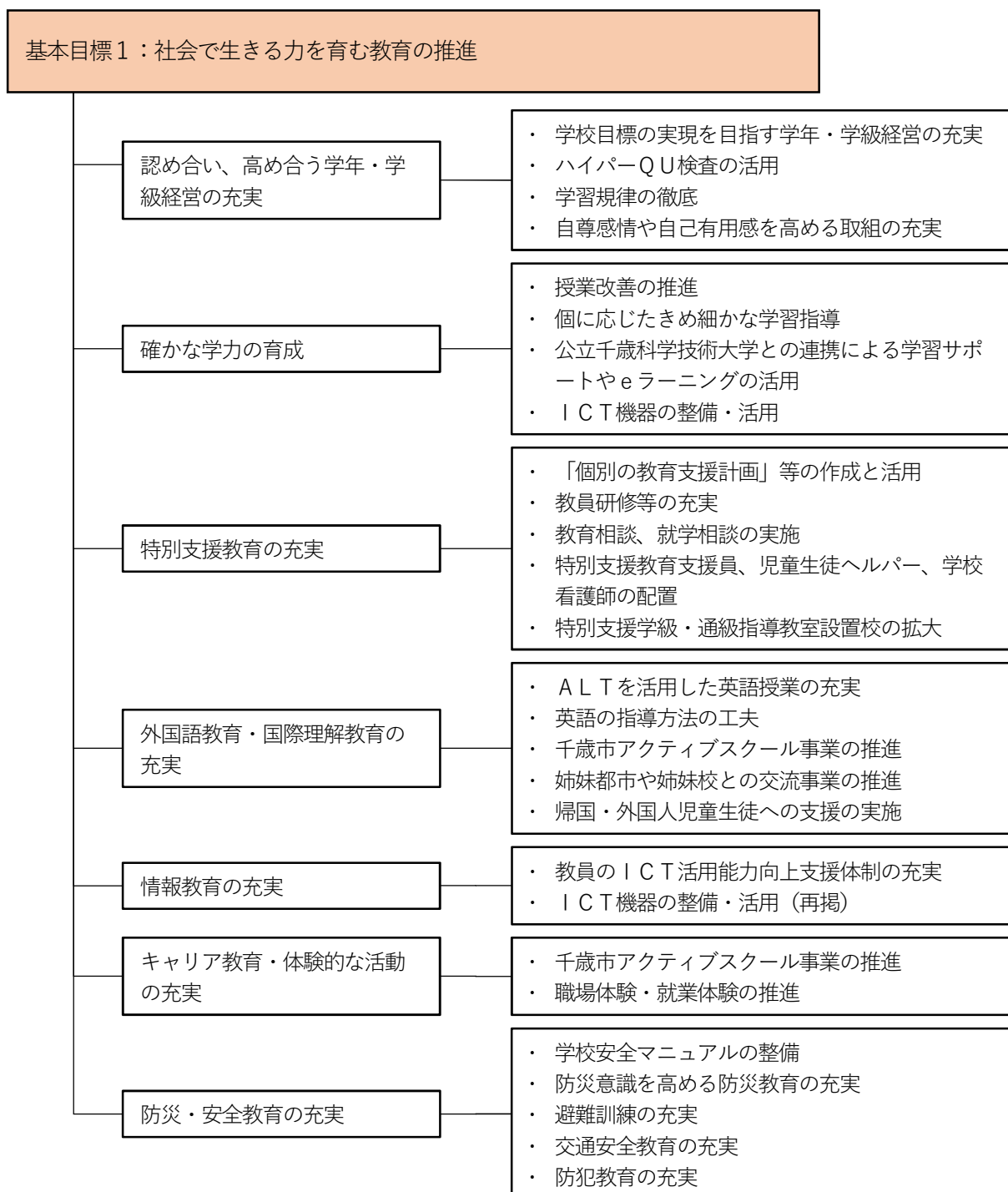
(単位：千円)

款	項	目	本年度予算 (当初)	説明
教育費			5,110,818	
	教育総務費		262,044	
		教育委員会費	46,256	教育委員会運営管理業務経費、修学支援事業費等
		教育振興費	198,393	特別支援教育体制推進事業費、スクールバス運行経費、学校活動支援事業費等
		教育財産管理費	17,395	教員住宅維持管理経費、教職員管理職住宅整備事業費等
	小学校費		1,363,344	
		小学校管理費	826,718	小学校運営管理業務経費、小学校施設管理経費、小学校就学援助事業費、小学校ICT機器等整備事業費等
		小学校営繕費	501,787	小学校維持補修業務経費、小学校照明設備更新事業費等
		小学校建設事業費	34,839	北陽小学校仮設校舎整備事業費(リース料)、みどり台小学校建設事業費
	中学校費		471,846	
		中学校管理費	402,085	中学校運営管理業務経費、中学校施設管理経費、中学校就学援助事業費、中学校ICT機器等整備事業費等
		中学校営繕費	69,761	中学校維持補修業務経費、中学校照明設備更新事業費等
	幼稚園費		12,319	
		幼稚園振興費	12,319	幼稚園教育振興事業費(就園奨励費補助金等)
	社会教育費		692,105	
		社会教育振興費	7,938	高齢者学級開催事業費、家庭教育活動支援事業費等
		青少年対策費	181,834	青少年体験活動推進事業費、青少年会館施設管理経費、青少年非行防止事業費等
		公民館費	30,081	公民館管理運営業務経費、公民館分館管理運営業務経費
		文化振興費	81,145	埋蔵文化財センター管理業務経費、文化活動支援事業費、縄文遺跡群世界遺産保存活用事業費、国指定史跡整備事業費等
		図書館費	181,692	図書館施設管理経費、図書管理業務経費、小中学校司書配置事業費
		市民文化センター費	209,415	市民文化センター・市民ギャラリー施設管理経費、市民文化センター音響・照明設備整備事業費(リース料)
	保健体育費		937,167	
		保健体育総務費	36,563	児童・生徒健康診断事業費、教職員健康診断事業費、就学援助事業費等
		給食センター費	396,475	給食センター施設管理業務経費、給食提供業務経費等
		体育振興費	504,129	スポーツ普及推進事業費、スポーツ施設管理業務経費、温水プール施設管理経費等
	大学費		1,371,993	
		大学費	1,371,993	公立大学法人運営事業費、公立大学法人修学支援事業費、公立大学法人施設整備事業費等

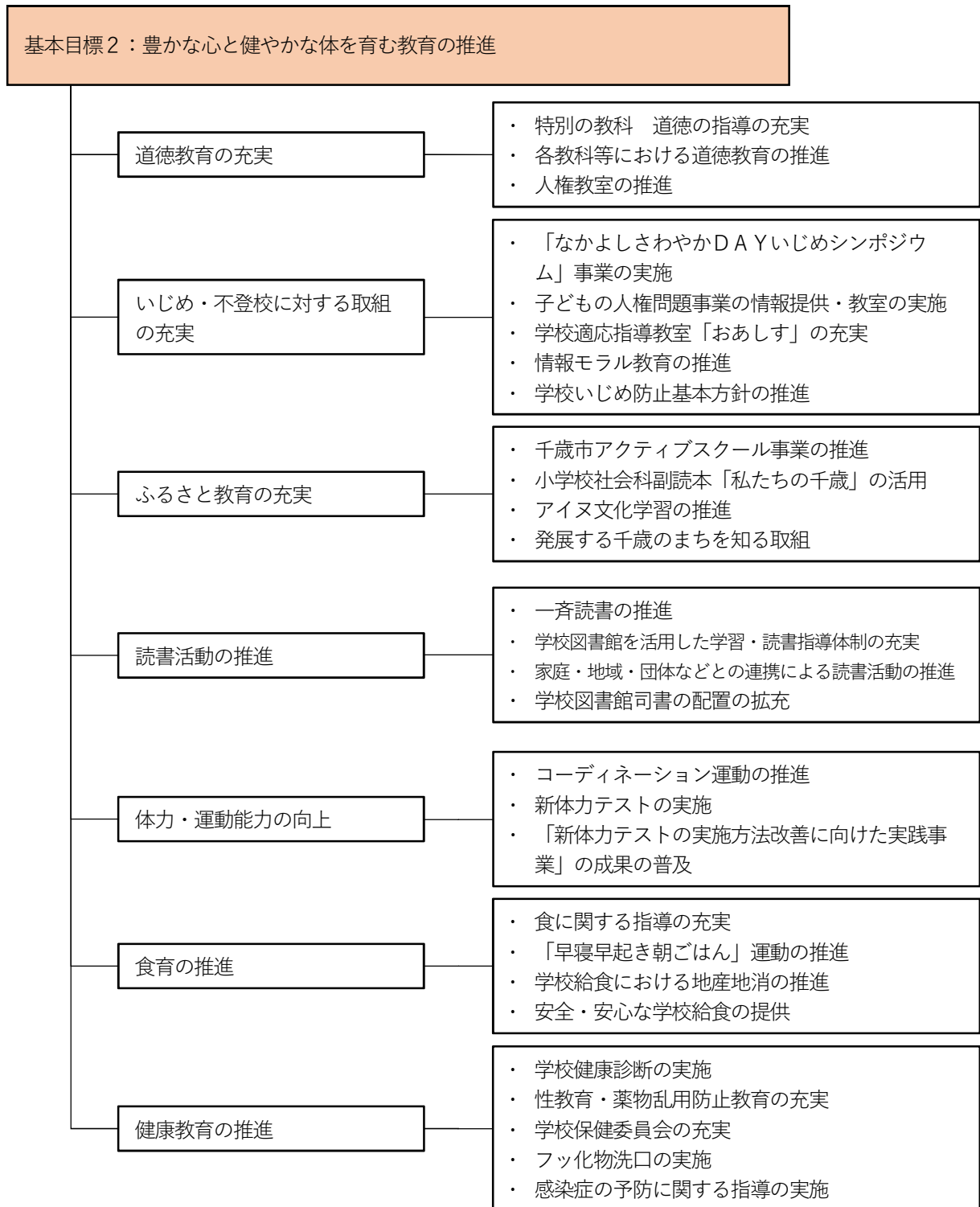
IV 学校教育

〔1〕 学校教育の主な施策

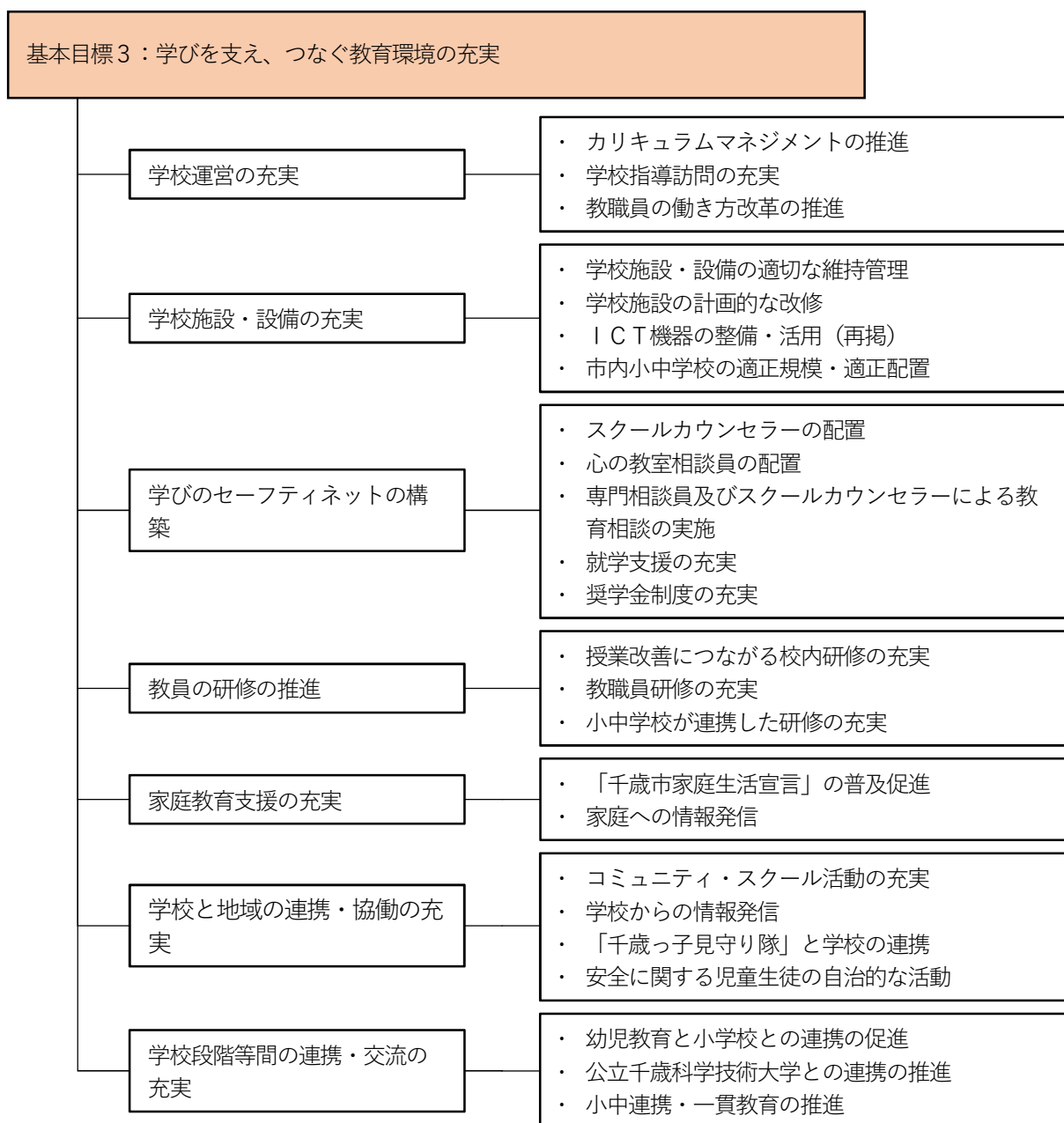
1 社会で生きる力を育む教育の推進



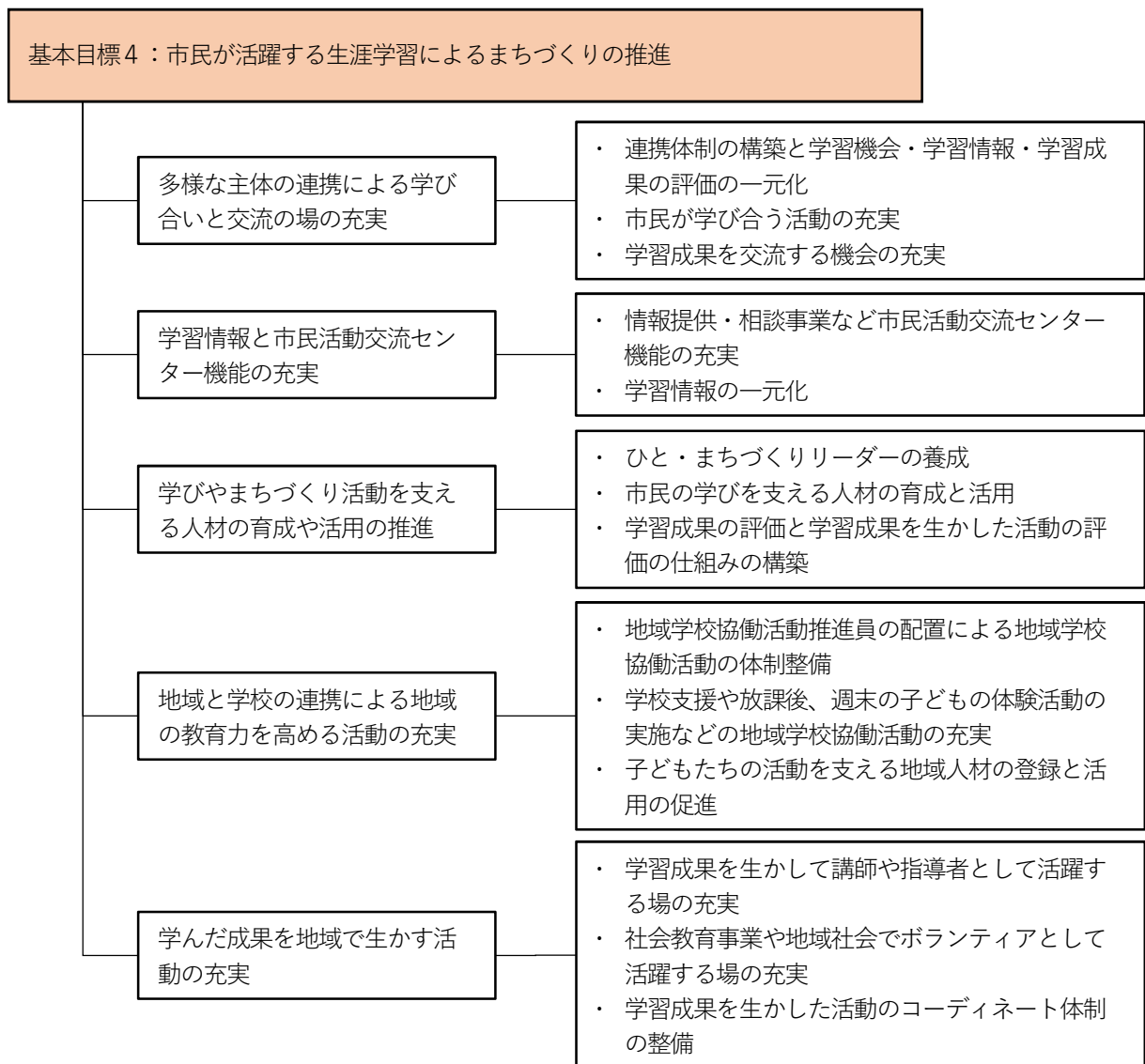
2 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進



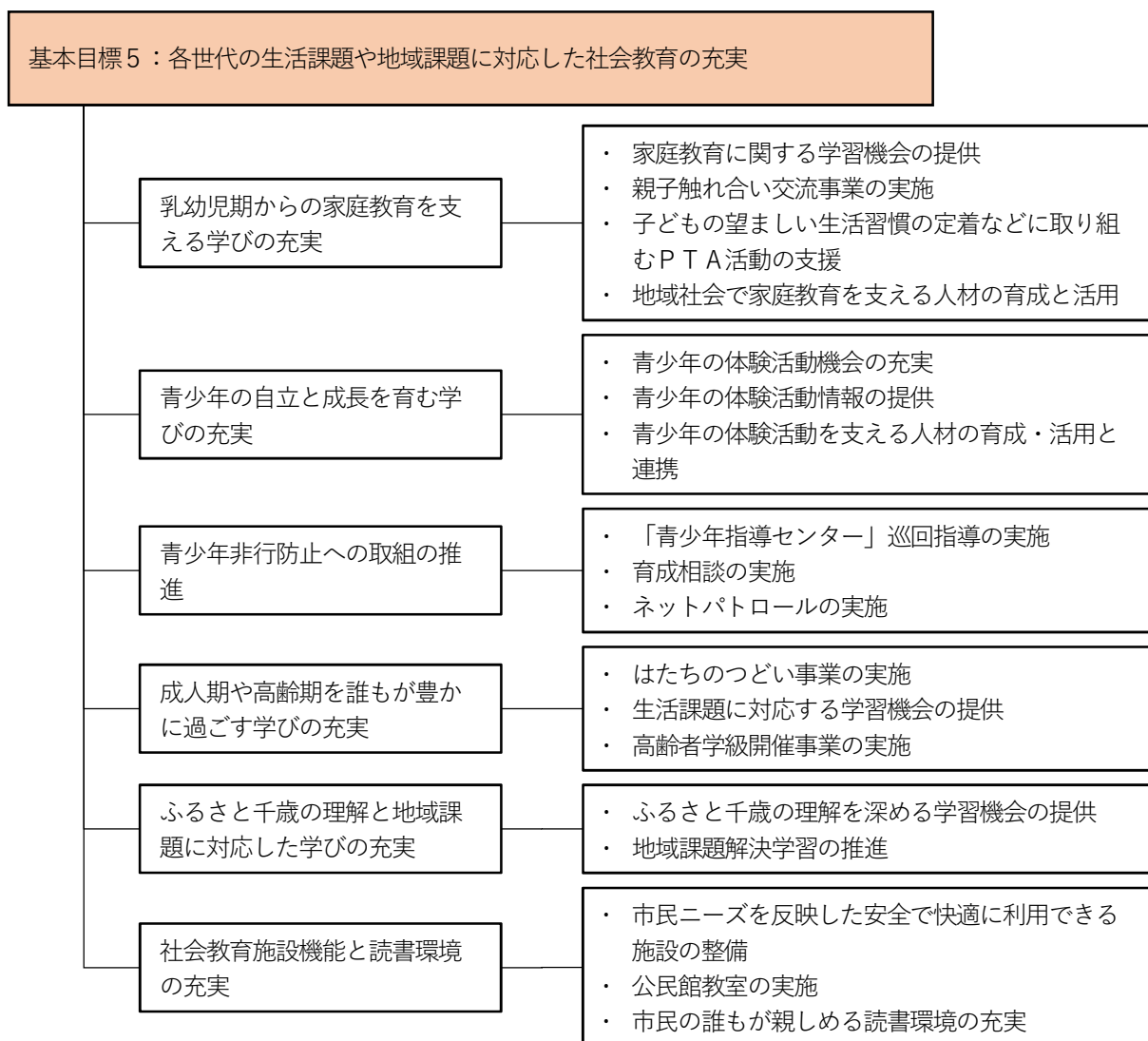
3 学びを支え、つなぐ教育環境の充実



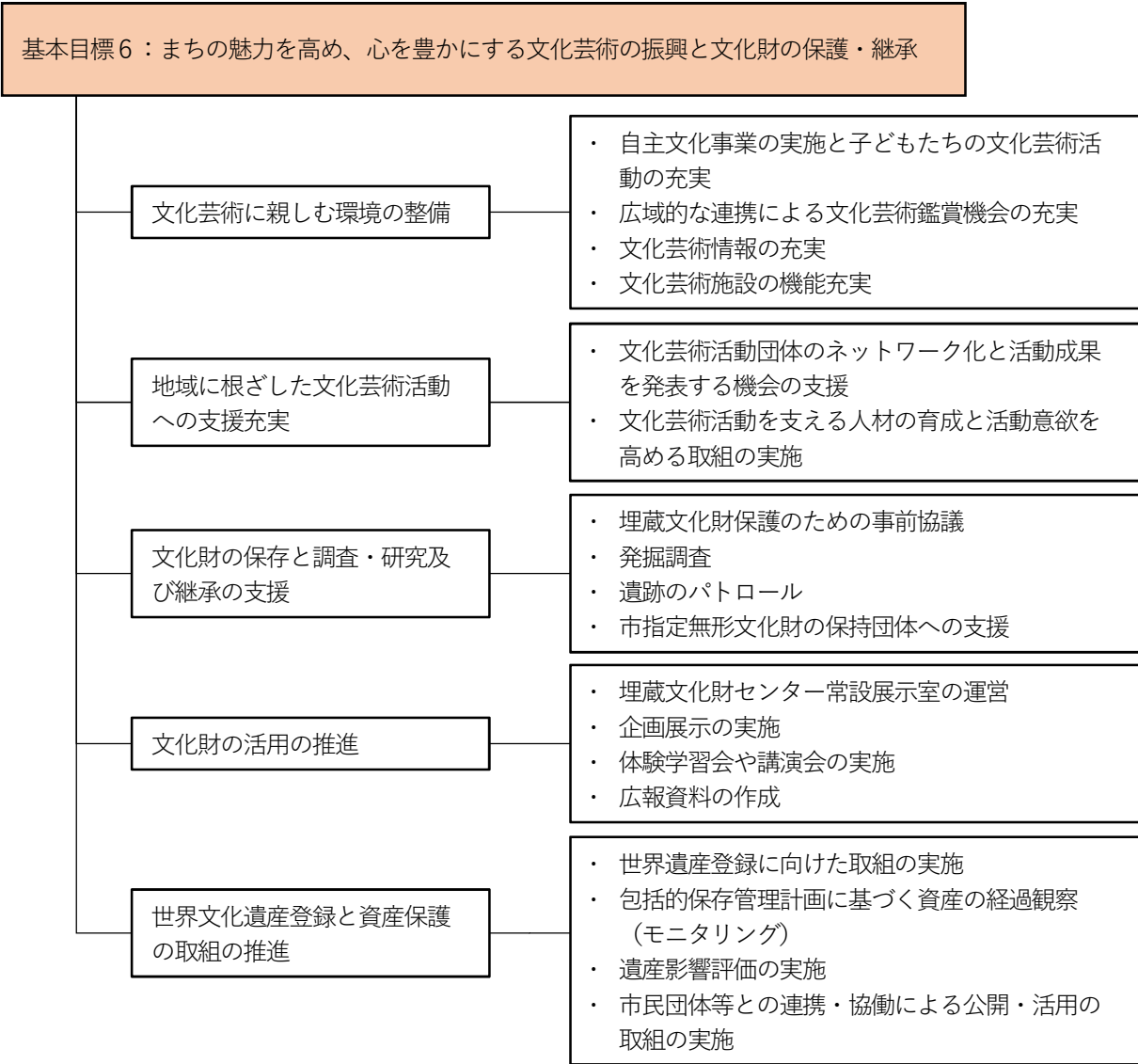
4 市民が活躍する生涯学習によるまちづくりの推進



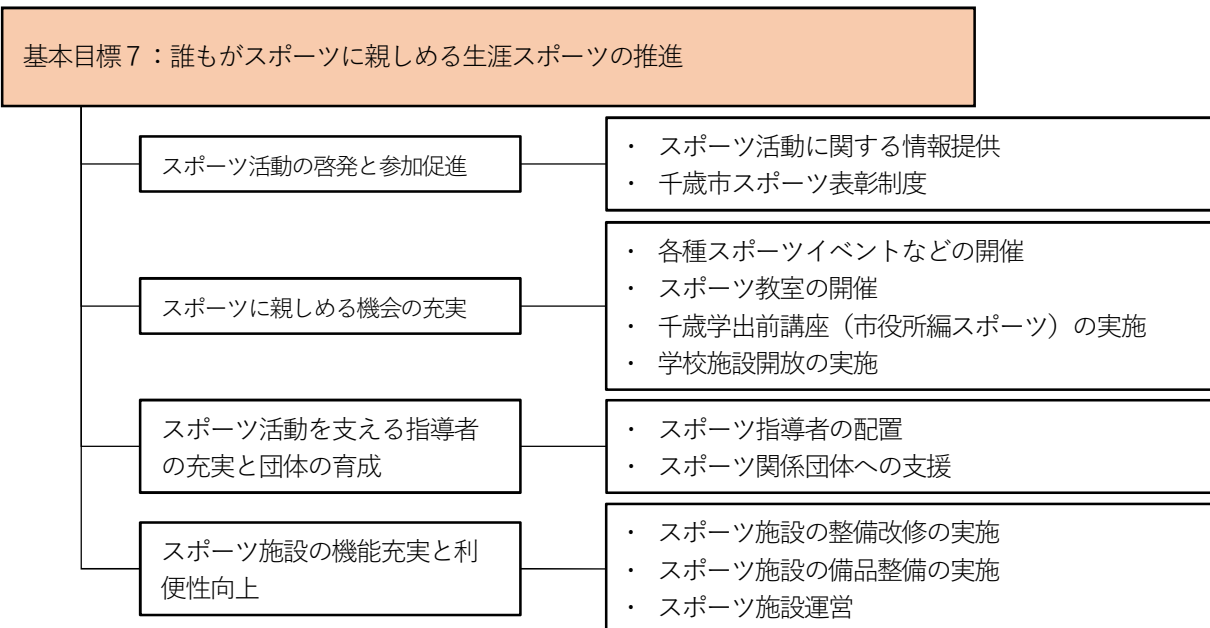
5 各世代の生活課題や地域課題に対応した社会教育の充実



6 まちの魅力を高め、心を豊かにする文化芸術の振興と文化財の保護・継承



7 誰もがスポーツに親しめる生涯スポーツの推進



〔2〕 児童生徒数の推移

1 小学校

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
千歳小	321	303	296	304	278	273	262	257	251	245	240
北進小	29	35	40	43	38	41	32	30	26	24	25
北栄小	252	240	236	248	262	268	264	266	244	220	211
末広小	499	497	514	525	526	521	519	524	513	513	498
緑小	430	436	423	413	440	462	443	407	402	410	386
千歳第二小	321	324	331	330	326	310	320	321	330	352	383
駒里小	10	12	11	14	14	14	13	16	17	13	14
支笏湖小	15	16	13	11	10	9	8	9	11	11	9
日の出小	492	454	450	457	467	474	487	484	438	434	428
信濃小	426	429	411	393	394	370	380	372	379	396	374
高台小	306	290	288	264	255	245	248	262	267	277	279
東小	26	28	29	20	25	26	28	26	29	28	26
祝梅小	316	300	283	280	275	281	255	249	238	235	230
桜木小	371	357	339	337	335	330	309	323	320	307	312
向陽台小	177	167	164	156	154	147	136	141	148	133	128
北陽小	1,264	1,317	1,350	1,398	1,397	1,470	1,499	1,488	1,490	899	896
泉沢小	305	299	300	267	272	263	239	228	207	209	201
みどり台小										607	625
合計	5,560	5,504	5,478	5,460	5,468	5,504	5,442	5,403	5,310	5,313	5,265

2 中学校

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
千歳中	558	551	584	583	590	560	590	588	572	538	537
北進中	30	31	36	41	40	30	29	25	25	24	25
青葉中	431	440	437	407	355	345	342	322	324	322	337
東千歳中	8	7	8	13	11	12	9	13	13	13	12
駒里中	8	12	9	5	7	6	7	8	10	12	11
富丘中	531	502	518	531	508	513	489	515	512	531	515
北斗中	360	344	335	313	307	313	302	290	273	284	281
向陽台中	296	250	244	257	230	221	207	220	223	195	186
勇舞中	477	511	591	627	676	660	693	690	749	750	764
合計	2,699	2,648	2,762	2,777	2,724	2,660	2,668	2,671	2,698	2,669	2,668

※児童生徒数は各年度5月1日現在の学校基本調査による

〔3〕 市内小中学校の変遷

	千歳小学校	駒里小学校	長都小学校	泉郷小学校	幌加小学校
明治	(明治 12.10.15) 寺子屋式教育開始 ↓ (明治 13.4) 千歳教育所 ↓ (明治 22) 千歳簡易小学 ↓ (明治 28) 千歳尋常小学校	(明治 31.4) 寺子屋式私塾 ↓ (明治 33.6) 千歳尋常小分教場 ↓ (明治 39.9) 阿宇砂里簡易教育所 ↓	(明治 32.9) 私立教育所 ↓ (明治 33.11.21) 長都簡易教育所 ↓ (明治 34.6.3) 長都尋常小学校	(明治 33.6.8) 嶮淵簡易教育所 ↓	(明治 33.9.24) 幌加簡易教育所 ↓
	(大正 7.12) 高等科設置 ↓	(大正 6.4.1) 阿宇砂里尋常小学校 ↓	(大正 15.5.1) 釜加特別教授場 ↓	(大正 6.4) 嶮淵尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置 ↓	(大正 5.10.25) 幌加尋常小学校 ↓
昭和	(昭和 16.4) 千歳国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳小学校 ↓	(昭和 16.4) 阿宇砂里国民学校 ↓ (昭和 22.4) 阿宇砂里小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 駒里小学校 ↓	(昭和 7)統合 ↓ (昭和 15.6) 高等科設置 ↓ (昭和 16.4) 長都国民学校 ↓ (昭和 22.4) 長都小学校 ↓	(昭和 16.4) 嶮淵国民学校 ↓ (昭和 22.4) 嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 泉郷小学校 ↓ (昭和 43.3.31) 千歳第二小学校へ統合	(昭和 16.4) 幌加国民学校高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 幌加小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校
	(平成 5.4.1) 中央小学校を統合 ↓ 現在に至る	現在に至る	(平成 17.3.31) 北陽小学校へ統合		

	協和小学校	中央小学校	水明小学校	東丘小学校	千歳第二小学校	千歳鉱山小学校
明治	(明治 34.12.1) 近唐教育所 ↓	(明治 26 年ころ) 説教所で寺子屋 ↓ (明治 35.4) 木臼簡易教育所 ↓				
大正	(大正 6.4.1) 近唐尋常小学校 ↓	(大正 6.4.1) 木臼尋常小学校 ↓	(大正 10) 烏柵舞特別教授所 ↓ (大正 6.12) 私立王子尋常小学校 ↓ (大正 12.4) 高等科設置 ↓	(大正 7.6.6) 新嶮淵尋常小学校 ↓	(大正 9.12.13) 千歳小学校根志越 分教場 ↓ (大正 13) 根志越特別教授所 ↓	
昭和	(昭和 16.4) 近唐国民学校 ↓ (昭和 22.4) 近唐小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 協和小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校	(昭和 16.4) 木臼国民学校 ↓ (昭和 22.4) 木臼小学校 ↓ (昭和 26.4.1) 中央小学校 ↓	(昭和 6.4) 烏柵舞尋常高等小学校 ↓ (昭和 11.11.30) 千歳鉱山特別分教場設 置 ↓ (昭和 16.4) 烏柵舞国民学校 ↓ (昭和 22.4) 烏柵舞小学校 ↓ (昭和 22.12.25) 支笏湖畔分教場設置 ↓ (昭和 26.4) 水明小学校 ↓ (昭和 34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39.3.31) 支笏湖小学校へ統合	(昭和 16.4) 新嶮淵国民学校 高等科設置 ↓ (昭和 22.4) 新嶮淵小学校 ↓ (昭和 27.4.1) 東丘小学校 ↓ (昭和 46.1.1) 東小学校	(昭和 21.4) 千歳第二国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳第二小学校 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷小学校を統合 ↓	(昭和 11.11.30) 烏柵舞尋常高等小 千歳鉱山特別教授 所 ↓ (昭和 12.10.1) 千歳鉱山尋常高等 小学校 ↓ (昭和 16.4) 千歳鉱山国民学校 ↓ (昭和 22.4) 千歳鉱山小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校
平成		(平成 5.3.31) 千歳小学校へ統合			現在に至る	



	蘭越小学校	支笏湖小学校	千歳第三小学校	北栄小学校	末広小学校	緑小学校
昭和	(昭和 21.11.20) 蘭越国民学校 ↓ (昭和 22.4) 蘭越小学校 ↓ (昭和 53.3.31) 緑小学校へ統合	(昭和 22.12.25) 烏柵舞小学校支笏 湖畔分教場 ↓ (昭和 24.1.29) 支笏湖小学校 ↓ (昭和 39.4.1) 水明小学校を統合 現在に至る	(昭和 23.6) 開校↓ (昭和 43.7.18) 信濃小学校へ統合	(昭和 28.5.25) 開校 現在に至る	(昭和 31.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 32.4.1) 開校 ↓ (昭和 53.3.31) 蘭越小学校を統合 現在に至る
	藤の沢小中学校	北進小中学校	日の出小学校	信濃小学校	高台小学校	東小学校
昭和	(昭和 34.4.1) 水明小中学校藤の 沢分校 ↓ (昭和 39.3.31) 水明中藤の沢分校 水明中学校へ統合 ↓ (昭和 39.4.1) 千歳小学校藤の沢 分校 ↓ (昭和 41.4) 藤の沢小学校 ↓ (昭和 42.3.31) 廃校	(昭和 35.5.5) 千歳小学校特殊学 級 ↓ (昭和 37.4.1) 千歳中学校特殊学 級併設 ↓ (昭和 40.10.1) 千歳小中北栄分校 ↓ (昭和 46.4.1) 北進小中学校 現在に至る	(昭和 41.12.1) 開校 現在に至る	(昭和 43.4.1) 開校 ↓ (昭和 43.7.18) 千歳第三小学校を統 合 現在に至る	(昭和 45.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 46.1.1) 幌加、協和、東丘 の3校を統合して 開校 現在に至る
	祝梅小学校	桜木小学校	向陽台小学校	北陽小学校	泉沢小学校	長都中学校
昭和・平成	(昭和 51.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 53.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 57.4.1) 開校 現在に至る	(平成 6.4.1) 開校 ↓ (平成 17.4.1) 長都小学校を統合 現在に至る	(平成 9.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校長都分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 30.5.23) 長都中学校として 独立 ↓ (昭和 52.4.1) 長都中学校 ↓ (平成 17.3.31) 富丘中学校へ統合



	みどり台小学校					
令和	(令和 4.4.1) 開校					
	千歳中学校	東千歳中学校	青葉中学校	千歳鉱山中学校	駒里中学校	泉郷中学校
昭和・平成	(昭和 22.6.4) 開校 ↓ (昭和 41.4.1) 水明中学校を統合 ↓ (昭和 43.4.1) 泉郷中学校を統合 ↓ (平成 24.4.1) 真町中学校を統合 現在に至る	(昭和 22.6.5) 幌加中学校として 小学校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 東千歳中学校 現在に至る	(昭和 32.8.29) 開校 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校鉱山分校 として小学校に併置 ↓ (昭和 25.4.1) 千歳鉱山中学校 ↓ (昭和 53.3.31) 廃校	(昭和 25.12) 千歳中学校阿宇砂 里分校として小学 校に併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 駒里分校 ↓ (昭和 31.1.1) 駒里中学校として 小学校に併置 現在に至る	(昭和 22.4.1) 千歳中学校嶮淵分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 27.4.1) 同 泉郷分校 ↓ (昭和 31.1.1) 泉郷中学校 ↓ (昭和 43.3.31) 千歳中学校へ統合
	中央中学校	水明中学校	真町中学校	富丘中学校	北斗中学校	向陽台中学校
昭和・平成	(昭和 22.5.13) 千歳中学校木臼分 校として小学校に 併置 ↓ (昭和 26.4.1) 同 中央分校 ↓ (昭和 31.1.1) ↓ (昭和 47.3.31) 真町中学校へ統合	(昭和 24.4.8) 千歳中学校烏柵舞 分校として小学 校に併置 ↓ (昭和 26.4.1) 同 水明分校 ↓ (昭和 31.1.1) 水明中学校 ↓ (昭和 34.2.1) 藤の沢分校設置 ↓ (昭和 39.4.1) 藤の沢分校を統合 ↓ (昭和 41.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和 47.1.1) 開校 ↓ (昭和 47.4.1) 中央中学校を統合 ↓ (平成 24.3.31) 千歳中学校へ統合	(昭和 50.4.1) 開校 ↓ (平成 17.4.1) 長都中学校を統合 現在に至る	(昭和 59.4.1) 開校 現在に至る	(昭和 62.4.1) 開校 現在に至る
	勇舞中学校					
平成	(平成 24.4.1) 開校 現在に至る					



〔4〕 学校の概要



1 小学校



	<h2 style="margin: 0;">千 歳 小 学 校</h2>		
	所在：千歳市本町3丁目4番地の1 電話：0123-23-2181 創設：明治12年10月15日 面積：敷地 15,089 m ² 、建築 5,065 m ²		
校長名	山村 健史	教頭名	伊藤 順之
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	14学級 240名
教育目標	歴史と伝統 未来へつなぐ 私たちは、誇り高い千歳小学校の子どもです。 かしこく やさしく たくましく ～ 学ぼう つなごう やりぬこう ～ 【重点目標】 学んだことを確実に身につける千歳の子～ともに学び創造する教職員～		
研究主題	「子どもの力の定着を図る教育活動の創造」 ～教職員の質的向上による授業改革を通して～		
特色ある教育活動	1 「共に生きる～地域から世界へ～」を総括テーマとする総合的な学習の時間「あおば学習」の推進 ○3年～「バリアフリーについて考えよう！（福祉）」「世界のくらし」 ○4年～「防災について考えよう！（防災）」「千歳の魅力発見！（郷土理解）」 ○5年～「千歳市の自然 ～他の町と比べてみよう」「守ろう、地球の宝物」 ○6年～「北海道の歴史」「世界の人と手をつなごう」 ○アメリカアラスカ州サンドレイク小学校との交流 2 「千歳小 TRY」～学力向上の取組～ ・多様な問題に挑戦する朝学習（国語）・達成度を確かめる朝学習（算数） ・家庭学習と関連づける朝学習 ・補充学習の充実（給食準備時間学習） ・補充・発展プリントの作成、活用方法の工夫（TRY マスター10） 3 体験活動を重視した教育活動の展開 ・自然（青葉公園）、地域の人、地域の施設とのつながりを重視		
沿 革	明治12年10月 寺子屋式教育を始める 明治13年 4月 千歳教育所となる 明治28年 3月 千歳尋常小学校となる 昭和22年 4月 千歳小学校となる 昭和53年10月 開校100年記念式典挙行 平成元年 2月 開校110年・体育館完成記念式典挙行 平成6年 6月 サンドレイク小学校児童他29名来校 相互訪問開始 平成9年 3月 本校児童他54名、サンドレイク小学校訪問 平成10年 5月 石狩教育研究所「総合学習」研究協力校 平成15年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成21年 6月 サンドレイク小学校児童他42名来校 10月 耐震化大規模改修工事完了 平成23年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名） 平成24年 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校 平成26年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他22名） 6月 サンドレイク小学校児童他35名来校 平成28年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他15名） 6月 サンドレイク小学校児童他46名来校 11月 北海道道徳教育推進校事業 千歳小学校公開授業研究会開催 平成30年 1月 サンドレイク小学校訪問（千歳市事業へ移行：本校児童他39名） 2月 北海道教育実践表彰受賞（学力向上、道徳教育の充実） 6月 サンドレイク小学校児童他28名来校 10月 開校140年記念集会開催 同窓会総会開催 令和2年 1月 サンドレイク小学校訪問（本校児童他24名） 令和4年 4月 特別支援学級「やませみ学級」開設 8月 学習者用タブレット全児童数分、充電保管庫全学級分 一体型電子黒板全教室分設置		



	<h2 style="margin: 0;">北 進 小 学 校</h2>		
	所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和35年5月5日 面積：敷地10,642㎡、建築2,853㎡		
校長名	野澤 孝志	教頭名	鈴木 敦司
教職員数	教員 7名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	知的障がい 3学級 23名 自閉症・情緒障がい 1学級 2名 計 4学級 25名 (通級指導教室 2学級13名)
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子(知) ・かかわりをもてる子(情) ・たくましく生きる子(意・体) 【重点目標】 かかわりを通して学び、主体的に未来を生き抜く子どもの育成 ～「かかわる」「つなげる」「ひろげる」で、子どもたちの未来を見守る～		
研究主題	主体的に未来を生き抜く子どもの育成 ～情報活用能力を生かした、「主体的・対話的で深い学び」の授業実践～		
特色ある教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を生かした小中一貫教育の推進 2 自己決定や社会参加を見通した教育活動 (体験学習、ソーシャルスキルトレーニング-SST-) 3 個別の指導計画の作成とインフォームドコンセントおよびアカウンタビリティの推進 4 児童一人一人の個性を生かし、かつ、大きな集団の良さを生かした教育活動 5 他校の児童を含めた教育相談・通級指導		
沿 革	昭和35年 5月 児童会館内に千歳小学校特殊学級として発足 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転(現校舎) 昭和41年 4月 千歳小の北栄分校と称する 昭和46年 4月 北進小学校と称する 昭和49年 4月 言語治療教室緑小に移設 10月 開校15周年記念式典挙行 昭和53年 4月 情緒障害学級開設認可 平成 3年 3月 開級30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 開級40周年記念祝賀会、開校30周年記念祝賀会 平成18年 2月 北海道教育実践表彰受賞 4月 通級指導教室を開設 平成23年12月 開校40周年をお祝いする会 平成24年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成26年 9月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成27年 9月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成28年 8月 体育館非構造部材耐震工事、花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成29年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 校長住宅解体 平成30年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 令和元年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 10月 市内音楽発表会(小・中)初参加 令和 2年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 令和 3年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 11月 「開校50周年をお祝いする会」の開催 令和 4年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞		



	<h2 style="margin: 0;">北 栄 小 学 校</h2>		
	所在：千歳市北栄1丁目10番2号 電話：0123-23-4138 創設：昭和28年5月25日 面積：敷地 30,302 m ² 、建築 6,035 m ²		
校長名	昇 洋一		教頭名 鎌田 康弘
教職員数	教員 22名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	13学級 211名 (うち特別支援学級 4学級17名)
教育目標	○主体的に工夫して学習する子ども (主体的な子) ○情操に富み創造的な子ども (創造的な子) ○連帯感を深め責任ある行動をする子ども (責任感のある子) ○体力の向上に努め健康で明るい子ども (明るく元気な子) ○勤労を愛する子ども (働く子) 【重点目標】 自分で考え、選択し、仲間と共に行動することで成長する子ども		
研究主題	自ら考え、共に学び合う子の育成		
特色ある教育活動	1 特別支援学級「たんぼぼ教室」(知的、情緒)を併設し、普通学級との日常的な交流のほか、総合的な学習の時間に位置づけた交流の機会をもち共に生きるための相互理解の場としている。 2 縦割り班を活用した異学年交流活動を推進している。 ・遊び活動 ・清掃活動 3 全校道徳を実施し、言葉遣いや友達に対する思いやりを考える機会を意図的に設け、児童の心の育成を図っている。 4 管内屈指のスクールバンドを有し、情操豊かな子どもの育成に努めている。 ・定期演奏会、校内諸行事での発表、各種コンクール、地域行事への参加		
沿 革	昭和28年 5月 千歳小学校より分離し9学級で開校 昭和48年 5月 情緒障がい児学級新設 昭和55年 6月 スクールバンド結成 平成15年11月 開校50周年記念式典挙行 平成18年 3月 「北栄小子どもを見守り隊」発足 平成19年10月 緑化事業「げん気の森」完成式典 平成21年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成22年11月 全日本小学校バンドフェスティバル全国大会出場 平成24年 7月 中西圭三&SEASONS、スクールバンドジョイントコンサート 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会金賞受賞 平成29年 2月 JICA 国際交流 (ウガンダ共和国) 5月 図書ボランティア「希望が丘」設立 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 平成30年 2月 JICA 研修員との国際交流 6月 特別支援難聴学級開設 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 平成31年 2月 JICA 研修員との国際交流 令和元年 5月 北栄小コミュニティ・スクール (学校運営協議会) 発足 6月 JICA 研修員との国際交流 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 令和2年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 令和3年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞 令和4年 8月 全日本吹奏楽コンクール札幌地区大会銀賞受賞		



	<h2 style="margin: 0;">末 広 小 学 校</h2>		
	<p>所在：千歳市富丘2丁目6番2号 電話：0123-23-4127 創設：昭和31年4月1日 面積：敷地 21,469 m²、建築 5,933 m²</p>		
校長名	横山 浩之	教頭名	植田 孝一
教職員数	教員 24名 主幹 1名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	19学級 499名
教育目標	<p style="text-align: center;"> ○進んでやりぬく子 ○えがおで元気な子 ○広い心でやさしい子 ○六年間を自ら学ぶ子 【重点目標】 「認め合い 学び高め合い きたえ合う 末広の子」 ～ わたしっていいな！ きみってすごい！～ </p>		
研究主題	互いに高めながら、主体的に学ぶ子どもの育成 ～フレームリーディングの手法を用いた読み取りを通して～		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 アイヌ文化学習（総合的な学習・生活科） 全学年のカリキュラムを編成し、本物に触れる体験重視の活動を軸に、ふるさとを愛し、自然や命を大切にすることを育み、生き生きと学習する子どもの育成に努めている。また、地域人材や保護者・地域の人々からの支えを受けながら、学校・家庭・地域が一体となった教育活動に努めている。 2 福祉・交流学習やユネスコスクールとしての取組 福祉体験や市の福祉の様子に関する学習、地域のお年寄り等との交流、リサイクルやアイヌ文化学習等を通して、人とのふれあいを深めるとともに、人と自然と関わり、社会の一員としてできることを考え実践する力の育成に努めている。 3 授業の工夫改善 算数科での習熟度別少人数指導や外国語専科による基礎基本の定着やきめ細かな指導の充実、地域人材の活用やゲストティーチャーによる多様な学習の充実を図る。 		
沿 革	<p>昭和31年 4月 新設開校 8月 開校記念式典挙行 昭和49年 3月 現在地に校舎移転 平成10年 3月 北海道教育実践表彰受賞 平成18年12月 開校50周年記念式典挙行 平成19年 2月 石狩教育局 教育実践奨励表彰 5月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成20年 5月 北海道教育実践表彰受賞 平成21年 3月 多目的トイレ完成 9月 「ねんりんピック」参加 平成22年 9月 全国人権教育指導主事研究協議会にて発表 平成23年 6月 ユネスコスクール認定 10月 ふるさと教育推進事業実践校（～平成25年） 平成24年 2月 朝日のびのび教育賞受賞 平成25年 4月 学童・生徒のボランティア活動普及事業協力校 平成26年 1月 アイヌ文化資料室「チセ」の茅葺き全面改修及び復元完了 平成27年 8月 教育公務員弘済会実践助成で教授用パソコン購入 平成28年 開校60周年記念事業実施 平成30年 4月 北海道ふるさと教育・観光教育等推進事業実践校 令和 4年 4月 特別支援学級（びりか学級）開設 8月 タブレット型児童用PC全児童分配備完了 令和 5年 9月 教室網戸設置</p>		



	<h2 style="margin: 0;">緑 小 学 校</h2>		
	所在：千歳市緑町4丁目4番1号 電話：0123-23-4107 創設：昭和32年4月1日 面積：敷地 17,901 m ² 、建築 6,500 m ²		
校長名	山谷 潤	教頭名	笠井 賢吾
教職員数	教員 27名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	15学級 386名 (うち特別支援学級 2学級6名) (通級指導教室 4学級51名)
教育目標	～ 私たちは 未来を創りともに進む 緑小の子ども ～ ・なかよく元気に遊びます・・・からだ (体) ・すすんで学び考えます・・・あたま (知) ・めあてをもって努力します・・・生きる力 (意) ・人や地球にやさしくします・・・こころ (情) 【重点目標】『自他のよさを生かし、主体的、協働的に学び続ける子ども』		
研究主題	「集合知」を生み出す対話型授業 ～他者との関わりの中で、共に表現力を高め合う児童の育成～		
特色ある教育活動	1 P T A と共同で進める確かな学力の育成 ～マイディクショナリー事業・ディクショナリースタート事業～ 2 ボランティア活動 (地域別異学年グループによる清掃・美化活動) 3 公立千歳科学技術大学の教授や学生との交流授業～理科・算数 プログラミング学習～ 4 プールや河川の水に対する安全教育～千歳川 川の安全学習体験～ 5 全学年でのアイヌ文化学習 6 ユネスコスクールとしての活動		
沿 革	昭和32年 4月 新設開校 昭和49年 4月 言語治療教室開設 昭和52年 9月 開校20周年記念式典挙行 昭和53年 4月 蘭越小学校と統合 昭和59年 1月 校舎増改築工事完了・引っ越し 昭和62年11月 開校30周年記念式典挙行 平成 7年 4月 言語通級指導学級開始 平成17年10月 文部科学省指定 心に響く道徳教育研究会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成18年 5月 千歳っ子見守り隊発足 平成19年12月 開校50周年記念式典挙行 平成20年 3月 北海道PTA広報誌コンクール審査員特別賞 (北海道新聞社賞) お話会「びっころ」開始 12月 千歳市学校課題研究発表会開催 平成21年 5月 あそびの日 in 千歳会場 8月 花いっぱいコンクール「優秀賞」受賞 平成23年 3月 ユネスコスクールに加盟 平成24年 4月 「学校力向上に関する総合事業」における近隣校に指定 5月 千歳市人権委員会から「人権の花」の贈呈 10月 お話会びっころ10周年記念 平成25年 9月 車椅子1台を千歳市社会福祉協議会へ寄贈 (リングブル回収組) 平成28年 1月 校内放送設備更新 (デジタル化対応) 平成29年12月 開校60周年記念集会の開催 平成31年 3月 「緑小おやじの会」による6年生児童へのキャリア教育「おやじトーク」開催 令和元年 6月 ボイスワークトレーナー古田さんによる6年生の歌唱・発音指導 令和 3年 1月 G I G A スクール構想に向けた校内無線LAN設置完了 4月 特別支援学級 (かわせみ学級) 開設		



	<h2 style="margin: 0;">駒 里 小 学 校</h2>		
	<p>所在：千歳市駒里 945 番地 電話：0123-23-3237 創設：明治 39 年 9 月 1 日 面積：敷地 37,652 m²、建築 2,368 m²</p>		
校長名	北村 剛		教頭名 大西 かすみ
教職員数	教員 3名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	3学級 14名
教育目標	<p>◎ やさしい子 (広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども) ◎ 進んで学ぶ子 (進んで学び、自ら考え、行動する子ども) ◎ 元気な子 (たくましい心と体をもった、元気な子ども) 【重点目標】 自他を思いやり、主体的に、最後まで粘り強く取り組む子の育成</p>		
研究主題	「主体的に学ぶ子の育成 ～伝え合いから学びを深める児童生徒の育成～」		
特色ある教育活動	<p>◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる <ol style="list-style-type: none"> (1) 農園活動 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた学習 (3) 小中の連携のもと、PTA・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 交通安全キャンペーン (2) 学校祭・餅つき会への地域の皆様の招待活動 (3) ベルマーク等の回収 3 体力づくり <ol style="list-style-type: none"> (1) パークゴルフ (2) 歩くスキー (3) 中学校部活との連携 (卓球・バドミントン) 		
沿 革	<p>明治 33 年 6 月 千歳尋常小学校阿宇砂里分教場として開校 明治 39 年 9 月 阿宇砂里簡易教育所となる 大正 12 年 9 月 阿宇砂里尋常小学校として独立 昭和 22 年 4 月 阿宇砂里小学校となる 昭和 27 年 4 月 駒里小学校となる 昭和 29 年 9 月 開校 50 周年記念式典 昭和 61 年 11 月 開校 80 周年記念式典 平成 8 年 9 月 開校 90 周年記念式典 平成 10 年 10 月 全道へき地複式教育研究大会石狩大会会場 平成 15 年 4 月 交通安全キャンペーン表彰 平成 16 年 9 月 交通安全キャンペーン 20 年達成 平成 17 年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成 18 年 11 月 小学校開校 100 周年記念式典、祝賀会開催 平成 19 年 5 月 石狩管内複式校新任者研究大会 平成 20 年 7 月 文科省指定 豊かな体験活動 平成 21 年 9 月 交通安全キャンペーン 25 年達成 平成 26 年 10 月 交通安全キャンペーン 30 年達成 平成 28 年 10 月 小学校開校 110 周年・中学校開校 60 周年記念行事実施 平成 30 年 6 月 コミュニティ・スクール導入 令和 4 年 10 月 交通安全キャンペーン 梅の木植樹・看板作成</p>		



	支 笏 湖 小 学 校		
	所在：千歳市支笏湖温泉2番地 電話：0123-25-2729 創設：昭和23年12月1日 面積：敷地13,277㎡、建築1,643㎡		
校長名	東峰 宏紀	教頭名	
教職員数	教員 4名	学級数 児童数	2学級 9名
教育目標	「たくましい心と体をもった 人間性豊かな児童の育成」 ・自ら考え、創造する子ども（知） ・明るく、協力する子ども（情） ・根気よく、実行する子ども（意） ・心身をきたえる子ども（体） 【重点目標】 ●学校づくり～信頼と協働による「チーム支笏湖小」の推進 ●学力向上～子ども一人一人の学習状況を踏まえた「確かな学力向上」の推進 ●ふるさと教育～家庭、地域と協働し、郷土に根差した「ふるさと教育」の推進		
研究主題	「自分の考えを持ち、自分の意志や判断に基づいて学習に取り組もうとする子どもの育成」 ～「主体的な学び」の視点に立った複式学級の授業改善～		
特色ある教育活動	1 愛鳥モデル指定校～地域の豊かな自然環境を生かし、毎朝の給餌・観察等の活動を通し、環境問題について学習を深める 2 ヒメマス学習 ～地域の特産であるヒメマスについて、理科、社会化、生活科、総合学習等と関連付けて学習し、地域の自然環境や産業についての理解を深める。 3 鼓笛隊 ～全校児童で組織した鼓笛隊が、地域行事に参加し支笏湖地区に貢献することで自尊感情や自信、挑戦の意欲を育てる。 4 公園清掃 ～国立公園の清掃を地域住民、敬老会などの人々と行い、環境美化に努め、美しい自然環境を保つことの誇りを育てる。 5 「心の直行便」活動～高知県南国市立奈路小学校と、一年おきに相互学校訪問交流を行っている。手紙、作品類、収穫物交流などを通して気候や文化の違いを知り、離れた地域の友達、父母との「心の交流」により、豊かな情操を育てている。		
沿革	昭和22年12月 烏柵舞小学校支笏湖分教場開校 昭和23年12月 支笏湖小学校の認可（現在のユースホステルに校舎完成） 昭和24年 1月 支笏湖小学校の開校式 昭和29年 7月 現在地に校舎完成 昭和43年11月 開校20周年記念式典挙行 昭和49年 7月 湖水まつり鼓笛パレード出演 12月 開校25周年記念式典挙行 昭和54年12月 開校30周年記念式典挙行 昭和57年 2月 現校舎防音・体育館完成 昭和60年 9月 道複連石狩大会分科会、授業公開 昭和62年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成10年 8月 南国市立奈路小学校との交流 11月 開校50周年記念式・祝賀会挙行 平成18年 5月 北海道社会貢献賞（野生鳥獣保護功労）受賞 平成19年 5月 野生生物保護功労者表彰 平成25年 5月 愛鳥週間野生生物保護功労者表彰 環境大臣賞 受賞 平成28年11月 南国市立奈路小学校交流開始20周年 平成30年11月 開校70周年記念式典・祝賀会挙行 令和元年 9月 国立公園指定70周年記念「支笏湖学」環境大臣賞記念講演（若松幹男氏） 令和2年11月 奈路小学校訪問中止 オンライン交流 令和3年10月 公立千歳科学技術大学との学習 「みんなで作ろう！支笏湖で会える「ゆるキャラ図鑑」をビクターセンターで実施		



	<h2 style="margin: 0;">日の出小学校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市日の出2丁目3番20号 電話：0123-23-2670 創設：昭和41年12月1日 面積：敷地 20,706 m²、建築 5,891 m²</p>		
校長名	吉田 かおり	教頭名	阿部 敏明
教職員数	教員 23名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	16学級 428名 (うち特別支援学級2学級9名)
教育目標	<p style="margin: 0;">◎進んで学習する子(知) ◎思いやりのある子(情) ◎考えて行動する子(意) ◎元気に活動する子(体)</p> <p style="margin: 0;">【重点教育目標】 考えて行動する子 ～自己指導能力を身に付け自ら挑戦し続ける子どもの育成～</p>		
研究主題	<p style="margin: 0;">課題意識をもち、解決する子 ～国語・算数における学び合い(主体的で対話的な学び)を通して～</p>		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 学力向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的で対話的な学びを生かした指導方法の工夫改善 ・レディネステストに基づいたグループ分けによる全学年習熟度別少人数指導の実施(算数) ・わくわくルーム(算数補習)の実施と漢字コーナーの設置 ・計算コンクールの実施 ・千歳チャレンジやチャレンジテストの活用 ・ICT機器の効果的な活用 2 総合的な学習の時間の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教材や施設・設備を効果的に活用し、児童の資質能力を高める。 <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年「サケのくらしから学ぶSDGs」 ・第4学年「川のかんきょうから学ぶSDGs」 ・第5学年「森の役割から学ぶSDGs」 ・第6学年「アイヌの生活から学ぶSDGs」 3 青葉中学校区一貫教育 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育委員会において、各委員会で取組を推進 ・小中交流会で、3校の教職員の共通理解を図る 4 読書週間の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の取組と読書の日の設定 		
沿革	<p style="margin: 0;">昭和41年12月 新設開校 昭和42年 1月 開校記念式挙行 昭和51年 3月 祝梅小学校分離 6月 開校10周年記念式典挙行 昭和61年11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年12月 開校40周年記念事業 平成24年10月 千歳市学校課題研究発表会開催 北海道算数数学教育研究大会石狩・千歳大会(小学校会場)開催 平成27年 4月 地域の学力向上支援事業拠点校 平成28年12月 開校50周年記念式典挙行 令和元年 5月 あそびの日inちとせ 会場校 令和 2年 4月 学校運営協議会設置 令和 3年 4月 特別支援学級「きらめき学級」設置 令和 4年 7月 児童用タブレット配備</p>		


	<h2 style="margin: 0;">高 台 小 学 校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市富丘1丁目19番4号 電話：0123-23-9109 創設：昭和45年4月1日 面積：敷地21,844㎡、建築5,068㎡</p>		
校長名	松田 宏明	教頭名	池本 敦
教職員数	教員 22名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	15学級 278名 (うち特別支援学級4学級25名)
教育目標	<p style="text-align: center;">広く深く豊かに生きぬく高台の子の育成を目指す</p> <p>1. 深く考え 学び合う子 2. 広い心で 助け合う子 3. 心豊かに 生きぬく子 【重点目標】「自他の幸せのため挑戦・応援し合う子どもの育成」 ～子供の変容を創り出し、他者と関わり自己肯定感・自己有用感を高める教育の推進～</p>		
研究主題	自己の考えや思いを伝え合い、ともに学び合う児童の育成 ～一人一人が伝え合う学習を目指して～		
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ◎身近な「人」「文化」「自然」「施設」を生かした体験的な活動や各種ふれあい事業と児童の自主性を重視した活動を通して、「広く深く豊かに生きぬく高台の子」を育成する。 ○地域学習材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学校花壇と栽培学習 ・サケの飼育と放流 ・公立千歳科学技術大学との連携 ○異学年・全校交流 <ul style="list-style-type: none"> ・フレンドリータイム(縦割り班活動) ・高台っ子ふれあいフェスティバル ・いじめNO!等の各種集会 ○地域人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・サケ飼育の指導 ・CSによる授業支援(家庭、書写、水泳、スケート等) ○ボランティア活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニセフ活動(社協との連携) ・いこいの森清掃 		
沿 革	<p>昭和45年 4月 新設開校</p> <p>昭和54年 5月 肢体不自由児訓練室「そらまめ」学級開設</p> <p>昭和55年11月 開校10周年記念式典祝賀会举行</p> <p>平成 2年11月 開校20周年記念式典举行</p> <p>平成12年 9月 小学校英会話学習モデル事業開始</p> <p style="padding-left: 20px;">10月 開校30周年記念式典举行</p> <p>平成15年 3月 平成14年度北海道公立学校教育課程実践・石狩教育局長表彰</p> <p>平成16年11月 千歳市学校課題研究発表会</p> <p>平成18年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞</p> <p>平成20年 1月 岡山市立西大寺南小と、サケ飼育を通じ交流</p> <p>平成21年 5月 人権の花贈呈式</p> <p>平成22年 5月 「あそびの日 in ちとせ高台小学校」会場校</p> <p>平成23年 5月 非行防止教室開催</p> <p>平成24年12月 冬休みの勉強会開催</p> <p>平成25年 8月 夏休みの勉強会開催</p> <p>平成26年 2月 全学級に電子黒板配備</p> <p>平成27年11月 なかよしさわやかDAYいじめシンポジウム児童会による提言発表</p> <p>平成28年11月 特定防衛施設周辺整備外壁工事終了</p> <p>平成29年 2月 千歳市コミュニティ・スクール研究指定校</p> <p>平成30年12月 北海道道徳教育推進校事業 公開授業研究会開催</p> <p>平成31年 4月 特別支援学級開設(知的・情緒・病弱)</p> <p>令和 2年12月 開校50周年記念事業 航空自衛隊北部音楽隊演奏会開催</p>		


	<h2 style="margin: 0;">東 小 学 校</h2>		
	<p>所在：千歳市東丘 824 番地の 30 電話：0123-21-3200 創設：昭和 46 年 1 月 1 日 面積：敷地 16,675 m²、建築 2,184 m²</p>		
校長名	高橋 基	教頭名	高橋 良枝
教職員数	教員 6名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	4学級 26名
教育目標	<p style="text-align: center;">「思いやる心で たくましく 学びつづける 東っ子」</p> <p>【重点目標】 自ら学び 高め合う 東っ子 ～笑顔いっぱい すすんでチャレンジ さいごまで～</p>		
研究主題	<p>「主体的に考え、進んで学び続ける、心豊かな子どもの育成」 ～ 東小教育のUD（ユニバーサルデザイン）を通して ～</p>		
特色ある 教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・学校田（米）を活用して、田植え・観察・収穫・脱穀・収穫祭までの活動 2 ボランティア・交流活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域清掃（小中合同、地域） ・千歳小・北進小学校や市内小規模2校（駒里小・支笏湖小）との交流活動 3 ふるさと教育 <ul style="list-style-type: none"> ・東千歳合同運動会（小中合同、地域）、学芸会など、地域と一体の行事 ・栽培活動集会、収穫祭など、地域の方の協力による活動 4 パレットタイム <ul style="list-style-type: none"> ・「国語・算数を中心としたくり返し学習」「朝読書」「体力づくり」を実施 5 縦割り班（異学年）活動 <ul style="list-style-type: none"> ・花壇作業、稲作体験を中心とした活動 6 小中連携・一貫教育 <ul style="list-style-type: none"> ・東千歳中学校との連携 ・合同行事・授業、教職員研修の実施 ・学校運営協議会の設置 		
沿 革	<p>昭和46年 1月 幌加小、協和小、東丘小の3校統合開校 昭和55年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 2年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年10月 全道へき複大会第5分科会会場校 平成12年12月 開校30周年記念式典挙行 平成13年 9月 コンピュータ室整備 10月 学校林記念植樹 平成14年10月 石教研へき複部会研究集会 平成23年 1月 開校40周年記念を祝う会開催 9月 全道へき複研究大会石狩プレ大会第4分科会会場校 平成24年 9月 全道へき複研究大会石狩大会第4分科会会場校 平成27年 4月 電子黒板設置・デジタル教科書導入 平成28年 7月 校舎大規模改修 8月 花いっぱいコンクール最優秀賞 平成29年 8月 体育館耐震改修工事 平成30年 9月 台風21号被害（学校林 倒木・伐採） 平成31年 3月 コンピュータ室パソコン更新 令和 2年 1月 職員室校務用パソコン更新 11月 開校50周年記念植樹 令和 3年11月 開校50周年記念事業としてステージ幕を新調 12月 開校50周年記念式典挙行 令和 4年 8月 児童用端末搬入 令和 5年 1月 照明のLED化</p>		

	<h2 style="margin: 0;">祝 梅 小 学 校</h2>		
	所在：千歳市梅ヶ丘3丁目2番1号 電話：0123-23-1110 創設：昭和51年4月1日 面積：敷地 20,571 m ² 、建築 6,371 m ²		
校長名	岩崎 愛彦	教頭名	山本 麻千子
教職員数	教員 18名 養護 1名 事務 1名 栄養 1名	学級数 児童数	12学級 227名 (うち特別支援学級3学級14名)
教育目標	『すくすく のびのび』 みとめ合い、まなび合い、たかめ合い、きたえ合う 祝梅っ子 【経営の重点】 「対話」と「元気」いっばいの学びを支える 思いやりの関係づくり		
研究主題	情報活用能力を高めながら学ぶ子どもの育成 ～ICT 機器を用いた個別最適な学び・協働的学びの実現に向けて～		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 植物栽培活動(学校花壇、教材園) (2) 飼育活動(サケの飼育活動、サケの交流事業、金魚の飼育活動) 2 人権教育 <ol style="list-style-type: none"> (1) 道徳教育の充実(特別な教科「道徳」、各教科、人権教室、福祉体験学習、ありがとう集会) 3 学力向上の取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自学ノート、新聞 DAY、定期テスト、祝梅タイム(学力向上 DAY 等) 4 体力向上の取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全学年の統一したウォーミングアップの取組、体育専門教員による全学年新体力テスト実施、日常的に体力テストに取り組み環境整備、ひと月に1週間のアクティブ・ウィークの実施 5 4期のサイクル <ol style="list-style-type: none"> (1) わくわくステージ(4月～6月)自分の目標を意識し、進んで取り組む期 (2) のびのびステージ(7月～9月)自分の良さを伸ばす期 (3) じっくりステージ(10月～12月)前期を振り返り、自分を見つめじっくり取り組む期 (4) しっかりステージ(1月～3月)今までの自分を振り返り、新学年につなげる期 		
沿 革	昭和51年 4月 新設開校 昭和55年 9月 開校5周年記念式典挙行 昭和60年11月 開校10周年記念式典挙行 平成 6年 1月 豊かな学校創生事業によるサケ飼育開始 平成 7年11月 開校20周年記念式典挙行 平成10年 1月 岡山県西大寺南小学校とサケ飼育を通しての交流を始める 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成22年 3月 多目的トイレ完成 平成23年 4月 学校教育目標の改訂、新しい図書スペース「図書の森」完成 平成24年 9月 体育館耐震改修工事完了 平成25年 4月 あさがお(知的、情緒)学級開設 11月 校舎改修工事(外壁塗装・防水・普通教室改修等) 平成27年 9月 千教振学校課題研究発表会 11月 開校40周年を祝う会挙行 令和元年10月 体育館暖房機入替工事完了 令和 2年11月 管理棟・東校舎暖房機入替 12月 校内無線LAN設置、教室PC、児童タブレットPC40台設置完了 令和 3年 4月 職員女子トイレ1か所改築 6月 グラウンド周辺の老木伐採完了 令和 4年 7月 施設照明 LED化工事、児童用タブレット配置		

	<h2 style="margin: 0;">桜木小学校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市自由ヶ丘7丁目1番1号 電話：0123-22-3301 創設：昭和53年4月1日 面積：敷地 24,370 m²、建築 5,550 m²</p>		
校長名	玉腰 武	教頭名	佐藤 香代子
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	15学級 307名 (うち特別支援学級3学級5名)
教育目標	<p style="text-align: center;">自ら学び心豊かでたくましい桜木の子</p> <p style="text-align: center;">○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○明るくたくましい子</p> <p><重点教育目標></p> <p style="text-align: center;">『すべては子どもたちの笑顔のために』 ～日々成長を実感できる学校～</p> <p style="text-align: center;">★基礎基本や学び方を重視し、自ら学び自ら考える力をはぐくむ教育の推進</p> <p style="text-align: center;">★豊かな心を培い、社会性を育む教育の推進</p>		
研究主題	自ら学び自ら考える子の育成 ～国語科の「詠むこと」の学習を通して～		
特色ある教育活動	<p>○学力向上を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの約束」の提示と定着 ・補充学習（チャレンジタイム）の実施 ・自主的に取り組む学習プリント（チャレプリ）の活用 ・朝の読書活動の推進 ・学生ボランティアを活用した長期休業中の補充学習の実施 ・生活リズムチェックシートを活用した家庭での生活習慣の改善 ・工夫した学習ノートの掲示と意欲喚起（キラリノート） <p>○体力向上を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内に運動スペースの設置 		
沿革	<p>昭和53年 4月 新設開校</p> <p>昭和62年10月 開校10周年記念式典挙行</p> <p>平成元年11月 桜木博物館、桜木学習公園完成</p> <p>平成8年 2月 サイパン島ガラパン小学校と姉妹校盟約締結</p> <p>平成10年11月 開校20周年記念式典挙行</p> <p>平成16年 2月 石狩教育実践奨励表彰受賞</p> <p style="padding-left: 20px;">5月 すこやか農園造成</p> <p>平成19年10月 石教研学校課題研究発表会</p> <p style="padding-left: 20px;">12月 開校30周年記念式典挙行</p> <p>平成20年 8月 ミレニアムタイムカプセル開封式</p> <p>平成21年 3月 環境省「こどもホタレンジャー」優秀賞受賞</p> <p>平成22年11月 第一回桜木メッセージ開催</p> <p>平成24年 4月 学校力向上に関する総合実践事業指定校（道教委）</p> <p style="padding-left: 20px;">8月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞</p> <p>平成25年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞</p> <p>平成26年 4月 学校の教育目標の改訂</p> <p style="padding-left: 20px;">6月 引き渡し訓練の実施</p> <p>平成27年12月 学校力向上に関する総合実践事業研究協議会開催</p> <p>平成28年 4月 平成28年度千歳市体力向上実践指定校</p> <p>平成29年 8月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞</p> <p>平成30年12月 学校力向上に関する総合実践事業地域連携研修講演会開催</p> <p>令和元年12月 桜木小学校授業改善研修会開催</p> <p>令和5年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞</p>		



	<h2 style="margin: 0;">向 陽 台 小 学 校</h2>		
	<p>所在：千歳市若草 5 丁目 1 番地 電話：0123-28-2111 創設：昭和 57 年 4 月 1 日 面積：敷地 28,468 m²、建築 6,761 m²</p>		
校長名	久々江 貴志		教頭名 柏原 浩之
教職員数	教員 11名 養護 1名 事務 1名	学級数 児童数	9 学級 128名 (うち特別支援学級3学級3名)
教育目標	<p>『明るく豊かな心とたくましい体を持ち、進んで自ら創造し実践する子どもの育成をめざす』 ○すすんで考える子 ○すなおで 思いやりのある子 ○ねばり強く やりぬく子 ○明るく たくましい子 【重点教育目標】 自ら学び思いやりをもってたくましく生きる向陽っ子</p>		
研究主題	『ともに学び、心豊かに表現できる子どもの育成 ～向小アプローチによる国語科の授業を通して～』		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 花と小鳥と緑を愛する活動（北海道愛鳥モデル指定校） 2 異学年集団活動（向陽っ子タイム） 3 地域の人材を生かした活動（千歳市学校支援地域本部事業～水泳・スキー、スケート指導補助） 4 地域高齢者とのふれあい活動（特別支援学級ミニ運動会） 5 家庭学習の習慣化（小中一貫家庭学習手引の配布、自学ノートの表彰） 6 可能性を伸ばす特別支援教育（交流・体験学習等を取り入れた教育活動） 7 学校図書館の地域開放（PTA図書ボランティア「森ック」との連携） 		
沿革	<p>昭和 57 年 4 月 新設開校 平成 4 年 10 月 開校 10 周年記念式典挙行 平成 5 年～ 毎年、市や北海道の花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞・優良賞・奨励賞等を受賞 平成 6 年 4 月 北海道愛鳥モデル校指定 平成 9 年 3 月 泉沢小学校分離 平成 10 年 4 月 あおぞら（情緒、知的障害）学級開設 平成 11 年 3 月 全道 P T A 広報紙コンクール優秀賞受賞 平成 13 年 1 1 月 開校 20 周年を祝う集い 平成 14 年 6 月 学校図書館地域開放 平成 15 年 4 月 難聴学級開設 平成 16 年 4 月 肢体不自由学級開設 平成 18 年 9 月 千歳市「花いっぱいコンクール」最優秀賞受賞 平成 19 年 5 月 北海道社会貢献賞 野生鳥獣保護功労者受賞 平成 20 年 2 月 文部科学省指定 「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」公開研究会開催 1 2 月 北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成 21 年 8 月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成 22 年 8 月 千歳市花いっぱいコンクール特別賞受賞 平成 23 年 1 0 月 文部科学省 読書活動優秀実践校表彰 1 2 月 開校 30 周年記念式典挙行 平成 24 年 4 月 北海道愛鳥モデル指定校 平成 26 年 8 月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 2 年連続受賞 平成 27 年 7 月 大規模改修開始（～平成 28 年 1 月） 8 月 千歳市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成 28 年 2 月 千歳市社会福祉協議会「社会福祉善行表彰（ボランティア活動）」受賞 1 1 月 体力向上パートナーシップ形成事業実践研究指定校 平成 29 年 7 月 校舎給水管改修工事（～8 月） 8 月 千歳市花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成 30 年 1 0 月 平成 30 年度千歳市学校課題研究発表会 令和 2 年 1 0 月 地域社会貢献工事施行（グラウンド暗渠工事、駐車場ライン引き等） 令和 3 年 開校 40 周年記念の年 1 0 月 地域社会貢献工事施行（表、裏駐車場工事、西庁舎階段 L E D 化） 令和 4 年 5 月 社会貢献工事施行（教材園の周囲に鹿対策の囲い設置） 令和 5 年 8 月 校舎内照明 LED 化完了</p>		



	<h2 style="margin: 0;">北 陽 小 学 校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市北陽3丁目9番1号 電話：0123-42-3441 創設：平成6年4月1日 面積：敷地 26,056 m²、建築 9,619 m²</p>		
校長名	設楽 真奈美	教頭名	鶴羽 伸介
教職員数	教員 51名 養護 2名 事務 2名	学級数 児童数	33学級 901名 (うち特別支援学級4学級23名)
教育目標	<p>◎自分や友だちのよさを生かし、心を豊かにしようとする子どもの育成 (情)思いやりをもち、助け合う子(やさしい子) (意)目標に向かって、努力する子(がんばる子) (知)自ら学び、深く考える子 (考える子) (体)進んで体をきたえる子 (元気な子) 【重点教育目標】 『自己有用感の向上』 進んで学び、自他のよさを認めなかよく活動できる子どもの育成 ～支持的風土の学級づくりと授業改善を通して～ ・意欲的に学習に取り組み、お互いのよさ・考えを認め、高め合い、友達となかよく交流・活動できる児童</p> <p style="text-align: center;">機能するチーム学校の実現 ～コミュニケーションの充実と共通実践を通して～</p>		
研究主題	個別最適な学びに向かう児童の育成 「指導の個別化」「学習の個性化」が有効に機能する単元(授業)構成を通して		
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生活・学習の仕方の基本事項の指導(凡事徹底) ○認め・励ます支持的風土の学級づくりと児童の自己有用感を高める取組 ○自己の生き方を考え深める道徳の授業づくりと道徳教育の充実 ○コミュニティ・スクールと小中連携・一貫教育の推進 ○コーディネーショントレーニングの活用と教科体育の充実 ○関係機関と連携した特別支援学級、通級指導教室における教育活動の推進 ○専科教員による外国語活動・外国語科授業 ○健康、安全に関する指導の充実(食物アレルギー対応等含む) ○1人1台端末の活用 		
沿革	<p>平成6年4月 新設開校 平成9年3月 世界児童画展都道府県団体賞受賞 平成11年1月 増築校舎完成 平成11・12年度 千歳市学校課題研究指定校 平成11年12月 プール完成 平成12・13年度 石狩教育局 地域教育推進事業「学社融合推進モデル事業」校 平成14年7月 学校図書館地域開放開始 平成15年11月 開校10周年記念式典 平成18年5月 千歳っ子見守り隊対面式 平成20年3月 増築校舎完成 平成21年3月 全道PTA広報紙コンクール大賞受賞 平成22年1月 新校舎1・2階教室改築工事完了 平成23年3月 図書室・図工室・普通教室改築、校長室移設、職員室拡充工事完了 平成24年3月 プレハブ校舎増築完了 6月 保護者引取型下校訓練実施 平成25年11月 開校20周年記念式典 平成26年3月 職員室拡充・第二児童玄関・第二理科室・普通教室他増築 8月 新校舎外構整備工事完了 11月 児童用タブレット端末導入 平成27年6月 午前・午後による二部制の運動会実施 平成29年8月 児童トイレ拡充工事完了 平成30年8月 バックネット、グラウンドへの通路舗装工事完了 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 令和元年12月 分離校校名「千歳市立みどり台小学校」に決定 令和2年8月 千歳市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 令和3年3月 全道PTA広報紙コンクール審査員特別賞受賞 令和4年3月 みどり台小学校分離 令和5年7月 開校30周年記念写真撮影(航空写真)</p>		



	<h2 style="margin: 0;">泉 沢 小 学 校</h2>		
	<p>所在：千歳市柏陽2丁目9番地 電話：0123-28-5830 創設：平成9年4月1日 面積：敷地 32,022 m²、建築 5,409 m²</p>		
校長名	早川 久夫	教頭名	長坂 文彦
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	11学級 203名 (うち特別支援学級3学級10名)
教育目標	<p>「明るい笑顔、響き合う心、瞳輝く泉沢」 ○思いやりをもち、助け合う子(情) ○ねばり強く、がんばりぬく子(意) ○進んで学び、深く考える子(知) ○明るく元気で、たくましい子(体) 【重点目標】 「笑顔と思いやりをもつ たくましい子の育成」 ～「気づきと行動の実践」と「自己決定・自己表現」への深化～</p>		
研究主題	<p>先の見えない時代に立ち向かう自律した学習者の育成 ～学習者主体の授業改革を通して～</p>		
特色ある教育活動	<p><地域を生かした教育活動の推進> (1) 総合的な学習の時間・・・地域素材(人・社会・自然)活用した探求的な学習 (2) 泉沢小の「かがやきの森・学校林」を生かした自然体験活動や環境教育 (3) 臨空工業団地を生かした教材づくりと教育活動 (4) 向陽台の諸施設(リハビリ大学・日本航空大学校など)を生かしたキャリア教育 (5) 老人ホーム・車椅子体験等、福祉教育、ボランティア活動の推進 (6) サケのふるさと千歳水族館の協力による、サケの採卵・飼育・放流体験学習</p>		
沿 革	<p>平成 9年 4月 新設開校 平成10年 9月 泉ザ・ワールド開催 平成11年 6月 卒業記念植樹 平成14年11月 千歳市学校課題研究指定発表会 平成15年 9月 英会話学習開始 平成16年10月 台風により学校林20本倒木 平成17年10月 開校10周年記念事業準備委員会発足 平成18年 5月 開校10周年記念大運動会実施 10月 開校10周年記念・石教研指定学校課題研究発表会開催 11月 開校10周年記念式典挙行 平成19年11月 全校道徳実施 平成20年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 5月 第2回全校道徳実施 平成21年 2月 「遊々の森」認定書締結式 5月～11月 「かがやきの森」整備開始 平成22年 2月 第3回全校道徳実施 平成23年11月 第4回全校道徳実施 平成25年 2月 第5回全校道徳実施 平成26年 1月 第6回全校道徳実施 9月 千歳市学校課題研究発表会・石狩管内教育機器活用研究大会 平成27年 2月 第7回全校道徳実施 平成28年 2月 第8回全校道徳実施 12月 開校20周年を祝う会 第9回全校道徳実施 平成29年12月 第10回全校道徳実施 平成30年 7月～9月 体育館屋根耐震工事 令和 2年 1月 コンピュータ室パソコン更新 2月 職員用パソコン更新 令和 3年 4月 特別支援学級開設(知的・情緒各1学級) 令和 4年 4月 特別支援学級増設(知的1・情緒1・肢体1) 8月 一人一台端末機(児童用学習用タブレット)、高速無線LAN設置 令和 4年10月 外壁修繕工事 令和 5年 9月 「感情読み取りプロジェクト実証事業」開始</p>		



	<h2 style="margin: 0;">みどり台小学校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市みどり台北5丁目3番1号 電話：0123-40-2510 創設：令和4年4月1日 面積：敷地 28,671 m²、建築 7,661 m²</p>		
校長名	渡辺 弘行	教頭名	林 克也
教職員数	教員 29名 養護 1名 事務 2名	学級数 児童数	22学級 624名
教育目標	<p style="text-align: center;">未来をひらき、たくましく生きるみどり台小学校の子ども</p> <p style="text-align: center;">○豊かな心 ○確かな学力 ○健やかな体</p> <p>【重点教育目標】</p> <p style="text-align: center;">《自己有用感の向上》</p> <p style="text-align: center;">進んで学び、自他の良さを認め、なかよく活動できる子どもの育成</p>		
研究主題	<p style="text-align: center;">個別最適な学びに向かう児童の育成</p> <p style="text-align: center;">「指導の個別化」「学習の個性化」が有効に機能する単元・授業構成を通して</p>		
特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○生活・学習の仕方の基本事項の指導（凡事徹底） ○認め、励ます支持的風土の学級づくりと児童の自己有用感を高める取組 ○自己の生き方を深く考え深める道徳の授業づくりと道徳教育の充実 ○コミュニティ・スクールと「小小連携」、小中連携・一貫教育の推進 ○コーディネーショントレーニングの活用と教科体育の充実 ○日本語指導が必要な児童への対応 ○関係機関と連携した特別支援教育の推進 ○専科教員による理科授業 ○健康、安全に関する指導の充実（食物アレルギー対応、スクールバス運行含む） ○1人1台端末の活用 		
沿革	<p>令和 4年 4月 新設開校</p> <p style="padding-left: 2em;">9月 開校記念航空写真・全校写真撮影</p> <p style="padding-left: 2em;">12月 「開校を祝う会」開催</p> <p>5年 4月 特別支援学級「よつぱルーム」開設</p>		



2 中学校



	<h2 style="margin: 0;">千 歳 中 学 校</h2>		
	所在：千歳市栄町4丁目35番地 電話：0123-23-3161 創設：昭和22年6月4日 面積：敷地24,482㎡、建築6,782㎡		
校長名	金森 直人		教頭名 折田 道啓
教職員数	教員 31名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	18学級 536名 (うち特別支援学級3学級15名)
教育目標	柏葉の精神を育み、信愛を深める教育 豊かな心、確かな力、健やかな心身、広い視野の育成 <重点教育目標>主体的に学び 心豊かに行動し 最後までねばり強く挑戦する生徒の育成 ～夢や希望をもち、未来をたくましく生きる～		
研究主題	「進んで考え、粘り強く学びに向かう生徒の育成」 ～深い学びに向かう、考えなくなる課題の工夫と対話の充実を通して～		
特色ある教育活動	1 PT活動 MY ゴール手帳作成 環境整備、地域との交流、研修活動 2 地域との交流、ボランティア活動 生徒会による各種募金活動、地域清掃、地域の方々と共に花を植える花壇ボランティア活動、落ち葉拾い		
沿 革	昭和22年 6月 新設開校 9月 校章を制定 昭和24年 6月 校歌制定 昭和26年 3月 新校舎完成(現在地) 昭和29年 3月 体育館完成 昭和37年11月 鉄筋コンクリート三階建校舎完成 12月 完全防音、温風暖房機付講堂(兼体育館)完成 昭和52年10月 開校30周年記念式典挙行「記念誌発行」 平成元年 4月 はまなす学級開設 平成5年 1月 コンピュータ教室工事完了 平成9年11月 開校50周年記念式典挙行「記念誌発行・校旗更新」 平成10年 2月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成12年 2月 平成11年度北海道教育実践奨励表彰受賞 平成14年 2月 安全対策整備工事完了(玄関オートロック式施錠、テレビドアホン等) 平成16年 3月 はまなす学級改修工事完了 平成18年 8月 2階東校舎教室改修工事完了 平成19年10月 「柏葉の像」修復・塗装完了(奈良昌美先生・同窓会協賛事業) 平成20年 3月 開校60周年記念講演会 平成21年 9月 管理棟・教室棟・西校舎ボイラー交換(天然ガス化) 平成22年 8月 生徒用トイレ改修工事完了 10月 耐震工事(東・西・管理棟・体育館)完了 平成23年 1月 理科室、水飲み場、防火扉改修工事完了 平成24年 4月 真町中学校と統合 平成26年 1月 平成25年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(卓球) 平成27年 9月 体育館天井耐震化工事完了 平成28年 1月 平成27年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(野球) 平成29年 1月 平成28年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(野球、剣道) 平成29年10月 開校70周年記念式典挙行 平成30年 1月 平成29年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(剣道) 平成31年 1月 平成30年度千歳市体育協会スポーツ奨励賞受賞(剣道) 3月 絵画「秋日和・柏の大地」寄贈(伊藤光悦先生作 第21期卒業生寄贈) 令和元年10月 西校舎外壁・廊下天井、調理室下配管、エレベータ機器刷新工事終了 令和3年 7月 トイレ様式化へ改修工事 11月 防球フェンス改修工事		



	<h2 style="margin: 0;">北 進 中 学 校</h2>		
	所在：千歳市北栄1丁目2番6号 電話：0123-23-3439 創設：昭和37年4月1日 面積：敷地 10,642 m ² 、建築 2,853 m ²		
校長名	野澤 孝志	教頭名	鈴木 敦司
教職員数	教員 9名	学級数 生徒数	知的障がい 2学級14名 自閉症・情緒障がい 2学級12名 計 4学級26名
教育目標	～21世紀を、自分のよさを発揮し、広く豊かに生きる子どもの育成～ ・たしかに学ぶ子(知) ・かかわりをもてる子(情) ・たくましく生きる子(意・体) 【重点目標】 かかわりを通して学び、主体的に未来を生き抜く子どもの育成 ～「かかわる」「つなげる」「ひろげる」で、子どもたちの未来を見守る～		
研究主題	主体的に未来を生き抜く子どもの育成 ～情報活用能力を生かした、「主体的・対話的で深い学び」の授業実践～		
特色ある教育活動	1 特別支援学級のみ为学校としての特徴を生かした小中一貫教育の推進 2 自己決定や社会参加を見通した教育活動 (体験学習、ソーシャルスキルトレーニング-SST-) 3 個別の指導計画の作成とインフォームドコンセントおよびアカウンタビリティの推進 4 生徒一人一人の個性を生かし、かつ、大きな集団の良さを生かした教育活動 5 他校の生徒を含めた教育相談・通級指導		
沿革	昭和37年 4月 千歳中学校に特殊学級設置認可 昭和38年12月 北栄1丁目2番6号に新校舎落成移転(現校舎) 昭和41年 4月 千歳中の北栄分校と称する 昭和46年 4月 北進中学校と称する 昭和47年 3月 北進中学校第1回卒業式 昭和49年10月 開校15周年記念式典挙行 昭和53年 4月 情緒障害学級開設認可 平成 3年 3月 開級30周年・校舎増築・新体育館 完成記念式典挙行 平成14年 2月 開級40周年記念祝賀会、開校30周年記念祝賀会 平成18年 2月 北海道教育実践表彰受賞 10月 コンピュータ入れ替え 平成23年12月 開校40周年をお祝いする会 平成24年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 平成26年 9月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成27年 9月 花いっぱいコンクール最優秀賞受賞 平成28年 8月 体育館非構造部材耐震工事、花いっぱいコンクール優秀賞受賞 平成29年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞 校長住宅解体 平成30年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞 令和元年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 10月 市内音楽発表会(小・中)初参加 令和 2年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 令和 3年 8月 花いっぱいコンクール優良賞受賞 11月 「開校50周年をお祝いする会」開催 令和 4年 8月 花いっぱいコンクール優秀賞受賞		

	<h2 style="margin: 0;">青 葉 中 学 校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市豊里4丁目1番1号 電話：0123-23-4147 創設：昭和32年8月29日 面積：敷地25,601㎡、建築6,533㎡</p>		
校長名	池田 和人		教頭名 鈴木 元次
教職員数	教員 23名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	13学級 335名 (うち特別支援学級3学級9名)
教育目標	<p style="text-align: center;">「21世紀の担い手として活躍する人間性豊かな生徒の育成」</p> <p style="text-align: center;">すぐれた知性(知) 豊かな情操(徳) 強靱な意志と体力(体) 主体的な行動力(生きる力)</p> <p style="text-align: center;">教育課題(本年度の重点課題) 一歩先の自分を創造し、強い心で自己ベスト!</p>		
研究主題	<p style="text-align: center;">主体的に学習に取り組む生徒の育成 ～「青中5つの力」をとおして～</p>		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1【コミュニティ・スクールを基盤とした小中連携・一貫教育の推進】 地域とともに活動を行う活動を協議しながら実施し、地域とともにある学校づくりをすすめています。また、コミュニティ内の小学校と目指す子ども像の統一と教育課程の接続をすすめます。 2【学力向上】 授業改善と直結する校内研修、学習規律および家庭での学習習慣の確立と小中連携の取組、Chromebook・電子黒板等のICT機器の活用、放課後の学習会などを通して、学力の育成を図っています。 3【学習規律の確立】 授業における姿勢、家庭での学習習慣や生活の記録化、教室環境を「ととのえる」「そろえる」ことを重点とし、小学校での指導を踏まえ、学力の向上と生活の安定を図ります。 4【体力向上】 全学年において新体力テストを実施し、種目ごとに記録を示して次の目標を持たせるとともに、体育祭に向けた学級対抗リレーや部活動での体力づくりを通して、体力向上に努めています。 5【総合的な学習】 ふるさと教育や国際理解教育をすすめる中で、コミュニケーション能力や心の育成を図り、自分らしい生き方を探るために主体的に学び、行動する生徒を育てています。 1年：地域学習(災害を知る、千歳の防災について、避難所運営訓練) 2年：職業学習(職場体験学習、職場へのお礼・レポート作成) 3年：課題別学習(国際理解、職場体験、フィールドワーク体験の論文作成等) 6【自治活動】 挨拶運動・各種募金活動やGBクラブ・青中フォトギャラリー・青葉の一等生などユニークな活動を展開し、自治活動の高場に向けた取組を積極的に行っています。 また生徒会による「いじめ撲滅宣言」採択など、アンケートや学級・学年の取組を展開しています。 7【朝読書】 全校朝読書により、一日の学校生活が読書の静寂からスタートするとともに、朝読書習慣の定着を進めています。 8【フォーサイト手帳・ノーチャイム】 自己管理能力を育成し、見通しを持った生活・学習につなげています。 		
沿 革	<p>昭和32年 8月 千歳中学校より分離・新設開校 昭和47年 1月 真町中学校新設のため分離 昭和48年 1月 現在地に校舎移転 昭和50年 3月 富丘中学校新設のため分離 昭和56年 2月 生徒増に伴い増築校舎完成 平成 2年12月 プレハブ校舎完成 平成19年10月 開校50周年式典、祝賀会 平成22年 4月 穂積雅子氏凱旋報告会(バンクーバー五輪銀メダリスト) 平成25年 7月 全道中体連陸上大会男子砲丸投げ優勝 8月 全国中体連陸上大会出場 大規模改修工事(体育館壁面・放送機材等) 平成26年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m優勝 平成26年 4月 北海道教育委員会地域の学力向上支援事業拠点校 平成27年 2月 全国中体連スケート大会女子1500m・3000m準優勝 10月 ジュニアオリンピック女子共通ジャベリックスロー 出場 平成28年 2月 全国中体連スケート大会女子 500m5位入賞 12月 千歳市小中連携・一貫教育調査研究実践モデル校区指定 平成30年 4月 北海道教育委員会小中一貫教育支援事業指定校 平成31年 4月 新体力テストの実施方法改善に向けた実践事業指定校 令和元年11月 石教研学校課題研究発表会 令和 3年 4月 千歳市学力向上検討委員会モデル校(～令和4年) 令和 4年 8月 校内照明LED化</p>		



	<h1 style="margin: 0;">東 千 歳 中 学 校</h1>			
	所在：千歳市幌加 731 番地の 117 電話：0123-21-3300 創設：昭和 27 年 4 月 1 日 面積：敷地 20,237 m ² 、建築 1,986 m ²			
校長名	赤井 輝人		教頭名	加藤 隆司
教職員数	教員 5 名 養護 1 名 時間講師 1 名 事務 1 名	学級数 生徒数	3 学級 (1・2 年複式、3 年単式 特支 1) 12 名 (うち特別支援学級 1 学級 1 名)	
教育目標	◎確かな学力 (知) ◎豊かな心 (情) ◎責任ある行動 (徳) ◎たくましい心身 (体) 【重点目標】 自ら学び 表現力を磨き 共に高め合う 生徒の育成			
研究主題	主体的に学びに向かう生徒の育成 ～各教科における「見通し」「振り返り」を重視した学習の工夫を通して～			
特色ある教育活動	・柏タイム (総合的な学習) ・パークゴルフ大会・地域の人たちとの校外清掃・地域保育所への訪問活動・地域の人を講師に迎え、全校道徳・アイヌ文化学習・学校農園作り・地域の人を講師に迎え、陶芸教室・花壇整備活動・地域の人を講師に迎え、かるた大会・小中合同運動会・ボランティア活動 (国際協力)			
沿 革	<p>昭和 22 年 6 月 幌加中学校として幌加小学校に併設して開校</p> <p>昭和 27 年 4 月 東千歳中学校として独立</p> <p>昭和 31 年 12 月 屋内体育館完成</p> <p>昭和 38 年 12 月 東雲寮完成</p> <p>昭和 45 年 12 月 スクールバス運行開始 東雲寮閉鎖</p> <p>昭和 49 年 3 月 校舎改築完成</p> <p>昭和 51 年 3 月 防音講堂 (屋体) 完成</p> <p>昭和 57 年 11 月 開校 30 周年記念式典挙行</p> <p>平成 4 年 7 月 開校 40 周年記念事業、パークゴルフ場完成</p> <p>平成 5 年 4 月 学校教育目標改定</p> <p>平成 6 年 9 月 ふるさとふれあいパークゴルフ場完成</p> <p>平成 7 年 2 月 コンピュータ教室設置</p> <p>平成 20 年 1 月 第 6 回全道壁新聞コンクール「準大賞」受賞</p> <p>平成 24 年 8 月 千歳市「花いっぱいコンクール」中学校の部 名誉花壇賞受賞</p> <p>12 月 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「農林水産大臣賞」受賞</p> <p>平成 25 年 12 月 アートグランプリ in SAKAI「文部科学大臣賞」「読売テレビ賞」受賞</p> <p>国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール「林野庁長官賞」</p> <p>「国土緑化推進機構理事長賞」受賞</p> <p>平成 26 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞</p> <p>7 月 全国学校秀作美術展「読売新聞社賞」「特選」受賞</p> <p>10 月 馬の絵作品「北海道知事賞」受賞</p> <p>12 月 国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール「農林水産大臣賞」受賞</p> <p>平成 27 年 1 月 アートグランプリ in SAKAI「毎日新聞社賞」受賞</p> <p>7 月 全国学校秀作美術展「文部科学大臣賞」受賞</p> <p>平成 28 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道知事賞」「石狩振興局長賞」受賞</p> <p>6 月 全国学校秀作美術展「日本美術教育理事長賞」「特選」受賞</p> <p>9 月 馬の絵作品「文部科学大臣賞」受賞</p> <p>11 月 アートグランプリ in SAKAI「堺市教育委員会教育長賞」受賞</p> <p>平成 29 年 7 月 我ら海の子展「山縣記念財団理事長賞」</p> <p>11 月 アートグランプリ in SAKAI「堺市文化振興財団賞」受賞</p> <p>12 月 北海道赤レンガ建築賞 30 周年記念アートコンテスト「最優秀賞」受賞</p> <p>平成 30 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道教育長賞」「石狩振興局長賞」受賞</p> <p>6 月 リサイクルアート・エクスハイビジョン 2018「優秀賞」受賞</p> <p>7 月 馬の絵作品展「学校賞」受賞</p> <p>8 月 我ら海の子展「金賞」受賞</p> <p>11 月 牛やミルクのある風景画コンクール「北海道知事賞」「北海道教育長賞」受賞</p> <p>緑化活動啓発ポスターコンクール「北海道教育長賞」受賞</p> <p>平成 31 年 3 月 税のポスターコンクール「北海道教育長賞」「石狩振興局長賞」受賞</p> <p>令和 元年 7 月 リサイクルアート展 2019「優秀賞」受賞</p> <p>11 月 全国書画展「内閣総理大臣賞」受賞</p> <p>12 月 アートグランプリ in SAKAI「堺ライオンズクラブ賞」受賞</p> <p>令和 2 年 12 月 アートグランプリ in SAKAI「堺 9 ローターイクラブ賞」受賞</p> <p>令和 3 年 1 月 緑化活動啓発ポスターコンクール (全国)「国土緑化推進機構理事長賞」受賞</p> <p>令和 3 年 9 月 馬の絵作品展 北海道知事賞受賞</p> <p>11 月 千歳市民文化表彰 千歳市民文化奨励賞受賞</p> <p>令和 4 年 12 月 北海道学生書道展覧会「秀作」受賞</p> <p>令和 5 年 1 月 校舎・講堂照明 LED 化工事完了</p> <p>2 月 全日本学生美術展「特選」受賞</p> <p>千歳市民憲章普及作文コンクール「選考委員長賞」受賞</p>			

	<h2 style="margin: 0;">駒 里 中 学 校</h2>		
	所在：千歳市駒里 945 番地の 6 電話：0123-23-3237 創設：昭和 31 年 1 月 1 日 面積：敷地 37,652 m ² 、建築 2,368 m ²		
校長名	北村 剛	教頭名	大西 かすみ
教職員数	教員 6名	学級数 生徒数	3学級 10名
教育目標	◎ やさしい子 (広い視野をもち、ふるさとや人を愛する子ども) ◎ 進んで学ぶ子 (進んで学び、自ら考え、行動する子ども) ◎ 元気な子 (たくましい心と体をもった、元気な子ども) 【重点目標】 自他を思いやり、主体的に、最後まで粘り強く取り組む子の育成		
研究主題	「主体的に学ぶ子の育成 ～伝え合いから学びを深める児童生徒の育成～」		
特色ある教育活動	◎ 学校環境を生かした教育活動の充実・推進 1 「総合的な学習の時間」～地域の中での学びをつくる (1) 農園活動学習、農業体験学習 (2) 地域の自然、産業、生活、文化等に関する内容に基づいた課題解決学習 (3) 小中の連携のもと、PTA・地域が一体となって行う各種行事 2 ボランティア活動 (1) 交通安全キャンペーン (2) 学校祭の地域の皆様の招待活動 (3) ベルマーク等の回収 3 体力づくり (1) パークゴルフ (2) 部活動 (バドミントン・卓球)		
沿革	昭和 24 年 12 月 千歳中学校阿宇佐里分校設置 昭和 31 年 1 月 駒里中学校として独立・小学校併置 昭和 32 年 7 月 校旗・校歌を制定 昭和 36 年 12 月 屋内体育館落成 昭和 51 年 8 月 グラウンド整地工事完了 昭和 55 年 2 月 新校舎開設 昭和 61 年 11 月 中学校開校 30 周年記念式典 平成 5 年 10 月 コンピュータ室設置 平成 8 年 9 月 中学校開校 40 周年記念式典 平成 10 年 10 月 全道へき地複式教育研究大会石狩大会会場 平成 17 年 8 月 校舎外壁大規模補修完了 平成 18 年 11 月 中学校開校 50 周年記念式典、祝賀会開催 平成 21 年 9 月 交通安全キャンペーン 25 年達成 平成 23 年 8 月 全国中体連バドミントン大会男子個人出場 平成 26 年 10 月 交通安全キャンペーン 30 年達成 平成 27 年 8 月 全道中体連バドミントン大会男子個人出場 平成 28 年 10 月 小学校開校 110 周年・中学校開校 60 周年記念行事実施 平成 30 年 6 月 コミュニティスクール導入 令和 2 年 4 月 特別支援学級開設 令和 4 年 10 月 交通安全キャンペーン 梅の木植樹・看板作成		

	<h2 style="margin: 0;">富 丘 中 学 校</h2>		
	所在：千歳市あずさ1丁目2番1号 電話：0123-24-1188 創設：昭和50年4月1日 面積：敷地 24,084 m ² 、建築 7,041 m ²		
校長名	堀田 裕之		教頭名 立崎 寿朗
教職員数	教員 31名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	19学級 517名 (うち特別支援学級4学級14名)
教育目標	未来を見つめ、より高きを志向する生徒 一、賢く 創造力豊かな生徒 一、豊かに 豊かな心を持ち、感動できる生徒 一、強く 自ら考え、正しく実行できる生徒 一、逞しく 身体をきたえ、逞しく成長する生徒 <重点目標>『志を高く掲げ 協働しながら挑戦し続ける生徒の育成』 ○夢や目標をもって主体的に学び、自分の考えをきちんと表現できる生徒[賢く、強く] ○自他の価値を認め、思いやりと感謝の心をもって仲間と磨きあえる生徒 [豊かに] ○心身ともに健康で、粘り強く挑戦し続ける生徒 [強く、逞しく]		
研究主題	学びに向かう力の育成 ～主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善～		
特色ある教育活動	1. 「総合的な学習の時間」の体験学習(1年：福祉体験 2年：職場体験 3年：幼稚園実習) 2. 明るく元気なあいさつ 3. 豊かな感性を培う合唱 4. 花とみどりにあふれた環境づくり 5. ボランティア活動～町内会花壇、スノーバスターズ 6. 朝読書等の読書活動の充実 7. 弁当の日の実施 8. 小中連携、一貫教育		
沿革	昭和50年 4月 新設開校 昭和57年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏部門金賞受賞 昭和59年10月 開校10周年記念式典挙行 昭和60年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成 7年 1月 全国書初め展団体優勝 11月 開校20周年記念式典挙行 平成 8年 3月 全日本リコーダーコンテスト重奏・合奏両部門金賞受賞 平成13年 8月 男子卓球部団体戦全国大会出場 平成17年12月 開校30周年記念式典挙行 平成18年 8月 男子ソフトテニス部全国大会出場 平成19年 8月 男子ソフトテニス部・陸上部全国大会出場 平成20年 8月 剣道部全国大会出場 平成21年 3月 全日本リコーダーコンテスト三重奏部門金賞受賞 平成22年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏・重奏の部金賞受賞 平成23年 2月 石狩管内教育実践奨励賞受賞 平成24年 3月 分離式 8月 女子卓球個人全国大会出場 平成25年 4月 特別支援学級開設 平成26年 7月 陸上男子砲丸投 全道優勝、全国大会ベスト8 大規模改修工事・校内放送設備改修工事(～2月) 吹奏楽部 東日本学校吹奏楽大会(群馬県前橋市) 出場 金賞 平成27年 7月 女子バレーボール部全道大会出場 8月 陸上男子四種競技 全道優勝・全国大会出場 11月 開校40周年記念式典挙行 平成29年 7月 陸上部、水泳全道大会出場 平成30年 7月 陸上部、バドミントン部、水泳全道大会出場 平成31年 1月 スケート全道大会出場 令和 2年 2月 スケート全国大会出場 令和 3年 7月 陸上部、水泳、剣道、新体操全道大会出場 令和 4年 7月 野球部、バドミントン部、陸上部、卓球、水泳、剣道、新体操全道大会出場 令和 5年 7月 サッカー部、ソフトテニス部、陸上部、卓球、水泳、柔道、新体操全道大会出場		

	<h2 style="margin: 0;">北 斗 中 学 校</h2>			
	<p>所在：千歳市北斗5丁目1番1号 電話：0123-22-4151 創設：昭和59年4月1日 面積：敷地 32,217 m²、建築 6,380 m²</p>			
校長名	島山 学		教頭名	鬼塚 建次
教職員数	教員 17名 養護 1名 事務 1名	学級数 生徒数	11学級 282名 (うち特別支援学級2学級7名)	
教育目標	<p style="text-align: center;">自ら学び 心豊かに たくましく 生き抜く人 ○すすんで学び行動する人 ○認め支え合い共に進む人 ○苦難に立ち向かい生き抜く人 【重点目標】 進んで学び深め合う生徒の育成 ～読解力と表現力を高めて～</p>			
研究主題	<p>ともに学び合い、「わかる」を「できる」につなげる生徒の育成 ～知識を学び取り、活用する力を定着させる授業づくりを目指して～</p>			
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域や学校の特性を生かした教育課程の編成・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動を取り入れた教育の推進 ・職場体験学習や福祉体験学習の充実 2 生徒の自主性を育成する活動 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会や部活動を中心としたボランティア活動・活動の活性化を図る各種強調週間の取組 3 地域や保護者との連携を深め、地域に根ざした教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ・北斗ふれあいサークル(地域ぐるみの子育て)活動 ・学校文化の地域発信「飛び出せ北斗中」と地域開放「見に来て北斗中」 			
沿 革	<p>昭和59年 4月 新設開校 昭和61年 2月 校舎増築完成 平成 元年11月 石教研学校課題研究発表会開催 平成 2年 3月 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 平成 5年11月 コンピュータ室設置 平成 6年11月 開校10周年記念式典挙行 8月 野球部全道大会3位 平成 8年 6月 「北斗ふれあいサークル」開始 平成15年11月 開校20周年記念式典挙行 平成19年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成21年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏部門金賞受賞 平成22年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 平成23年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞(東日本大震災のため全国大会中止) 8月 男子バスケットボール部全道大会3位 平成24年 1月 全道リコーダーコンテスト金賞 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 9月 「北斗中防災ナイト」実施 平成25年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞・道新賞 2月 全国スケート大会出場 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞 8月 全道バレーボール大会男子3位 11月 千歳市文化奨励賞音楽部受賞 開校30周年記念千歳市学校課題研究発表会 平成26年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成27年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞・花村賞・5年連続出場賞 平成28年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部金賞 平成29年 3月 全日本リコーダーコンテスト合奏の部銀賞 平成31年 2月 全国スキー(ノルディック)大会出場 令和 元年12月 イングリッシュトライアル開催 令和 2年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞 令和 3年 1月 全道リコーダーコンテスト合奏の部金賞(動画審査) 令和 4年 1月 全国リコーダーコンテスト合奏の部銀賞(動画審査) 令和 5年 1月 全国リコーダーコンテスト合奏の部銀賞</p>			

	<h1 style="margin: 0;">向陽台中学校</h1>		
	<p>所在：千歳市若草5丁目5番地 電話：0123-28-4286 創設：昭和62年4月1日 面積：敷地28,143㎡、建築5,555㎡</p>		
校長名	久保田 豊	教頭名	種村 泉
教職員数	教員 16名 養護 1名 事務 1名 支援員 2名 <small>スクーラー</small> 1名	学級数 生徒数	8学級 186名 (うち特別支援学級2学級3名)
教育目標	<p>「真理を求め 心豊かに たくましく」</p> <p>1 知性を磨き 創る人<<知>> 2 広く絆を 結ぶ人<<情>> 3 理想を求め 励む人<<徳>> 4 気高く強く 生きる人<<体>> 5 すすんで道を 拓く人<<情>></p> <p>【重点目標】『理想を求め励む人』を育む ～自分の理想とは何かを常に自分に問い続け、その実現に向けてお互いに切磋琢磨することができる生徒の育成～ 主体は生徒を念頭に、生徒との信頼関係のもと、生徒に寄り添い、共に考える教育を実践する</p>		
研究主題	<p>「主体的に学びに向かう生徒の育成」 ～他と関わりあいながら、共に考える授業を作り上げる～</p>		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力を育む向中の教育 <ul style="list-style-type: none"> ○ 数学科における習熟度別少人数指導を通じた個に応じた指導 ○ タブレットを効果的に活用した資質・能力の育成を目指す授業づくり ○ 手帳等を活用し、自律的・主体的に学ぶ学習指導の充実 2 豊かな心を育む向中の教育 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域環境整備奉仕活動、校内美化活動 ○ 児童生徒会交流といじめ根絶の取組 ○ 学校花壇の花いっぱい運動と人権の花育成ボランティア ○ 地域交流による多様な人との関わりによる総合的な学習やキャリア教育 3 健康・体力を育む向中の教育 <ul style="list-style-type: none"> ○ 自己の生活習慣や食生活を見直す、教科横断的な学習や食育学習の充実 ○ 基礎体力向上を図るために、授業でサーキットトレーニングの実施 ○ 瞬発力・持久力の向上を図る体育的行事・部活動との連動 4 地域の施設と人材を活用した教育活動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域在住の箒の師範とのTT授業 ○ 地域にあるスキー場を利用して地域在住スキー指導員とのTT授業 ○ 部活動に外部指導者やボランティアを活用した専門的な活動 		
沿革	<p>昭和62年 4月 開校式 7学級273名 平成 2年 2月 増築校舎完成 普通教室4、職員室等 計11室 平成 5年 2月 「石狩管内教育実践奨励表彰」受賞 平成 6年 8月 ラグビー部北海道ラグビーフットボール中学校大会優勝 10月 コンピュータ教室設置 平成 9年11月 石教研・千教振「学校課題研究発表」 開校10周年記念式典挙行 平成12年 3月 「北海道教育実践表彰」受賞 平成13年 6月 全国読書活動実践校 文部科学大臣賞受賞 平成18年10月 開校20周年合唱発表会（市民文化センター大ホール） 平成21年 3月 千歳フィルハーモニー管弦楽団参加 7月 校舎大規模改修工事（外壁、屋上、非常階段、教室体育館床等） 平成22年 1月 校舎大規模改修工事（体育館、職員・生徒玄関戸） 平成25年 7月 全国中体連水泳大会出場 平成26年 1月 全国中体連スケート大会出場 4月 特別支援学級開設 7月 ボイラー改修工事 11月 北海道道徳推進事業道徳教育研究発表会 平成27年 1月 全国中体連スケート大会出場 7月 校舎等大規模改修工事（体育館改修、トイレ、放送、黒板等） 平成28年 1月 全国中体連スケート大会出場 平成29年12月 開校30周年記念式典挙行 平成30年12月 全国中学生人権作文コンテスト 佳作 令和 元年 7月 全国中学生空手道選手権大会出場 令和 5年 2月 全国中体連スケート大会出場</p>		

	<h2 style="margin: 0;">勇 舞 中 学 校</h2>		
	<p style="margin: 0;">所在：千歳市勇舞3丁目4番2号 電話：0123-40-0051 創設：平成24年4月1日 面積：敷地 32,285 m²、建築 7,807 m²</p>		
校長名	上田 充士	教頭名	江連 誠二
教職員数	教員 36名 養護 2名 事務 1名	学級数 生徒数	21学級 765名
教育目標	<p>【開校の理念(校訓)】 きらやかに しなやかに</p> <p>【学校経営の基本方針】 生きる力をはぐくみ、潤いと活力に満ちた学校の創造</p> <p>【学校教育目標】 瞳をきらめかせ 希望に満ちた未来を拓く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりの心と豊かな人間性をはぐくむ (人間力) ○高い志と確かな学力をはぐくむ (知力) ○たくましい身体と実現する能力をはぐくむ (実践力) <p>【重点目標】 「未来社会を創造する生徒の育成」 ～自ら考え・判断し、表現・行動する生徒の育成～</p>		
研究主題	自ら考え、協働的に学びを深める生徒の育成 ～アウトプット活動とICT活用を通して～		
特色ある教育活動	<ol style="list-style-type: none"> 1 学ぶ場面の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 個に応じた補充学習・自学自習活動等の充実(3分前学習、学習会の実施) (2) ICT機器を積極的に活用した授業の充実 (3) 地域と連携した教育活動の推進(職業講話、道徳講話等、図書室開放) 2 自ら考え行動できる生徒の育成 <ul style="list-style-type: none"> (1) ノーチャイム、朝読書、3分前学習の実践 (2) いじめ根絶をめざしたシールを配布「Heart To Heart」(生徒会活動) (3) リサイクル活動(リングプル、ボトルキャップ、インクカートリッジの回収) 3 小中連携・一貫教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> (1) 小中連携・一貫教育調査研究実践モデル事業成果の活用 		
沿革	<p>平成24年 4月 開校式 13学級 426名 10月 開校記念式典 ～ 校歌・学校教育目標 制定</p> <p>平成25年 4月 第2回入学式176名入学 14学級 477名 11月 卓球カデット全国大会男子個人出場</p> <p>平成26年 4月 第3回入学式177名入学 15学級 511名 7月 全国中体連剣道男子団体出場</p> <p>平成27年 4月 第4回入学式232名入学 17学級 591名 8月 全国中体連陸上男子棒高跳び出場 11月 石狩管内学校課題研究発表会</p> <p>平成28年 3月 北海道教育庁石狩教育局教育実践表彰受賞 4月 第5回入学式215名入学 18学級627名</p> <p>平成29年 4月 第6回入学式230名入学 19学級676名 5月 アンカレッジ市ミアーズ中学校交流団歓迎セレモニー 8月 全国中体連陸上男子棒高跳び出場 卓球カデット全国大会女子個人出場</p> <p>平成30年 4月 第7回入学式214名入学 19学級 660名</p> <p>平成31年 3月 講堂耐震工事完了、校内パソコン更新 4月 第8回入学式244名入学、19学級693名</p> <p>令和元年 8月 陸上部、柔道部、バドミントン部、ソフトテニス部、水泳、新体操全道大会出場</p> <p>令和2年 4月 第9回入学式229名入学 20学級 690名</p> <p>令和3年 1月 指導者用PC28台、学習者用PC200台配備 4月 第10回入学式269名入学、21学級 746名 8月 学習者用PC555台配備、電子黒板更新</p> <p>令和4年 4月 第11回入学式255名入学、21学級 750名</p> <p>令和5年 4月 第12回入学式240名入学、21学級 765名 8月 校舎LED化工事完了</p>		

3 幼稚園

(ア) 新制度を選択し、幼稚園のまま「施設型給付」を受ける幼稚園

学校法人/幼稚園	所在地/電話	(利用 定員 就園 見数)	預 かり 保 育	通 園 バ ス	満 3 歳 児 入 園	2 歳 児 受 入	土 曜 日	給 食
千歳栄光学園 千歳幼稚園	千歳市清水町4丁目25番地 TEL 23-2331	77 (70)	○	○	○	○	全休	×
つくし学園 千歳つくし幼稚園	千歳市高台2丁目3番11号 TEL 23-0203	260 (251)	○	○	×	○	全休	○ (週4)

4 認定こども園

(ア) 新制度を選択し、認定こども園になって「施設型給付」を受ける認定こども園

学校法人等/認定こども園	所在地/電話	開園時間	定員	受入年齢
千歳市立 認定こども園ひまわり	千歳市新富2丁目4番60号 TEL 23-2894	7:00~18:00 (延長有)	102	1歳~5歳児
千歳市立 認定こども園つばさ	千歳市花園4丁目3番1号 TEL 24-9200	7:00~18:00 (延長有)	102	生後6か月 ~5歳児
千歳洋翔会 北斗認定こども園	千歳市新富1丁目1番41号 TEL 22-5983	7:00~18:00 (延長有)	135	生後6か月 ~5歳児
千歳洋翔会 アリス認定こども園	千歳市勇舞1丁目1番1号 TEL 24-7000	7:00~18:00 (延長有)	135	生後6か月 ~5歳児
浅利教育学園 認定こども園千歳春日保育園	千歳市春日町2丁目1番9号 TEL 27-5535	7:00~18:00 (延長有)	110	生後6か月 ~5歳児
つくし学園 あずさつくし認定こども園	千歳市あずさ5丁目21番1号 TEL 22-5588	7:00~18:00 (延長有)	110	生後6か月 ~5歳児
三溝学園 認定こども園 北陽幼稚園・第2北陽幼稚園	千歳市北陽8丁目2番8号 TEL 49-3100	7:00~18:00 (延長有)	95	生後6か月 ~5歳児
千歳栄光学園 認定こども園千歳第2幼稚園	千歳市新富1丁目6番21号 TEL 23-3586	7:00~18:00 (延長有)	141	生後6か月 ~5歳児
恵愛会 住吉認定こども園	千歳市豊里3丁目9番5号 TEL 24-9368	7:00~18:00 (延長有)	100	2歳~5歳児

学校法人等/認定こども園	所在地/電話	開園時間	定員	受入年齢
つくし学園 認定こども園つくし保育園	千歳市富丘1丁目5番13号 TEL 40-1106	7:00~18:00 (延長有)	120	生後6か月 ~5歳児
つくし学園 認定こども園向陽台つくし幼稚園	千歳市若草5丁目3番地の1 TEL 28-2123	7:00~18:00 (延長有)	140	生後6か月 ~5歳児
こどもの杜 認定こども園おひさま	千歳市みどり台南2丁目12番6号 TEL 29-3311	7:00~18:00 (延長有)	99	生後6か月 ~5歳児
千歳洋翔会 あんじゅ認定こども園	千歳市春日町5丁目1番10号 TEL 23-8015	7:00~18:00 (延長有)	100	生後6か月 ~5歳児
千歳社会福祉協会 認定こども園向陽台	千歳市若草5丁目2番2号 TEL 28-3300	7:00~18:00 (延長有)	90	生後6か月 ~5歳児
株式会社 育未 あさ陽認定こども園	千歳市流通3丁目1番22号 TEL 29-5530	7:00~18:00 (延長有)	100	生後6か月 ~5歳児
千歳学園 認定こども園メリー幼稚園	千歳市末広5丁目1番6号 TEL 23-3329	7:30~18:30 (保育短時間のみ延長有)	195	満3歳~5歳
千歳学園 認定こども園第2メリー幼稚園	千歳市富丘4丁目13番20号 TEL 23-5735	7:30~18:30 (保育短時間のみ延長有)	255	満3歳~5歳
千歳青葉学園 認定こども園千歳青葉幼稚園	千歳市青葉5丁目13番7号 TEL 23-3998	7:00~18:00 (保育短時間のみ延長有)	120	満3歳~5歳
富士学園 第2わかば幼稚園	千歳市勇舞1丁目4番1号 TEL 23-2200	7:30~18:30 (保育短時間のみ延長有)	145	満3歳~5歳
西越学園 認定こども園くるみ幼稚園	千歳市幸福1丁目847番地 TEL 23-4559	7:00~18:00 (保育短時間のみ延長有)	180	満3歳~5歳

5 高等学校

<p>学 校 名 所 在 地 電 話</p>		<p>北海道千歳高等学校 千歳市北栄1丁目4番1号 0123-23-9145</p>
<p>校 長 名</p>	<p>金山 泰幸</p>	
<p>学 級 数 生 徒 数</p>	<p>(全日制) 普通科 国際教養科 国際流通科 計 24 学級 935 名 (定時制) 普通科 4 学級 40 名</p>	
<p>沿 革</p>	<p>昭和23年10月 道立野幌高等学校千歳分校として設立認可 昭和25年 3月 北海道月寒高等学校千歳分校となる 4月 千歳町立北海道千歳高等学校設置許可 昭和29年 4月 道立移管 昭和33年10月 創立10周年記念式典挙行 昭和43年 9月 創立20周年記念式典挙行 昭和53年 9月 創立30周年記念式典挙行 昭和62年 3月 定時制商業科閉科 平成 6年11月 大韓民国空港高校姉妹提携 平成 7年 7月 大韓民国空港高校と相互交流開始（平成10年及び11年一時中断） 平成11年 4月 国際教養科・国際流通科開設 11月 創立50周年・校舎改築落成記念式典挙行 平成12年 9月 アメリカ合衆国ジェームズズリバー高校と相互交流開始 平成14年 3月 第2体育館完成 平成15年 4月 全日制普通科1間口減 平成20年 6月～平成21年2月 創立60周年記念事業（記念看板設置、航空写真撮影、校歌CD作成） 平成22年 9月 太陽光発電設備工事完了 令和 2年 4月 全日制普通科1間口減</p>	

学 校 名 所 在 地 電 話		北海道千歳北陽高等学校 千歳市北陽2丁目10番53号 0123-24-2818
校 長 名	渡辺 晃史	
学 生 級 数 徒 数	(全日制) 総合学科/普通科 12学級 376名	
沿 革	<p>昭和48年 4月 開校</p> <p>昭和51年 7月 文部省教育課程研究開発校指定</p> <p>昭和57年11月 創立10周年記念式典挙行</p> <p>平成 4年10月 創立20周年記念式典挙行</p> <p>平成 7年 2月 道路交通量調査実践により北海道社会貢献賞受賞</p> <p>平成14年11月 創立30周年記念式典挙行</p> <p>平成15年 4月 2学期制導入</p> <p>平成16年 4月 学校目標改訂</p> <p>平成18年 4月 校訓制定</p> <p>平成19年 4月 文部科学省キャリア教育調査研究推進校指定</p> <p>平成20年12月 千歳科学技術大学との連携・協力に関する協定</p> <p>平成21年 9月 平成23年度よりフィールド制導入決定</p> <p>平成23年 4月 平成23年度入学性よりフィールド制実施</p> <p>平成24年 5月 青少年赤十字(JRC)全校加入</p> <p>平成26年 6月 消費者教育の推進に関する研究指定(文部科学省)</p> <p>平成31年 4月 就職指導の改善に関する研究指定(北海道教育委員会)</p> <p>令和 4年 4月 総合学科に学科転換 アンビシャススクール(道教委)の導入</p>	

学 校 名 所 在 地 電 話		北海道千歳高等支援学校 千歳市真々地 2 丁目 3 番 1 号 0123-23-6681
校 長 名	久富 正規	
学 生 数 級 数 徒 数	(全日制) 生産技術科 各学年 1 学級 環境・流通サポート科 各学年 2 学級 計 9 学級 61 名	
沿 革	<p>平成 2 5 年 4 月 開校 第 1 回入学式(環境・流通サポート科 18 名、生活技術科 9 名 計 27 名入学) 6 月 開校式 1 1 月 第 1 回学校祭</p> <p>平成 2 6 年 3 月 修了式 4 月 第 2 回入学式(環境・流通サポート科 16 名、生活技術科 9 名 計 25 名入学) 1 1 月 第 2 回学校祭</p> <p>平成 2 7 年 3 月 修了式 4 月 第 3 回入学式(環境・流通サポート科 16 名、生活技術科 8 名 計 24 名入学) 1 1 月 第 3 回学校祭</p> <p>平成 2 8 年 3 月 第 1 回卒業証書授与式 (3 月 5 日) (環境・流通サポート科 17 名、生活技術科 9 名 計 26 名卒業) 修了式 (3 月 2 4 日) 4 月 第 4 回入学式(環境・流通サポート科 17 名、生活技術科 8 名 計 25 名入学)</p> <p>平成 2 9 年 3 月 第 2 回卒業証書授与式 (3 月 4 日) (環境・流通サポート科 14 名、生活技術科 9 名 計 23 名卒業) 修了式 (3 月 2 4 日) 4 月 第 5 回入学式(生活技術科 9 名、環境流通サポート科 14 名 計 25 名入学) ※平成 29 年度公立特別支援学校配置計画を受け、生活技術科を生産技術科 へ学科を再編)</p> <p>平成 3 0 年 3 月 第 3 回卒業証書授与式 (3 月 3 日) (環境・流通サポート科 12 名、生活技術科 8 名 計 20 名卒業) 修了式 (3 月 2 3 日) 4 月 第 6 回入学式(生産技術科 8 名、環境・流通サポート科 16 名 計 24 名入学)</p> <p>平成 3 1 年 3 月 第 4 回卒業証書授与式 (3 月 3 日) (環境・流通サポート科 16 名、生活技術科 8 名 計 24 名卒業) 修了式 (3 月 2 2 日) 4 月 第 7 回入学式(生産技術科 8 名、環境・流通サポート科 16 名 計 20 名入学)</p> <p>令和 2 年 3 月 第 5 回卒業証書授与式 (3 月 8 日) (環境・流通サポート科 16 名、生活技術科 8 名 計 24 名卒業) 修了式 (3 月 2 4 日) 4 月 第 8 回入学式(生産技術科 8 名、環境・流通サポート科 16 名 計 24 名入学)</p> <p>令和 3 年 3 月 第 6 回卒業証書授与式 (生産技術科 8 名、環境・流通サポート科 15 名 計 23 名卒業) 4 月 第 9 回入学式(生産技術科 8 名、環境・流通サポート科 16 名 計 24 名入学)</p> <p>令和 4 年 3 月 第 7 回卒業証書授与式 令和 4 年 4 月 第 1 0 回入学式 1 2 月 開校 1 0 周年記念式典・記念講演会举行</p> <p>令和 5 年 3 月 第 8 回卒業証書授与式 (2 2 名卒業) 4 月 第 1 1 回入学式 (2 1 名入学)</p>	

学 校 名 所 在 地 電 話		日本航空高等学校 北海道 千歳市泉 1007 番地の 95 0123-28-1155
校 長 名	山口 文櫻	
学 生 級 数 級 徒 数	(全日制) 航空科 6 学級 240 名 (予定)	
沿 革	令和 5 年 6 月 全日制高校として認可、生徒募集開始 令和 6 年 4 月 開校 (予定)	

6 大学・専修学校

学校名	所在・電話	学科・定員等
 <p>公立千歳科学技術大学</p>	<p>〒066-8655 千歳市美々758番地65 (電話 0123-27-6001)</p>	<p>■理工学部 240名 応用化学生物学科 電子光工学科 情報システム工学科</p> <p>■大学院 理工学研究科 理工学専攻 博士前期課程 20名 博士後期課程 3名</p>
 <p>北海道千歳リハビリテーション大学</p>	<p>〒066-0055 千歳市里美2丁目10番 (電話 0123-28-5331)</p>	<p>■健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 80名 作業療法学専攻 30名</p>
 <p>日本航空大学校 北海道 新千歳空港キャンパス</p>	<p>〒066-8622 千歳市泉沢1007番地の95 (電話 0123-28-1155)</p>	<p>■航空工学科 4年生 40名(男女) ■航空整備科 3年生106名(男女) 一等航空整備士養成コース 二等航空整備士コース 二等航空運航整備士コース 技術コース ■空港技術科 2年生 80名(男女) グランドハンドリング ■国際航空ビジネス科 80名(男女) エアラインコース 2年生 エアライン・留学コース 3年生</p>

〔5〕 就学の助成

1 就学援助

経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費や給食費等の就学に必要な経費の一部援助を行っています。

(ア) 学用品費等援助

区分	年度	令和3年度実績		令和4年度実績		備考
		人員(人)	人員(人)	人員(人)	金額(円)	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	706	10,381,440	691	9,870,255	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費	239	2,881,350	218	2,633,340	
	新入学児童生徒学用品費等	103	5,532,180	91	4,919,460	
	修学旅行費	133	2,489,722	119	2,250,418	要保護を含む
	校外活動費	125	429,125	112	355,532	宿泊を伴うもの
	学校給食費	702	33,388,153	688	31,328,675	
	クラブ活動費	2	460	4	1,020	
	生徒会費	0	0	53	13,257	
	P T A 会費	468	1,011,060	485	1,065,640	
	卒業アルバム代	131	1,130,920	124	1,093,700	
計	-	57,244,410	-	53,531,297		
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費	429	11,242,672	398	10,171,564	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費	144	3,592,760	119	2,854,670	
	新入学児童生徒学用品費	126	7,560,000	128	8,043,000	
	修学旅行費	136	5,770,281	123	7,569,205	要保護を含む
	校外活動費	117	726,570	128	774,738	宿泊を伴うもの
	学校給食費	426	23,167,664	393	21,139,588	
	クラブ活動費	420	2,541,260	373	2,656,135	
	生徒会費	428	538,604	380	507,653	
	P T A 会費	406	702,867	364	646,019	
	卒業アルバム代	149	1,221,550	109	1,095,790	
計	-	57,064,228	-	55,458,362		
合計	-	114,308,638	-	108,989,659		

(イ) 医療費援助

区分		年度	令和3年度実績		令和4年度実績		備考
			人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	要保護児童		6	64,350	6	48,080	
	準要保護児童		537	1,362,460	548	1,386,840	
	計		543	1,426,810	554	1,434,920	
中学校	要保護生徒		5	51,300	11	59,090	
	準要保護生徒		290	863,940	225	731,040	
	計		295	915,240	236	790,130	
合計			838	2,342,050	790	2,225,050	

2 特別支援教育助成

(ア) 特別支援教育就学奨励費・通学費助成

小学校及び中学校の特別支援学級に通学する児童生徒の保護者に対して、経済的な負担の軽減と特別支援教育の振興を図るために就学に必要な経費の一部援助を行っています。

区分		年度	令和3年度実績		令和4年度実績		備考
			人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	学用品費・通学用品費・校外活動費		78	389,843	100	494,547	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費		22	96,691	19	86,468	
	新入学児童生徒学用品費等		10	200,210	17	285,060	
	修学旅行費		8	81,572	13	114,200	
	校外活動費		9	16,605	13	23,985	宿泊を伴うもの
	学校給食費		78	1,763,581	100	2,241,291	
	通学費		95	310,121	96	366,282	
	計		-	2,858,623	-	3,611,833	
中学校	学用品費・通学用品費・校外活動費		51	352,912	45	342,958	校外活動費は宿泊を伴わないもの
	体育実技用具費		10	110,488	4	24,690	
	新入学児童生徒学用品費等		14	332,336	9	143,761	
	修学旅行費		17	347,802	14	404,040	
	校外活動費		7	21,735	10	31,050	宿泊を伴うもの
	学校給食費		51	1,357,037	42	1,161,262	
	職場実習・交流学习交通費		4	1,280	3	3,300	
	通学費		7	45,327	8	48,019	
計		-	2,568,917	-	2,159,080		
合計			-	5,427,540	-	5,770,913	

(イ) 特別支援学校等就学援助費

特別支援学級等に就学する児童生徒の完全就学を図るため、その保護者に対して年間一定額を支給しています。

区分	年度	令和3年度実績		令和4年度実績		備考
		人員(人)	金額(円)	人員(人)	金額(円)	
小学校	特別支援学校	14	840,000	13	725,000	
	特別支援学級等	242	7,722,000	318	10,194,000	
	計	256	8,562,000	331	10,919,000	
中学校	特別支援学校	11	666,000	10	720,000	
	特別支援学級	74	3,468,000	76	3,596,000	
	計	85	4,134,000	86	4,316,000	
合計		341	12,696,000	417	15,235,000	

3 奨学金制度

経済的理由により、修学が困難な学生、生徒に対し、奨学基金をもとに、奨学金を支給しています。

(ア) 資格要件

- (1) 千歳市内に住所を有すること
- (2) 高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に在学中、又は進学を希望するもの
- (3) 学資に乏しいこと
- (4) 学業優良及び素行善良であること
- (5) 健康体で修学可能であること

(イ) 奨学金額

区分	対象	金額
高校生等	高校生	月額7,000円以内
	高等専門学校生(1年生から3年生)	
	専修学校生(修業年限が3年以上の高等課程)	
大学生等	大学生(短期大学含む)	月額10,000円以内
	高等専門学校生(4年生、5年生及び専攻科)	
	専修学校生(修業年限が2年以上の専門課程)	

(ウ) 奨学基金現在高

150,652,337円(令和5年3月31日現在)

(エ) 支給実績

区分	年度	令和3年度			令和4年度		
		応募者(人)	受給者(人)	支給金額(円)	応募者(人)	受給者(人)	支給金額(円)
高校生		87	87	7,238,000	67	67	5,628,000
大学生		80	80	9,510,000	113	113	13,180,000
合計		167	167	16,748,000	180	180	18,808,000

4 私立幼稚園助成

(ア) 燃料費・光熱水費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担を軽減するため、燃料費・光熱水費として、園児1人当たり年額5,500円を補助しています。

令和3年度		令和4年度	
対象園児数	補助金交付額	対象園児数	補助金交付額
170人	935,000円	—	—

※令和4年度より新制度幼稚園に移行したため該当なし

(イ) 建設費等利子補給補助金

幼稚園を新設、増設、改築する場合、借入金に対する返済利息の一部を利子補給金として補助しています。補助金額は、借入元金の当該年度当初残額（ただし、建設分は300万円、防音分は1,000万円を限度とする。）の3%（借入金利が3%未満の場合はその率）、10年間を限度としています。

区分	年度	令和3年度		令和4年度	
		対象幼稚園	補助金交付金額	対象幼稚園	補助金交付金額
新築		—	—	—	—
増築		—	—	—	—
改築		—	—	—	—

(ウ) 障がい児教育補助金

心身障がい児を就園させる幼稚園に対し、障がい児1人当たり年額5万円を補助しています。（ただし、1園当たり15万円を限度とする。）

令和3年度			令和4年度		
対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額	対象幼稚園	対象園児数	補助金交付額
5園 ^{※1}	9人	450,000円	5園 ^{※2}	11人	550,000円

※1 幼稚園2園 認定こども園3園

※2 幼稚園2園 認定こども園3園

(エ) 私立幼稚園連合研修費補助金

私立幼稚園連合会が実施する教員研修に対して、参加教員1人当たり5,500円を限度として補助しています。

令和3年度		令和4年度	
参加教員数	補助金交付額	参加教員数	補助金交付額
— ^{※3}	93,280円	— ^{※4}	—

※3 令和3年度はオンライン研修のため参加教員数は不明

※4 令和4年度は費用の発生がなく補助申請がなかったため参加教員数は不明

(オ) 就園奨励費補助金

幼稚園に通園する幼児の保護者負担の軽減と公・私立間の保護者負担の較差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った幼稚園に対し、補助金を交付しています。

区分	年度	令和3年度		令和4年度	
		対象幼児数	補助金交付額	対象幼児数	補助金交付額
幼稚園児		—	—	—	—
2歳児受入		185人	10,811,886円	186人	9,863,450円

〔6〕 学校保健

1 児童生徒の体位

(令和4年度)

			身長 cm		体重 kg	
			男	女	男	女
小学生	6歳	千歳市	116.4	116.2	21.7	21.3
		全道	117.3	116.2	22.3	21.6
		全国	117.0	116.0	21.8	21.3
	7歳	千歳市	123.1	122.4	25.2	24.2
		全道	123.2	121.9	25.2	24.0
		全国	122.9	121.9	24.6	24.0
	8歳	千歳市	128.5	127.6	28.5	27.5
		全道	128.8	128.7	28.8	28.2
		全国	128.5	128.1	28.0	27.3
	9歳	千歳市	133.7	134.3	31.8	31.0
		全道	133.7	134.8	32.4	31.4
		全国	133.9	134.5	31.5	31.1
	10歳	千歳市	139.6	141.3	36.6	36.0
		全道	140.4	141.9	36.8	36.6
		全国	139.7	141.4	35.7	35.5
	11歳	千歳市	145.8	147.4	41.3	40.8
		全道	146.5	148.0	41.7	41.2
		全国	146.1	147.9	40.0	40.5
中学生	12歳	千歳市	154.3	152.7	47.3	44.9
		全道	154.8	152.9	47.9	46.0
		全国	153.9	152.2	45.7	44.6
	13歳	千歳市	161.1	156.0	51.1	47.8
		全道	161.5	155.3	51.9	48.8
		全国	160.8	154.9	50.5	47.7
	14歳	千歳市	166.2	156.4	55.6	49.4
		全道	166.3	156.7	56.5	50.9
		全国	165.8	156.5	55.1	50.0

2 災害共済給付

児童生徒が、学校管理下において怪我をした場合、独立行政法人日本スポーツ振興センターから災害共済給付金が支払われます。

(単位：件数)

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
令和3年度	小学校	144	92	94	108	438
	中学校	168	104	165	135	572
	計	312	196	259	243	1,010
令和4年度	小学校	94	101	103	116	414
	中学校	133	144	155	131	563
	計	227	245	258	247	977

〔7〕 学校給食

1 施設の概要

千歳市学校給食センター

所在地	千歳市流通3丁目1番地の11
電話	0123-23-3519 FAX 23-3599
開設	平成5年8月
建築構造	鉄骨造2階建
敷地面積	9,024.42 m ²
建物面積	2,972.85 m ²



2 学校給食の状況

学校給食は「学校給食法」等に基づき、昭和39年に共同調理方式を採用し、現在、週5回（米飯3回、パン・麺類各1回）の給食を提供しています。

現代の食生活における問題点として、偏った食事内容からくるカルシウムや微量栄養素の不足、脂肪・糖分・塩分等の過剰摂取による健康問題などがあることから、学校給食では、家庭にける食事と併せて、成長期にある児童生徒の1日に必要な栄養量を摂取できるよう、文部科学省が定めている「学校給食実施基準」に基づき、献立を作成しています。

また、学校給食における「地産地消」の取組として、9月から11月の使用予定野菜のうち、千歳産で供給可能な場合は千歳産を使用し、米飯は平成13年1月から千歳・恵庭産の白米を使用しており、角食パンは、平成28年度から千歳産の小麦を使用しています。

3 運営方法

学校給食センターの適正な運営を図るため、「千歳市学校給食センター運営審議会」を設置し、運営全般にわたる審議を行っています。

なお、調理、配膳、施設維持管理業務については、業務実施に係る民間のノウハウを活用し、より安定した給食を提供するため、平成21年4月1日から委託を行っています。

千歳市学校給食センター運営審議会委員

所属団体	氏名
みどり台小学校校長	渡辺 弘行
日の出小学校校長	吉田かおり
保護者	喜多 康裕
保護者	堀河 佳菜
千歳医師会・学校医	石坂 明人
民生委員児童委員連絡協議会	角田八寿子
千歳消費者協会	秦 由基
保健福祉部健康づくり課長	石澤 敦

(令和5年4月1日現在)

4 給食校及び配食数

学校数			配食数				米飯回数
総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	教職員	週3回
27	18	9	8,527	5,265	2,668	594	

(令和5年5月1日現在)

5 給食費

	主食 (円)	副食 (円)	牛乳 (円)	合計 1食単価	給食費 (円)		年間 給食 回数
					月額4月~2月	年間	
					3月		
小学校 (低)	90	103	54	247	3,810	45,695	185回 の場合
					3,785		
小学校 (高)	96	116	54	266	4,110	49,210	
					4,000		
中学校	100	150	54	304	4,690	56,240	
					4,650		

(平成26年4月1日改定)

6 栄養基準

			エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン			
							A (μgRE)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)
小学校	低学年	学校給食摂取基準	530	※	290	2.0	160	0.30	0.40	20
		千歳市の献立	598	22.5	306	2.2	187	0.30	0.42	16
	高学年	学校給食摂取基準	780	※	360	3.5	240	0.50	0.50	30
		千歳市の献立	676	25.7	326	2.6	223	0.36	0.45	20
中学校	学校給食摂取基準		830	※	450	4.5	300	0.50	0.60	35
	千歳市の献立		746	28.1	340	3.3	239	0.39	0.46	22

※たんぱく質の学校給食摂取基準は学校給食による摂取エネルギー全体の13%~20%

※たんぱく質 1g = エネルギー4kcal

〔8〕 生徒指導・青少年指導

1 教育相談

千歳市では、相談電話・来訪又は訪問などにより、小中学校と連携して児童生徒の諸問題に関する相談を行っています。

(ア) 青少年課における相談業務対応種別件数

(単位：件)

相談種別	令和3年度	令和4年度	増減
電話で対応した相談	65	59	-6
来訪で対応した相談	281	275	-6
訪問で対応した相談	50	30	-20
その他の方法で対応した相談	0	0	±0
合計	396	364	-32

※相談内容は、不登校(282件)、学校生活(13件)、家庭生活(39件)、いじめ(6件)、問題行動(3件)、その他(21件)となっている。

※保護者からの相談が75.0%を占めている。

※その他の方法で対応した相談については、学校や関係機関との調整をした相談件数としている。

(イ) スクールカウンセラー配置状況

児童生徒の問題行動の未然防止や早期発見、早期対応を図るため、専門的な知識に基づく指導・助言ができる、スクールカウンセラーによる教育相談を実施しています。

- ① 北海道スクールカウンセラー配置校
千歳中、北進小中、青葉中、駒里小中、富丘中、北斗中、向陽台中、勇舞中、日の出小、祝梅小、北陽小、末広小、支笏湖小、東小、東千歳中、千歳第二小、信濃小、桜木小、向陽台小、泉沢小、みどり台小
- ② 千歳市スクールカウンセラー配置校
千歳第二小、信濃小、高台小、桜木小、泉沢小、緑小、千歳小、北栄小、向陽台小、向陽台中、日の出小、祝梅小、末広小、北陽小、東小、東千歳中、みどり台小
- ③ スクールカウンセラーによる教育相談は、教育委員会青少年課相談室において月2回実施

(ウ) 心の相談員配置状況

相談体制の充実を図るため、小学校14校に心の教室相談員を配置し、児童の悩みやストレスを和らげ問題行動の未然防止を図ります。

- ① 心の教室相談員配置校
千歳小、北栄小、末広小、緑小、千歳第二小、日の出小、信濃小、高台小、祝梅小、桜木小、向陽台小、北陽小、泉沢小、みどり台小

2 不登校児童生徒

不登校児童生徒については、学校と連携するとともに適応指導教室（「おあしす」）への通級を働きかけています。

(ア) 不登校児童生徒数（文部科学省の児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸問題に関する調査結果）

（単位：人）

	令和2年度	令和3年度	増減
小学校	87	46	-41
中学校	151	187	+36
計	238	233	-5

※上記数値は、文部科学省の不登校の定義で連続又は、断続して年間30日以上休んだ児童生徒数（病気・けがは除く）を示している。

(イ) 適応指導教室「おあしす」

(1) 設置の目的

不登校児童生徒の増加に対応するため、平成9年6月に千歳市青少年会館内（東雲町1丁目10番地）に学校適応指導教室『おあしす』を開設しています。

ここでは、児童生徒の個々の状態に応じた教育相談を行うとともに、集団的な生活習慣や学習、集団活動等において指導・援助を行い、自立や学校生活への復帰を目指しています。

(2) 指導の方針

- ア 指導員と児童生徒の信頼関係を作る中で、生活面での支援を行う。
- イ 体験的活動や集団活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活における適応能力の向上を図る。
- ウ 家庭や在籍校、各関係機関（子ども家庭課、児童相談所等）との連携を図りながら、学校復帰への意欲が高まるよう指導・援助に努める。

(3) 入級対象児童生徒

市内の小中学校に在籍し、主に心理的要因や集団不適応によって、不登校の状態にある児童生徒。

(4) 通級児童生徒数（見学通級は含まず）

（単位：人）

	令和3年度	令和4年度
小学校	7	7
中学校	29	30
計	36	37

(5) 開設時間

- ・月～火・木 9：30～14：30
- ・水 9：30～13：30
- ・金 9：30～12：00

(6) 活動内容

- ア 個別活動：児童生徒が立てた計画に従って活動し、必要に応じてスタッフの援助を受ける。
- イ 学習時間：個々にあった学習内容で、毎週月～木曜日の10時から学習の習慣づけや学ぶことの楽しさを実感させ、学習に積極的に取り組む力を育てる。
- ウ マイタイム：「目的をもって活動する」ことを目指し、毎週金曜日の10時から11時の1時間、事前に立てた目標を実行する。
- エ 集団活動：児童生徒が状態に応じて、グループで多様な行動をすることによって、心を開放するとともに対人関係を広げ、集団への適応を促進する。

3 いじめに関する取組

千歳市では、いじめの問題に関する指導の方針として「いじめは人間として絶対に許されない」という確固たる認識と毅然とした態度で取り組み、学校、家庭、関係機関及び地域が一体となって、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めることとしています。

平成25年9月に施行された「いじめ防止対策推進法」、また、これに伴い国が平成25年10月に策定した「いじめの防止等のための基本的な方針」の内容を踏まえ、平成26年3月に「千歳市いじめ防止基本方針」を策定し、その後、所要の改定を行っています。

さらに、各学校においては、平成26年6月末に「学校いじめ防止基本方針」を策定したところであり、この基本方針に基づき、かけがえのない存在である児童生徒一人ひとりが、元気で明るく学び、健やかに成長していくことができるよう、いじめの防止等の対策に取り組んでいきます。

また、子どもたちや、地域住民、教育関係者等が一体となって取組む行事として、平成9年度から、いじめの防止に向けた共通理解を図ることを目的に、なかよしさわやか DAY いじめシンポジウムを開催しています。

※令和4年度 なかよしさわやか DAY いじめシンポジウム開催状況

日時： 令和4年11月26日（土）～令和5年1月25日（水）

開催方法： 動画配信・DVD視聴

参加者： 327名（動画視聴回数）、453名（DVD視聴人数）

(ア) いじめに関する調査結果（文部科学省の児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果）

（単位：件）

	令和2年度	令和3年度	増減
いじめ	391	329	-62

※「いじめ」とは、「児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。」（いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）です。

4 各種事故

一般事故や交通事故及び非行事故については、小中学校からその都度報告を受け、学校での指導内容を確認し、防止に向けた取組を進めています。

(ア) 一般事故・交通事故の状況

（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	増減
交通事故	8	12	+4
一般事故	5	13	+8

(イ) 非行事故の状況

（単位：件）

	令和3年度	令和4年度	増減
小学校	7	6	-1
中学校	13	5	-8
計	20	11	-9

5 児童生徒の安全確保

(ア) 不審者・不審電話件数

(単位：件)

	令和3年度	令和4年度	増減
不審者	30	22	-8
不審電話	1	0	-1

(イ) 千歳っ子見守り隊

各小学校に「千歳っ子見守り隊」を設置し、町内会やPTAの見守り隊ボランティアが児童生徒の見守り活動を行っています。

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	増減
見守り隊員数	584	533	-51

(ウ) 子ども110番の家

子ども達が不審者、事件等に遭遇したときに、助けを求める場所として、各小学校が校区内の商店や事業所などに協力を呼び掛け、「子ども110番の家」を設置しています。

(単位：件)

	令和3年度	令和4年度	増減
登録件数	1,124	1,130	+6

6 青少年指導人数

青少年指導センター専門指導員による青少年の指導人数

(単位：人)

	令和3年度	令和4年度	増減
小学生	57	88	+31
中学校	4	24	+20
高校生	4	17	+13
その他学生	0	0	0
有職者	0	0	0
無職者	0	0	0
合計	65	129	+64

※指導の内訳は、校外生活指導基準に基づく帰宅時刻を超えた児童生徒に対する帰宅指導が最も多い

V 社会教育

〔1〕 生涯学習・社会教育の主な施策

市民が活躍する生涯学習
によるまちづくりの推進

- ・ 多様な主体の連携による学び合いと交流の場の充実
- ・ 学習情報と市民活動交流センター機能の充実
- ・ 学びやまちづくり活動を支える人材の育成や活用の推進
- ・ 地域と学校の連携による地域の教育力を高める活動の充実
- ・ 学んだ成果を地域で生かす活動の充実

各世代の生活課題や地域
課題に対応した社会教育
の充実

- ・ 乳幼児期からの家庭教育を支える学びの充実
- ・ 青少年の自立と成長を育む学びの充実
- ・ 青少年非行防止への取組の推進
- ・ 成人期や高齢期を誰もが豊かに過ごす学びの充実
- ・ ふるさと千歳の理解と地域課題に対応した学びの充実
- ・ 社会教育施設機能と読書環境の充実

まちの魅力を高め、心を
豊かにする文化芸術の振
興と文化財の保護・継承

- ・ 文化芸術に親しむ環境の整備
- ・ 地域に根差した文化芸術活動への支援充実
- ・ 文化財の保存と調査・研究及び継承の支援
- ・ 文化財の活用の推進
- ・ 世界文化遺産登録と資産保護の取組

各誰もがスポーツに親し
める生涯スポーツの推進

- ・ スポーツ活動の啓発と参加促進
- ・ スポーツに親しめる機会の充実
- ・ スポーツ活動を支える指導者の充実と団体の育成
- ・ スポーツ施設の機能充実と利便性向上

〔2〕 社会教育委員・公民館運営審議会委員

1 社会教育委員

氏 名	所 属 団 体
昇 洋 一	千歳市校長会
金 山 泰 幸	北海道千歳高等学校
四 方 栄 子	千歳市子ども会育成連合会
平 稔 子	千歳市文化団体連絡協議会
東 方 弘 美	おはなしの会ピノキオ
佐 藤 則 昭	キウス周堤墓群を守り活かす会
鎌 倉 英 昭	千歳市町内会連合会
角 谷 日花里	チトセコ
伊 藤 好 晃	公民館教室
山 田 喜 一	(公財) 千歳市体育協会
池 田 治 幸	千歳市スポーツ推進委員協議会
日 原 克 久	千歳市スポーツ少年団
丹 波 泰 哉	千歳市 PTA 連合会
高 田 知 哉	公立千歳科学技術大学
蓬 田 恒 春	千歳市退職校長会

(令和5年7月1日現在)

2 公民館運営審議会委員

氏 名	所 属 団 体
昇 洋 一	千歳市校長会
角 谷 日花里	チトセコ
平 あ 稔 子	千歳市文化団体連絡協議会
山 田 喜 一	(公財) 千歳市体育協会
四 方 栄 子	千歳市子ども会育成連合会
伊 林 あ 敏	千歳市子ども会育成連合会
伊 藤 好 晃	公民館教室
丹 波 泰 哉	千歳市 PTA 連合会
高 田 知 哉	公立千歳科学技術大学
蓬 田 恒 春	千歳市退職校長会

(令和5年7月1日現在)

〔3〕 社会教育事業

令和4年度

事業名	開催月日	会場	対象	内容
千歳学 出前講座	通年 261件	公共施設等	市民等 5名以上の団体 8,747名	市民と市民の学び合いによる学習機会の充実や交流の活性化を図るとともに、市民と行政が情報の共有をもとに、協働して生涯学習によるまちづくりを推進する。
地域学校協働 活動事業	4月～3月	各支援対象校等	市民 支援対象校 27校	地域と学校が連携して地域住民の知識や経験、技能や学んだ成果を生かし、子どもたちの豊かな学びや健やかな成長を支える体験活動の機会を提供する。また、ボランティアの活動により地域の教育力向上と活性化に寄与する。
放課後子ども 教室	①7月15日 ②9月30日	千歳小学校	千歳小学校 ①31名 ②30名	放課後の子どもたちの安心・安全な活動場所を確保し、地域住民の支援による学習・スポーツ・文化活動の機会及び学年や世代を超えた交流の機会を提供する。
生涯学習 フォーラム	10月	北ガス文化ホール 千歳市民文化センター	市民 市民活動団体	市民団体の活動を作品や活動内容の展示により活動紹介を行い、市内における活動のきっかけづくりや活発化等、生涯学習の推進を図る。令和4年度にて事業完了。
市民教養 セミナー	6月～2月 年4回	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)等	市民 252名	社会環境の変化に対応し、市民の学習ニーズに応え、自主的に取り組む機会を提供する。
国際理解事業	8月	サケのふるさと千歳水族館、そなえーる、松浦農園、北海道箱根牧場	市民 25名 (日本の方15名、外国籍の方10名)	市民の国際理解と国際感覚の涵養を図り、国際性豊かな人材を育成するとともに、世界の様々な国の自然や文化等を学ぶことで、「ユネスコの精神」の普及を図る。(千歳ユネスコ協会共催事業)
はたちのつどい	1月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	20歳を迎える 青年 685名	人生の節目として20歳を迎える青年を祝うとともに、青年に社会人としての自覚と社会との関わりや果たすべき役割の認識を高めてもらう契機とする。
千歳高星大学	4月～12月 (2年制)	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)ほか	60歳以上の 市民34名	豊かで生きがいのある人生を創造できるよう組織的な学習機会を提供する。

事業名	開催月日	会場	対象	内容
千歳高星大学 大学院	4月～12月 (2年制)	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	千歳高星大学 を卒業した 市民 29名	高星大学で学んだことを基礎に、郷土 千歳への理解を深め、充実した人生を 創造するための学習機会を提供する。
若返り学園	5月～3月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	60歳以上の市 民 321名	明るく健やかに豊かで生きがいのある 生涯を送るために必要な学習機会を提 供する。
バンビはぐく みプログラム	5月～7月 9月～11月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター) ほか	主に乳幼児の 子をもつ親 44名	子育て中の親を対象に、子供の発達段 階に応じた育児知識の習得と情報交換 の場を提供するとともに、地域で子育 てを支援する人材を育成・活用する。
家庭教育 セミナー	①7月10日 ②10月7日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	市民 ①42名 ②293名	子育て中の親に限らず、多くの市民に、 家庭教育について考える機会を提供 し、地域における家庭や地域の教育力 向上を図る
親子ふれあい 講座	①9月4日 ②12月3日	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	親と子 ①24組 ②16組	父親など子どもとの関わりが少なく なりがちな保護者の家庭教育への参加 促進を図る。
社会教育 関係団体	通年		市民 348登録団体	市民の自主的な学習活動や社会参加活 動を支援するために活動団体を登録し 情報提供する。
フレンドリー コンサート 千歳合唱祭	7月	北ガス文化ホール (千歳市民文化センター)	市内合唱団体	合唱を通じて技術の向上と文化活動の 振興を図るとともに、市民へ芸術鑑賞 の機会を提供する。
千歳市民 文化表彰	11月4日 (贈呈式)	ホテル グランテラス千歳 (贈呈式)	1個人	顕著な功績があった個人・団体等を表 彰し、市の文化の向上・振興を図る。
子ども体験教室	4月～3月 11回	市内	小学生 151名	子どもたちの自然体験や地域文化の理 解、科学探求活動の充実に努めるとと もに、自ら考える力を身に付け生きる 力を育む機会を提供する。
千歳市・指宿市 青少年相互交流事業	①8月9日 ②10月8日 ③1月21日	オンライン開催	小学校6年生 11名	未来ある子どもたちの交流を通して姉 妹都市の友好関係の発展を図る。新型 コロナウイルス感染拡大防止のためオ ンライン開催とした。
イングリッシュキャンプ	①7月 ②10月	①支笏湖小学校 ②防災学習交 流施設	小学3・4年 80名	子どもたちの体験活動等の機会の充実 を図るとともに、英語への興味関心 を高め国際理解と国際感覚を身に付け る機会を提供する。

〔4〕 社会教育施設

1 千歳市立図書館

(ア) 施設の概要

所在地	千歳市真町 2196 番地の 1 電話 0123-26-2131	
開設	昭和 63 年 2 月 1 日	
建築構造	鉄筋コンクリート及び鉄筋鉄骨コンクリート造併用構造 地上 2 階地下 1 階	
敷地面積	13,062.08 m ²	
建築面積	2,233.87 m ²	
延床面積	1 階	2,130.25 m ²
	2 階	380.14 m ²
	地階	305.19 m ²
	合計	2,815.58 m ²



(イ) 沿革

昭和 25 年 6 月に札幌 C I E (札幌民間情報教育局) 図書館千歳分館として図書 2,100 冊の寄贈を受け発足しました。29 年、千歳公民館の開設に伴い、公民館の一室に図書室として移り、37 年には千歳市民会館内に移転、名称も公民館図書室となりました。その後、46 年には、千歳公民館が新築開館したことに併せて、市民図書室と改称されました。

49 年に市立図書館建設運動準備会が開催され、これを機に市内各団体や個人から数多くの図書が寄贈され、図書室はめざましく充実し、その結果、51 年 4 月に待望の市立図書館が誕生しました。53 年から図書館分室を 3 か所設置 (平成 6 年閉室) しましたが、その後、図書室の利用者数、蔵書の増加によって狭隘化したため、現在の場所に新築することが決定しました。60 年度に基本設計・実施設計を行い、61 年 7 月に工事着工、62 年 11 月に竣工し、63 年 2 月に開館、平成 6 年 4 月には待望の移動図書館「ブックくん」が運行を開始しました。21 年 4 月から、2 代目「ブックくん」が運行し、現在、市内 42 か所のステーションを巡回しています。

インターネットの普及により、13 年 1 月に図書館ホームページを開設しました。15 年 4 月から千歳駅市民サービスセンター (同センターの閉鎖に伴い、現在は千歳駅観光案内所)、17 年 2 月からは 3 支所において図書の取次ぎを開始するとともに、同年 4 月からはインターネットによる図書の予約受付を開始しました。

19 年 4 月から、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に指定管理者制度を導入しています。現在の指定管理者は、株式会社山三ふじやです。20 年 5 月に千歳市出身の作家「畔柳二美」の資料常設展示コーナーを、22 年 7 月に郷土史家「長見義三」の資料常設展示コーナーを開設しました。

25 年 5 月からは、市内の各小中学校に配置されている学校司書及び学校図書館の管理・運営を支援しています。

(ウ) 運営方針

- ・市民の声を大切にし、市民と協働して創る図書館
- ・市民の求める資料、情報に応えることができる図書館
- ・市民生活や地域の要求課題に役立つ図書館
- ・温かさやすらぎが感じられる図書館
- ・子どもへのサービスを重視する図書館
- ・高齢者、障がい者へのサービスを重視する図書館
- ・市内のどこに住んでも、だれにでも利用しやすい図書館

(エ) 事業実績 (令和4年度)

事業名	開催月日	入場者 (参加者) 数
上映会	4月～3月 (27回)	163人
おはなし会 (4団体)	4月～3月 (78回)	1,039人
市民読書グループ支援 (3団体)	4月～3月 (33回)	139人
こどもの読書週間記念事業	4月～5月	43人
童話創作講座	6月～10月 (4回)	27人
子育て総合支援センター読み聞かせ	4月～2月 (4回)	140人
読書スタンプラリー	7月～9月 (3ヶ月間)	158人
手作り絵本教室	8月 (5回)	45名
こども読書推進事業	7月～8月、12月～1月	203人
千歳市民文芸合評会・講話会	9月～11月 (2回)	40人
第16回図書館まつり (8事業実施)	7月10日	281名
秋の読書週間事業	10月～11月	17人
赤ちゃんタイム	4月～3月 (13回)	198人

(オ) 利用案内

- (1) AVコーナーは、LDやDVD・CDを主体とし、音と画像、映像による資料を個人で視聴できます。収容人員は19ブース・25名で、ソフト数は全部で12,272タイトルを所蔵しています。
- (2) AV室は、図書館の行う比較的多人数の主催行事(講演会、映画会、おはなし会等)を行う部屋で、収容人員は100名。
- (3) 一般閲覧室は、参考図書コーナー、閲覧席、軽読書席、書架を配置し、12万冊を収蔵しています。
- (4) 児童閲覧室は、ヤングアダルトコーナー(小学校高学年、中学生向)、閲覧席、軽読書席、書架、おはなしコーナー(読み聞かせ、紙芝居等)があり、4万冊を収蔵しています。
- (5) 新聞・雑誌コーナーは、軽読書のコーナーで新聞、雑誌、パンフレット等を設置
- (6) 閉架書庫は10万冊を収蔵しており、書架はスチール製移動書架を設置しています。
- (7) 会議室は、読書会等の主催事業、来客用応接室に設置され、収容人員は約60名。

(カ) 図書状況

4年度	開館日数	貸出人数	一日平均 貸出人員	貸出冊数	一日平均 貸出冊数	登録者数	市民一人当たり 貸出冊数
	336	99,769	297	552,912	1,646	1,398	5.70

(キ) 蔵書冊数

4年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	5,537	7,525	17,495	28,454	17,021	16,673	
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	6,735	17,117	3,443	99,090	12,272	58,589	

(ク) 分類別貸出冊数

4年度	分類	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	合計
	冊数	6,557	16,809	26,864	29,977	39,860	57,660	
	分類	産業	芸術	語学	文学	AV資料	その他	
	冊数	10,991	28,906	4,886	171,239	2,850	156,313	

2 千歳市立千歳公民館

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市真町176番地の3 電話0123-23-2740

開設 昭和46年4月10日

建築構造 鉄筋コンクリート造 地上2階

敷地面積 2,930.50 m²

建築面積 750.44 m²

延床面積 1,573.88 m²

会議室 5室 23.46~68.40 m²

和室 1室 44.40 m²

講習室 1室 54.00 m²

大集会室 1室 526.93 m²



分館

分館名	延面積	開館年月日	備考
泉郷分館	353.16 m ²	昭和24年4月10日	平成26年改築
協和分館	108.54 m ²	昭和24年10月1日	昭和48年改築
長都分館	358.02 m ²	昭和25年5月10日	昭和59年増築
新川分館	215.30 m ²	昭和28年8月18日	平成16年新川連合会館
中央分館	609.87 m ²	昭和30年11月1日	平成11年コミセン併設
幌加分館	124.21 m ²	昭和36年11月1日	昭和56年改築
根志越分館	223.56 m ²	昭和37年9月24日	昭和55年改築
東丘分館	149.85 m ²	昭和37年11月1日	昭和57年改築
釜加分館	608.68 m ²	昭和38年3月1日	平成9年コミセン併設
駒里分館	268.92 m ²	昭和43年10月1日	昭和63年増築
長都開拓分館	169.29 m ²	平成7年4月1日	

(イ) 沿革

昭和22年に千歳小学校の一部を借り新設し、29年には東雲町に独立した公民館を開設しました。37年には、市民会館の落成に伴い、市民会館内に公民館が併設され、農村地区に設置されていた各公民館は分館と改称されました。その後、46年4月に現在地に新築開館し、現在に至っています。平成20年4月から、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に指定管理者制度を導入しています。現在の指定管理者は公益社団法人千歳市シルバー人材センターです。

(ウ) 運営方針

- (1) 生きがいのある豊かな生活を送るための学習機会の充実
 - ・生きがいを持って強く生きるための学習活動の促進
 - ・多様な生活課題に対応し人生経験を生かした実践的な学習機会の充実
- (2) 豊かな経験や学習の成果を生かした社会参加の促進
 - ・高齢者の活力を地域社会に生かすボランティア活動の促進
 - ・地域での世代間交流と生活文化の伝承活動の促進
- (3) 学ぶ意欲を高め社会参加を促進する学習環境の整備
 - ・高齢者の学習活動と社会参加を支援するコーディネート機能の整備
 - ・地域での主体的な学習活動の奨励と支援体制の充実

(エ) 公民館教室開講状況

令和4年度

	昼間教室		夜間教室	
	教室名	人数	教室名	人数
千歳公民館	ZUMBA	44	ヨガ入門	27
	歌舞伎おどり入門	5	フラダンス	9
	座ってリズム体操	41	英会話 初級	25
	フラワー・アレンジメント	13	アランの日常英会話	13
	実践英会話	27	はじめての社交ダンス	14
	歌舞伎おどり 初級	5		
	ハワイアンダンス	10		
	パソコン入門	14		
	アトマナンダ・ヨガ入門	28		
	パソコン応用	9		
	健康ヨガ	44		
	囲碁	17		
	きものの着付け	7		
	三味線 中級	6		
	リンパセラピー	11		
	さわやか健康体操	26		
	リフレッシュヨガ	19		
	茶道	14		
	三味線 初級	8		
	津軽三味線	6		
市民文化センター	ふっくらパン	15	ストレッチ体操	21
	やさしい基本ストレッチ体操	30	社交ダンス	11
	コンディショニング	15		
	陶芸	6		
市民ギャラリー	粘土工芸	7	書道 (夜)	17
	書道 (昼)	19		
	絵画 (水彩画)	21		
	昼間教室 合計	467	夜間教室 合計	137
総計 35 教室 604 人 ^{※1}				

※1：中止した教室を除く

(オ) 公民館利用状況

令和4年度

公民館			分館 (11 分館の合計)		
	利用件数	利用者数		利用件数	利用者数
青少年	19	162	青少年	91	1,772
社会学級	0	0	社会学級	30	333
婦人学級	0	0	婦人学級	8	57
文化関係	891	8,287	文化関係	209	4,115
スポーツ	607	12,331	スポーツ	6	34
集会・会議	120	2,473	集会・会議	223	2,187
その他一般	75	1,648	その他一般	12	137
計	1,712	24,901	計	579	8,635

3 千歳市民文化センター（北ガス文化ホール）

（ア）施設の概要

所在地 千歳市北栄2丁目2番11号 電話 0123-26-1151

開設 昭和59年4月1日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階地下2階

敷地面積 16,654.27 m²

建築面積 6,870.10 m²

延床面積 13,015.68 m²

（内訳）

地階1	74.84 m ²	（電気、機械室）
地階2	1,274.20 m ²	（電気、機械室）
1階	4,260.84 m ²	（リハーサル室、プラネタリウム、控室）
2階	2,973.62 m ²	（中ホール、調理教室、美術工芸室、陶芸教室、和室、多目的室）
3階	2,763.00 m ²	（大ホール、視聴覚室、中会議室）
4階	1,396.26 m ²	（大会議室、展示ホール、小会議室）
塔屋	272.92 m ²	（電気、機械室）



（イ）沿革

昭和54年千歳市開基百年記念事業の一環として、文化活動、芸術・文化の鑑賞そして生涯を通じた学習活動の拠点となる施設の建設が計画され、55年に実施設計開始、56年6月に着工し、3か年工事で58年12月1日竣工、59年4月21日に全館供用開始しました。

平成17年4月から1年間をかけてリニューアル工事を行い、18年4月7日から全館供用を再開しました。

25年1月から3月にかけて大ホール、26年1月から3月にかけて中ホールの音響・照明設備の改修整備を行い、舞台演出の技術革新に対応するデジタル化された最新の音響・照明設備を導入しました。

施設は、大ホール（客席1,275）、中ホール（客席412）、会議室、視聴覚室、調理教室等の研修室、プラネタリウムなどを備え、開館以来、舞台公演、講演会、各種大会のほかサークル活動に広く活用されています。

19年4月から民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や運営の効率化を目的に指定管理者制度を導入しています。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

（ウ）運営方針

市民の主体的な学習活動を助長し、創造的な芸術文化活動を奨励するため施設のもつ教育的機能を十分発揮するとともに、市民が気軽に利用できる施設として、サービス向上に努めています。

(エ) 主催・主管事業

自主文化事業 (20 事業)

事業名	開催日	入場者数	内容
第20回キラキラコンサート	7月24日	453	千歳市内の小・中・高生による吹奏楽・リコーダーの演奏会
文化祭2022 カルチャーミックス	8月20日～ 21日	—	文化祭2022として次の8事業を実施
名作映画観賞会	8月20日	76	文化祭2022の一事業
ファミリー映画鑑賞会	8月21日	121	文化祭2022の一事業
人形劇団えりっこの人形劇	8月21日	43	文化祭2022の一事業
初心者のためのリラックスヨガ	8月21日	9	文化祭2022の一事業
初心者向けダンス教室	8月21日	15	文化祭2022の一事業
初心者向け陶芸教室	8月21日	5	文化祭2022の一事業
子ども科学体験教室	8月21日	61	文化祭2022の一事業
家族で作るお菓子教室	8月21日	31	文化祭2022の一事業
ベネロベの仲よし音楽会	9月11日	157	NHK Eテレのベネロベの着ぐるみを着た奏者の生演奏
東儀秀樹 スペシャルコンサート	9月19日	325	ピアノがKeiko氏、ヴァイオリンが白須今氏の共演によるコンサート
青少年ミュージックフェスティバル 千歳ジュニアオーケストラ	10月10日	385	千歳の若い世代による定期演奏会
オーロラワンダーランド	12月10日	112	オーロラメッセンジャー中垣哲也氏作のプラネタリウムを上映
オーケストラ体験教室	1月15日	1	千歳フィルハーモニーオーケストラによる体験教室
ニューイヤーコンサート	1月15日	298	千歳フィルハーモニーオーケストラのコンサート
サンドアート体験公演2022	1月29日	90	サンドアーティストによるサンドアートパフォーマンス
サンドアート体験公演2022 体験教室	1月29日	29	サンドアーティストによるサンドアート体験教室
夢舞台2023 高校演劇 in ちとせ	2月5日	206	千歳高校、北陽高校、恵庭南高校による演劇公演
第5回千歳市小中高校吹奏楽ジョイントコンサート	2月19日	417	千歳市吹奏楽連絡協議会との共催によるコンサート
千歳寄席 若手真打競演2023	3月21日	198	若手落語家による千歳寄席

(オ) 利用案内

- (1) 大ホール舞台は、間口18m、高さ9m、奥行15.5mで、特に音響装置機能の充実を図り、走行式反射板（電動）を採用するなど全国有数の音響機能を有しています。
- (2) 中ホール舞台は、間口11m、高さ5.5m、奥行10mで、音響反射板を設置しています。
- (3) プラネタリウムは、ドーム直径11.3m、座席数は120席。
- (4) 視聴覚室は、ビデオプロジェクター・音響装置を備えており75人程度の研修が可能。
- (5) 大会議室は、音響装置を備えており移動ステージを組むことにより約200席の小ホールとしても使用できます。
- (6) 美術工芸教室には、イーゼル・石膏像・人台などが用意されており、利用人数は約30人となっています。
- (7) 陶芸教室は、土練機、電動ろくろ等の機器を備え、約20人用の作業室と作品の乾燥室、別室には都市ガス焚きの窯を設置しており、一連の作業が行えます。

(カ) 利用状況

令和4年度

施設区分	大ホール等	中ホール等	会議室等	プラネタリウム	合計	
利用件数	1,049	267	2,212	121	3,649	
利用件数の内訳	式典	42	14	48		104
	講演・集会	18	3	149		170
	会議・研修等	5	21	685		711
	邦楽・邦舞	167	65	290		522
	洋楽・洋舞	375	82	229		686
	演劇	6	16	13		35
	映画	4	3	1		8
	公民館教室	0	0	175		175
	プラネタリウム				121	121
	展示・その他	432	63	622	0	1,117
利用人数	58,121	17,396	46,813	1,602	123,932	

4 千歳市民ギャラリー

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 電話 0123-42-5214

開設 平成7年4月15日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上4階地下1階

敷地面積 746 m²

建築面積 587 m²

延床面積 2,418 m²

(内訳)

地階1 83 m² (空調、給排水・ボイラー室)

1階 573 m² (展示ホール1: 260 m²)

2階 530 m² (展示ホール2: 261 m²)

3階 594 m² (研修室1: 67 m²、研修室2: 85 m²、研修室3: 180 m²、事務室等)

4階 594 m² (市民活動交流センター「ミナクル」、女性団体協議会、文化団体連絡協議会)

塔屋 44 m² (エレベーター機械室)



(イ) 沿革

平成7年4月、千歳市第4期総合計画「人間性と個性を培う”教育文化都市・ちとせ”」の一環として、市民が感性や情操を高め、心豊かで潤いのある地域文化の創造を目指して、創作活動や鑑賞等と芸術文化活動に積極的に参加できる機会の拡充と、発表活動等に対して支援の充実に努めるため開館しました。

19年4月から民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や運営の効率化を目的に指定管理者制度を導入しています。現在の指定管理者はセントラルリーシングシステム株式会社です。

(ウ) 運営方針

市民文化センター（北ガス文化ホール）を補完する施設として、市民の芸術文化の拠点となるよう、美術工芸等の創造活動や発表・鑑賞機会の充実に努めています。

(エ) 自主文化事業

自主文化事業（7事業）

事業名	開催日	入場者数	内容
志村貞雄 油彩展	6月22日～ 26日	41	収蔵油彩画20点を展示
千歳アマチュア写真クラブ合同写真展	6月30日～ 7月3日	531	千歳市内在住アマチュアカメラマンの作品 166点を展示
佐藤国男 版画展	9月28日～ 10月2日	137	収蔵版画32点を展示
3市美術協会交流展2022	11月9日～ 17日	932	千歳市、恵庭市、北広島市の美術協会の作品 87点を展示
収蔵作品展	12月14日～ 18日	121	関川弘道画伯の油彩画17点、菊地又男画伯 の油彩画17点を展示
嶋田忠 写真展	2月15日～ 19日	181	市内在住写真家の収蔵写真31点を展示
第6回千歳市文化団体交流展	3月23日～ 26日	702	千歳市内の文化芸術サークル合同による作 品を展示

(オ) 利用案内

- (1) 展示ホールは、1階260㎡、2階261㎡の2室があり、市内初の本格的ギャラリーとして美術・書道関係の展示が行われています。
- (2) 研修室は、67㎡、85㎡、180㎡の3室があり、イーゼル・石膏像・人台などを備えています。

(カ) 利用状況

施設区分		展示ホール	研修室等	合計
利用件数		224	341	565
利用 件数 の内 訳	研修・講習	0	222	222
	展 示	224	9	233
	公民館教室	0	108	108
	そ の 他	0	2	2
利用人数		13,728	2,767	16,495

5 千歳市民活動交流センター「ミナクール」

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市千代田町5丁目7番地の1 千歳市民ギャラリー
 リー4階
 電話 0123-42-5214

開設 平成18年8月1日

施設設備 打合せコーナー、交流スペース、談話室兼児童室、
 作業コーナー、情報コーナー、掲示コーナー、図書
 コーナー、展示コーナー、相談窓口

利用時間 9:00~21:00
 (休館日:毎週月曜日、毎月最終金曜日、年末年始)



(イ) 沿革

豊かな市民生活や活力ある地域社会を実現するため、自主的な市民活動や交流を積極的に推進することを目的に設置しました。

(ウ) 利用案内

対象:市民活動をしている団体や個人
 使用料:無料(印刷機等一部有料)

(エ) 所管課

教育委員会教育部生涯学習課

(オ) 利用状況

令和4年度

(単位:人)

総利用者数	利用室別							
	打合せ コーナー	交 流 スペース	談話室兼 児 童 室	図 書 コーナー	作 業 コーナー	情 報 コーナー	展 示 コーナー	見学相談
5,505	2,987	517	5	9	899	420	162	506

6 千歳市青少年会館

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市東雲町1丁目10番地 電話 0123-23-1945

開設 昭和44年12月1日

建築構造 鉄骨造一部2階建

敷地面積 704.60 m²

延床面積 498.96 m²

(内訳)

体育場 235.44 m²

研修室1号 38.43 m²

研修室2号 49.41 m²

和室 11.07 m²

事務室 15.30 m²



(イ) 沿革

昭和44年12月、北海道百年記念地域事業として青少年が同じ世代の仲間とともに、自らが求めるスポーツや自由な活動を通じて、連帯性、協調性、責任感などを養い、青少年の心身の健全な発達及び地域青少年活動の振興を図ることを目的に建設されました。

平成9年6月に学校適応指導教室「おあしす」が会館内に開設され、不登校児童生徒に対し、教育相談や集団活動における生活習慣や学習等について指導・援助を行うことに利用されています。

18年4月から民間業者による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費の削減や施設管理の効率化を目的に指定管理者制度を導入しています。現在の指定管理者は公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会です。

(ウ) 利用案内

対象：児童生徒及び学生など

使用料：無料

(エ) 利用状況

令和4年度

(単位：人)

総利用者数	利用者数		室別利用状況			
	おあしす	一般団体	体育室	集会室	研修室	その他
13,509	10,269	3,240	5,726	2,310	4,553	920

※室別利用者数は延べ人数

〔5〕 文化財

1 施設概要

千歳市埋蔵文化財センター

所在地	千歳市長都 42 番地の 1
面積	1,750 m ²
開館	平成 22 年 4 月 1 日
主要施設	常設展示室、企画展示室、レクチャールーム、体験学習室
常設展示の見学	月曜日～金曜日（祝日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日を除く）及び 毎月第 2 日曜日の午前 9 時から午後 5 時まで、無料



2 沿革

先人が時代とともに築いてきた文化は、現代の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。遺跡は主に日本海に流れる千歳川とその支流、長都川、ユカンボシ川流域などや、太平洋に流れる美々川とその支流美沢川流域で発見され、令和 5 年 7 月までに 347 遺跡にのぼり、国指定史跡 2 か所、国指定重要文化財 3 件、市指定史跡 1 か所、市指定有形文化財 3 件があります。

埋蔵文化財以外では、近世から現代までの歴史、文化を伝える有形文化財 3 件、無形文化財 1 件とアイヌの人々が伝承してきた無形文化財 1 件が市の文化財に指定されています。また、アイヌの古式舞踊は、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

千歳市埋蔵文化財センターは、文化財の保護と活用の拠点施設として、平成 22 年 4 月、旧長都小中学校を利用して業務を開始しました。遺跡からの出土品が市民に公開されています。

3 国指定史跡

(ア) ウサクマイ遺跡群 千歳市蘭越（昭和 54 年 5 月 23 日指定） 管理団体：千歳市

本遺跡群は、内別川の流域や千歳川右岸の台地上に所在する、縄文時代から擦文時代に至る 21 か所の遺跡から成り、史跡指定地は 146 ha と広域に及びます。人々が暮らした痕跡は、古くは約 7,000 年前の縄文時代早期にさかのぼり、ウサクマイ A 遺跡では擦文時代初頭の 28 の墓抗が発見され、C 遺跡では擦文時代の集落跡として 79 の竪穴住居跡が地表に明瞭なくぼみを見せて密集しています。

J 遺跡では、縄文時代前期の泥炭層が形成されていて木製品などの発見も期待されるなど、貴重な遺跡群です。



ウサクマイ C 遺跡見学コース入口

(イ) キウス周堤墓群 千歳市中央(昭和54年10月23日指定) 管理団体:千歳市

周堤墓とは、今から約3,200年前の縄文時代後期に造られた、北海道に固有の集団墓です。地面を円形に掘り下げ、周囲に環状に土を盛った区画の中に墓穴を掘り、遺体を埋葬しました。キウス周堤墓群には全部で9基の周堤墓があります。大きなものは直径が8.3mもあり、他に例を見ない規模を誇る縄文時代最大級の集団墓です。現在でも地表からその形を見ることができるとまった周堤墓はここにしかない貴重なものとして、1979年に4.9haが史跡に指定されました。2019年には追加指定があり、指定地は10.9haに拡大されています。



キウス周堤墓群(1号周堤墓)

キウス周堤墓群を構成資産の一つとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、令和3年7月27日の第44回世界遺産委員会拡大会合で、世界遺産一覧表への記載が決定されました。

4 国指定重要文化財

(ア) 動物形土製品 昭和51年美々4遺跡出土 市所有(昭和54年6月6日指定)

頭、首、胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどにも見える不思議な姿をしています。全長31.5cm、最大幅16.2cm、最大厚9.8cm、中には空洞で全身に美しい模様が描かれています。約3,000年前の縄文時代晩期に作られたもので、埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。

(イ) 土面 昭和61年ママチ遺跡出土 国所有(昭和63年6月6日指定)

ママチ川のほとりで発掘された約2,400年前の縄文時代晩期のお墓から発見されました。縦横18cmで、ちょうど、お祭りの露店で売っているお面と同じくらいの大きさで、口と目の部分がくり抜かれ、静かな死の表情を表しています。当時、この土面は墓標に付けられていたとも考えられています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されており、複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。



動物形土製品



土面

(ウ) 北海道美々8遺跡出土品 千歳市美々 道所有(平成17年6月9日指定)

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々8遺跡(低湿部)の発掘調査によって見つかった、アイヌ文化の木製品を中心とする1,164点の出土品です。出土品は北海道立埋蔵文化財センターに保管され、一部が展示されています。

5 国指定重要無形民俗文化財

(ア) アイヌ古式舞踊 千歳アイヌ文化伝承保存会（平成6年12月21日構成団体に指定）

アイヌとはアイヌ語で「人間」を意味する言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学びとった知恵や工夫、習慣や信仰は親から子へと大切に伝えられ、その一つに「舞踊」があります。千歳地方で傳承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤイサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。



6 市指定文化財

(ア) 千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子 有形文化財 民間所有（昭和52年4月23日指定）

かつて千歳一帯はアイヌ語で「大きなくぼ地、谷」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。文化2（1805）年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並・山田鯉兵衛嘉充（やまだりへえよしみつ）が箱館奉行の羽太正養（はぶとまさやす）に新しい地名を付けたいと願い出たところ、当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の背面に記されています。

埋蔵文化財センターに複製品を展示しています。



釜加の厨子（正面）



厨子背面に書かれた由来文

(イ) 蕨手刀 有形文化財 市所有（昭和55年7月21日指定）

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀。写真は漆塗り鞘に入った状態で発見された大変珍しい一振り、刀の長さは推定56cm。柄の部分の形に特徴があり、春の山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。

この型の刀は、1,300年ほど前の東北地方の遺跡から数多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料となっています。写真の刀と鞘は埋蔵文化財センターに展示しています。



蕨手刀

(ウ) 美々貝塚 史跡 千歳市美々758番地(昭和52年4月23日指定)

美々貝塚は約6,000年前の縄文前期の貝塚で、当時の海岸線は現在の苫小牧の海岸線よりも17kmも内陸にありました。4つの貝塚で構成される「地点貝塚」で最も大きなものは、直径4m、貝層は厚さが1.2mもあります。保存施設内には4分の1が展示されており、貝塚の断面を観察することができます。

美々貝塚からはヤマトシジミを中心とした15種類の貝類、スズキやボラ、サケ、ウグイなど8種類の魚類、ウヤアビなどの5種類の鳥類、さらにシカ、イヌ、ネズミ、トドなどの哺乳類の骨などが出土しています。魚を捕る網漁に使用された石錘(おもり)や、大型動物を捕獲するための銛先(もりさき)、石鏃などの漁具・狩猟具、また、丸底や尖底の土器も出土しています。

美々貝塚は、大昔の千歳の自然環境や人々の生活・文化を知る上で大切な遺跡であり、昭和52年に市の史跡に指定され、一般に公開されています。



美々貝塚

(エ) 磨製石棒 有形文化財 市所有(昭和52年4月23日指定)

キウス周堤墓群4号周堤墓外縁部のお墓から見つかった石の棒。全長57cm、重さ710gで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。黒い色調は重量感にあふれ、美術的にもたいへん優れています。約3,200年前の縄文時代後期に作られたもので、埋蔵文化財センターに展示しています。



磨製石棒

(オ) 男性土偶 有形文化財 市所有(昭和52年4月23日指定)

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった板状の人形(土偶)。全長14.5cm、厚さ0.9cm。縄文時代晩期に作られたと考えられており、眉や鼻などの顔の表現がママチの土面ともよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。

埋蔵文化財センターに展示しています。



男性土偶

(カ) 駅通看板 有形文化財 個人所有(昭和52年4月23日指定)

明治5(1872)年、北海道開拓使は、函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月6回ずつ郵便物を運んでいました。その時に、千歳で郵便局(郵便取扱所)となったのが、新保旅館でした。当時の様子を伝える縦120cm、横94cmの看板2枚が大切に保存されています。

明治末から昭和初期の間に作られたと考えられます。



駅通看板

(キ) 泉郷獅子舞 無形文化財 泉郷獅子舞保存会 (昭和54年10月25日指定)

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、古くから獅子舞が伝えられている泉郷の農村地帯があります。

原野だった泉郷は、明治20(1887)年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人々が同29年頃に伝えたと言われています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年9月に泉郷神社に奉納されますが、その勇壮さは、今も人々の心をかき立てています。



泉郷獅子舞

(ク) アイヌの伝統的芸能と工芸技術 無形文化財 千歳アイヌ文化伝承保存会 (平成5年5月20日指定)

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウエペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル(刺しゅう)・チタルペ(ゴザ編み)などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

千歳アイヌ文化伝承保存会を中心に行われている伝承保存活動の主な内容

- 歌と踊り：ホリッパ(輪踊り)・ハラルキ(鶴の舞)・ヤイサマ(即興の歌)・ウポポ(座り歌)
- 語り：ユカラ(神謡・口承の英雄・神話伝説)・ウエペケレ(昔話)
- 祭祀：カムイノミ(神様を迎える儀式)・イチャルバ(先祖の慰霊祭)
- 工芸技術：イナウケ(イナウ作り)・イクバスイ作りなどの男に伝わる技術
- 料理：シト(団子)・シケレペ(キハダの実の料理など)



模様入りのチタルペ・刺繍が施された着物とマトンプシ



アシリチェップノミに作られたヌサ(祭壇)

(ケ) 山線鉄橋 有形文化財 市所有 (平成11年8月24日指定)

北海道内で現在使用されているものとしては最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）であり、明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線の砂川・妹背牛間に「第一空知橋」として架けられていましたが、その後廃橋になりました。昭和2（1927）年に払い下げを受け、支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（軽便鉄道「山線」）の橋「湖畔橋」として移設され、昭和26（1951）年の山線廃止後は道路橋として利用されてきました。

平成7年から9年に大規模な改修工事を行い、近代建築遺産として恒久的に保存が図られました。現在は「山線鉄橋」の名で歩道橋として利用され、支笏湖の新たなシンボルになっています。



山線鉄橋

(コ) 遺跡と埋蔵文化財の年表

時代区分		主な埋蔵文化財
本州	北海道	
近代	開拓	
江戸	アイヌ	末広遺跡 (410年前) フレドイヒのチャシ ペサのチャシ シュトクンネヒのチャシ アッテウシのチャシ
織豊		
室町		
鎌倉		
平安	擦文	(800年前) 千歳神社遺跡 末広遺跡 祝梅三角山D遺跡 祝梅竪穴遺跡
奈良		
古墳	続縄文	蕨手刀 (1,300年前) ふ化場1遺跡 ママチ高台遺跡
弥生		
縄文	晩期	(2,400年前) ママチ遺跡、梅川3遺跡 男性土偶、土面、 動物形土製品
	後期	キウス周堤墓群、石棒 丸子山遺跡環濠 イヨマイ6遺跡
	中期	
	前期	美々貝塚
	早期	
縄文 草創期		(15,000年前) メボシ川2遺跡 祝梅上層遺跡
旧石器時代		(24,000年前) 柏台1遺跡
		(26,000年前) 丸子山遺跡 (30,000年前) 祝梅三角山下層遺跡

末広遺跡



擦文時代の竪穴式住居跡が102軒も見られた、道内でも屈指の遺跡です。
近世アイヌ期、縄文後期の資料も数多く出土しています。

男性土偶



蘭越の内別川右岸のウサクマイA遺跡付近から見つかった板状の人形(=土偶)です。眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので、男性とはっきりわかるものとしては全国でも大変珍しいものです。



美笛の熊送り場

支笏湖をつつむ豊かな森林地帯の岩陰に、キムンカムイ(山の神=ヒグマ)の頭骨が祭られていました。大自然の中で営まれてきたアイヌ文化の精神的な豊かさを示す祭場の一つです。

キウス周堤墓群

縄文時代後期後葉（約3,200年前）の集団墓地で、9基の周堤墓がまっています。最大外径は83m（1号周堤墓）、最大高は4.7m（2号周堤墓）あり、今も地表面で確認できる墓地遺構としては、縄文文化最大級の規模を誇ります。



磨製石棒

キウス周堤墓群で発見されました。長さは57cmあります。両端に刻みがつけられ、丹念に研磨された美しい石棒です。まじないやお祈りなどの道具ではないかと考えられています。



ママチ川丸木舟遺跡

市内朝日町の地下2mで発見された丸木舟です。長さ7.3m、幅58cmで堆積した地層から江戸時代のものとなります。



祝梅下層遺跡

美沢川流域遺跡群

周堤墓群のほか、集落跡や貝塚、動物形土製品など、数多くの遺構と遺物が発見された遺跡群です。



〔6〕 公益財団法人千歳青少年教育財団

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3030

設立 昭和57年3月12日

1 目的

青少年の健全育成を図るために必要な事業を行うとともに、水族館施設の管理運営に関する事業を行い、もって千歳市及び北海道における社会教育の振興に寄与すること。

2 主な事業内容

(ア) 青少年及び市民のための教育講座や体験教室の開催

(イ) 青少年団体の育成、助言、研修の実施

(ウ) 水族館の設置、企画展示、各種体験等の実施（平成26年度から所管は教育委員会から観光スポーツ部になりました。）

3 サケのふるさと 千歳水族館（旧「千歳サケのふるさと館」）

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市花園2丁目312番地 電話 0123-42-3001

開設 平成6年9月10日

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造地上3階地下1階

敷地面積 2,981.672 m²

建築面積 1,510.580 m²

(内訳)

地階 810.612 m²

1階 1,249.822 m²

2階 847.306 m²

3階 84.488 m²



(イ) 沿革

千歳川を遡上する親サケを捕獲する捕魚車（以下「インディアン水車」）は、世界に例を見ないユニークな施設であり、1896年に設置されました。このインディアン水車とその周辺を整備するウォーターフロント構想の中核となる淡水魚水族館施設「千歳サケのふるさと館」として建設されました。

サケを中心としたサケ科魚類及び北方圏淡水魚の調査、研究に基づくその生態展示、並びに生態・産業・文化等の資料展示を行い、広く水産資源や河川に関する知識の啓発・普及を目的に水族館施設として社会教育事業の振興を図ります。

平成27年7月25日、「サケのふるさと 千歳水族館」としてリニューアルオープンしました。

(ウ) 利用案内

淡水では日本最大級の水槽を有する水族館で、館内ではサケの仲間や北海道の淡水魚を中心に、世界各地の様々な淡水生物を観察することができます。また、サケの一生を紹介するサーモンムービーが上映されているほか、千歳川の水中を直接見ることのできる日本初の施設「水中観察ゾーン」があり、四季折々の千歳川の生き物たちを観察することができます。特に秋には、産卵のために遡上するサケの群れを見ることができ、千歳川にかかる水車橋から見えるインディアン水車によるサケの捕獲の様子とともに、千歳川独特の施設になっています。

(エ) 利用者数

令和4年度実績 288,128人

(オ) 入場料

	個人	団体(10人以上)	障がい者	年間パスポート券	
				個人会員	法人会員
大人	800円	600円	400円	1,500円	10,000円
高校生	500円	400円	250円	1,500円	
小学生・中学生	300円	200円	150円	500円	
幼児	無料	無料	無料	-	

※年間パスポート券は、発行日から1年間有効。

※年間パスポート券（法人会員）による入館は、1回5名まで。

(カ) 開館

(1) 開館期間：1月2日～12月28日、メンテナンスのため別途休館日あり

(2) 開館時間：9：00～17：00

(12～2月 10：00～16：00)

4 教育事業
令和4年度

事業名	開催年月	会場	対象・参加	内容
ジュニア・リーダー前期講習会	①6月26日 ②8月21日 (①は4月29日から延期して実施)	①北ガス文化ホール ②千歳市千歳コミュニティセンター	①小5～中2 12名 ②小6～中1 2名	子ども会活動の活性化を目指し、中心的な役割を果たすべきジュニア・リーダーの養成講習会。初級・中級・上級の3段階に分けて、新型コロナウイルス感染症対策として内容を縮小して2回実施した。
体験学習	①7月2日 ②10月16日	①埋蔵文化財センター、キウス周堤墓群、ハスカップ農園 ②美々川	①小1～大人 19名 ②小4～小5 10名	①新型コロナウイルス感染症対策のため昼食は取らず、午前中のみに変更し、世界文化遺産に登録されたキウス周堤墓群見学とハスカップ収穫体験を行い、千歳の歴史や市内の特産物を学んだ。 ②新型コロナウイルス感染症対策のため午前中のみの実施とし、美々川でカヌーに乗りながら千歳近郊の豊かな自然を体感することができた。
ラジオ体操講習会	7月3日	北ガス文化ホール4階大会議室	小学生～大人 43名	NHKテレビ・ラジオ体操の指導者とアシスタントの先生を講師に招き、ラジオ体操の正しい動き方を学んだ。
緑の村キャンプ大会	7月30日	青葉公園ピクニック広場	2町内会の幼児から大人まで 23名、小4～中3 23名	新型コロナ感染症の感染防止のため宿泊を取りやめ、千子連と町内会との合同デイキャンプとして開催した。運動会や食事作り、キャンプファイヤーなどを皆で協力して実施し、楽しみながら交流を深めた。
夏休み自然体験教室～水族館編～	8月3日	支笏湖、千歳水族館	小4～中1 20名	新型コロナウイルス感染症防止のため宿泊を取り止め、支笏湖での自然観察会やスジエビ採集などの野外活動、千歳水族館での水族館探検を実施した。
全道地域子ども会リーダー研修会	8月5日～8日	国立日高青少年自然の家	参加者なし	高校生リーダーが「北海道子どもキャンプ」の活動支援を行いながら、リーダーとしての資質向上を図る目的で開催。高校生シニアリーダーの参加者を募ったが、希望者がいなかった。
石狩管内地域シニア・リーダー研修会	9月 中止	中止	中高生	石狩管内地域子ども会及びシニア・リーダーに準じる会員が一堂に会し、情報交換をしながらリーダーとしての資質向上を図る。新型コロナのため中止された。
ジュニア・リーダーコース Hokkaido	9月23～24日	ネイバル深川	中2 2名	道内で活動するリーダーが参加、交流し「農業」に焦点を当てた体験等を通して理解を深めた。
サーモン・ツアー～早起きはサーモンの徳～	10月8日	サケのふるさと千歳水族館と周辺の千歳川	小4～小5 6名	新型コロナウイルス感染症防止のため宿泊を取り止め、早朝のサケ遡上見学後、自身で製作した偏光メガネを使用し水族館周辺の千歳川観察会、展示水槽へのサケの搬入体験やサケの解剖実習などを実施して、サケに対する興味関心を深めた。
ちとせの子どもクリスマス集い	12月11日	緑小学校体育館	小学1～中1 42名	シニア・リーダーが中心となって新型コロナ感染症対策を取りながら、松ぼっくりツリー作りやダンス、キャンドルサービスなどを行い、互いに親睦を深めた。
ジュニア・リーダー後期講習会	①12月17日～18日 ②2月19日	①ネイバル深川 ②千歳市千歳コミュニティセンター	①小5、中1 6名 ②小5～中3 11名	子ども会活動の活性化を目指し、中心的な役割を果たすべきジュニア・リーダーの養成講習会。初級・中級・上級の3段階に分けて実施。 ①新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、3年振りにネイバル深川にて1泊2

事業名	開催年月	会場	対象・参加	内容
				日で実施した。 ②時間を短縮して開催した。
冬休み体験教室	1月9～10日	国立日高青少年自然の家	小4～中1 19名	新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、2泊を1泊に縮小して、スポーツレクや雪合戦など冬の日高を体験、交流しながら、団体生活の規律を身につけた。
ちとせっ子雪あそび	2月5日	道の駅サーモンパーク千歳	小1～中1 41名	新型コロナウイルス感染症対策として少人数で同じ競技内容を2回行う方式に変えて、サーモンパークイベント広場で雪中運動会を行い、冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上、健康増進を図ることができた。
シニア・リーダー「つばさ」研修会	①9月19日 ②3月18～19日	①千歳市千歳コミュニティセンター ②国立日高青少年自然の家	①中高校生 5名 ②中高校生 15名	①シニアのOB、OG2名が企画し、新型コロナウイルスの影響により行事の中止が続く、希薄となってしまったシニア同士の交流や連帯感を深めるための研修を行った。 ②3年振りに宿泊をともなう研修会を実施して、レクリエーションやゲーム、各種行事や事業についての企画立案や運営方法などを学び、互いに交流しながら親睦や絆を深めることができた。
ジュニア・リーダー交流会	10月30日	千歳水族館	小中学生（ジュニア）10名、中高校生（シニア）4名	千歳水族館のハロウィンイベントにおいて、講習会以外でジュニア・リーダー同士が集い交流する場として開催した。仮装してイベント当日の準備から実施までを体験し、リーダー活動について実践的に学ぶとともに、ジュニア・リーダー同士の交流を深める機会となった。
シニア・リーダー交流会 ①市町村ジュニアリーダー合同研修交流会	3月下旬 中止	ネイバル深川	中高校生	道内5市町の青少年リーダーが集まり、2泊3日でレクリエーション技術や活動内容の紹介などによる交流を実施する予定であったが、5市町で調整・検討した結果、中止となった。
シニア・リーダー交流会 ②別海町リーダーサークル「翼」オンライン交流会	①5月18日 ②6月12日	サケのふるさと千歳水族館	①中高校生 7名 ②中高校生 2名	「つばさ」繋がりで知り合った団体との交流会。お互いのサークルやレクリエーションゲームの方法などについてオンラインで解説、実演しながら情報交換を行い、新たな技術や知識を得るとともに交流を深めた。
サケふるセミナー	土日祝日 計7回	サケのふるさと千歳水族館	事前申込・当日入館者 のべ206名	サケの採卵や水生生物の飼育に関する体験プログラムを合計7回実施した。
シニア・リーダーわくわく体験教室	10月8日	サケのふるさと千歳水族館	小4～小5 6名	シニア・リーダーが講師となり、日頃の活動訓練の成果を発揮し、リーダーとしての資質向上を図ることを目的として、10月8日(土)に千歳水族館で開催したサーモン・ツアーにおいて、「偏光メガネ」の作り方について、参加者に指導した。
千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業支援活動	①水族館 5事業 ②町内会 5事業	サケのふるさと千歳水族館他	中高生 ①のべ21名 ②のべ36名	シニア・リーダーがリーダー活動で養った経験・資質を活かして、千歳水族館の学習事業や町内会の事業に参加、支援した。

〔7〕 社会体育事業
令和4年度

事業名	開催年月	会場	対象・参加	趣旨
かけっこ教室	4月9日～17日 (3日間)	スポーツセンター1階アリーナ	小学1～6年生 延べ119名	かけっこの基本を学んで、少しでも足が速くなる練習を行う教室。体力づくりのための運動も実施する。
トランポリン教室 (5・6年生コース)	6月14日～7月6日 (8日間)	スポーツセンター第2体育館	小学5・6年生 延べ150名	トランポリンは、人間が空中に跳び上がりたいという欲求を十分に満たしてくれる運動で、トランポリンの楽しさと厳しさを習得し、健やかでたくましい心身の成長を図る。
スポーツ体験教室 (3・4年生コース)	8月16日～9月9日 (8日間)	スポーツセンター第2体育館	小学3・4年生 延べ180名	跳箱、縄跳び、鉄棒等、基礎的な運動を取り入れた体育教室。体力づくりのための運動も実施する。
スポーツ体験教室 (1・2年生コース)	9月14日～22日 (5日間)	スポーツセンター第2体育館	小学1・2年生 延べ134名	跳箱、縄跳び、鉄棒等、基礎的な運動を取り入れた体育教室。体力づくりのための運動も実施する。
キッズスポーツ 5歳児教室	7月28日～8月4日 (5日間)	スポーツセンター第2体育館及びアリーナ	5歳児 延べ103名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ。
キッズチャレンジ 4歳児教室	10月18日～27日 (5日間)	スポーツセンター第2体育館	4歳児 延べ63名	団体活動を通して、幼児に体を動かせることと、スキンシップを図ることで幼児同士の結びつきを重視し、遊びに必要な運動能力を伸ばし、運動の楽しさを学ぶ。
ジュニア卓球教室	11月9日～17日 (5日間)	スポーツセンター第2体育館	小学生 延べ87名	卓球の初歩的技術を身につけさせ、楽しさを理解させることで、教室終了後も生活の中で実践していく習慣を身につけさせる。
スケート教室	1月11日～13日 (3日間)	青空公園スケートリンク	小学1年生 延べ174名	スケートの履き方、取扱いからはじまり、基礎的な技術を習得し、冬期間の運動の楽しさを学ぶ。

(主催：公益財団法人千歳市体育協会)

〔8〕 学校開放事業

学校体育施設（体育館、グラウンド）を広く市民スポーツの場に開放し、市民スポーツの振興を図ることを目的として実施し、市民の好評を得ています。

1 体育館

（ア） 使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

（イ） 開放期間・時間

開放期間	4月～3月	
開放時間	平日	17:00～21:00
	土・日・祝日・学校の休業日	9:00～21:00

（ウ） 開放学校

市内小中学校（東小学校を除く）

2 グラウンド

（ア） 使用申込み

利用希望者は、利用する月の前月の15日までに観光スポーツ部スポーツ振興課スポーツ施設係まで申し込む。（受付：土・日・祝日を除く9:00～17:00）

（イ） 開放期間・時間

開放期間	5月～10月	
開放時間	平日	5:00～7:00 17:00～19:00
	土・日・祝日・学校の休業日	5:00～19:00

（ウ） 開放学校

市内小中学校（東小学校、北進小中学校除く）

3 武道場

（ア） 使用申込み

利用希望団体は、利用する月の前月の15日までに管理指導員まで申し込む。

（イ） 開放期間・時間

開放期間	4月～3月	
開放時間	平日	19:00～21:00

（ウ） 開放学校

勇舞中学校

4 利用状況

（ア） 利用人数

年 度	体 育 館	武 道 場	グラウンド	計
令和2年度	51,669人	733人	21,596人	73,998人
令和3年度	46,385人	872人	12,606人	59,863人
令和4年度	81,716人	1,470人	21,139人	104,325人

(イ) 種目別利用状況

令和4年度

体育館種目別利用状況

種 目	利用状況	種 目	利用状況
バスケットボール	31.9%	テニス	1.7%
フットサル	22.9%	バレーボール	7.4%
野球	8.5%	空手・少林寺	3.5%
バドミントン	9%	その他	15.1%

グラウンド種目別利用状況

種 目	利用状況
野球	87.6%
サッカー	12.3%
その他	0.1%

(ウ) 開放校及び開放期間

	体育館	武道場	グラウンド
学 校 名	(通年) 千歳小・北栄小・末広小・緑小・ 千歳第二小・支笏湖小・日の出 小・信濃小・高台小・祝梅小・桜 木小・向陽台小・北陽小・泉沢小・ 北進小中・駒里小中	(通年)	(5月～10月) 千歳小・北栄小・末広小・緑小・ 千歳第二小・支笏湖小・日の出 小・信濃小・高台小・祝梅小・桜 木小・向陽台小・北陽小・泉沢小・ 駒里小中
	千歳中・青葉中・東千歳中・富丘 中・北斗中・向陽台中・勇舞中	勇舞中	千歳中・青葉中・東千歳中・富丘 中・北斗中・向陽台中・勇舞中

〔9〕 社会体育施設

1 千歳市温水プール

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市流通3丁目1番9号 電話 0123-49-7001

開設 平成10年7月20日

建築構造 鉄筋コンクリート造一部
鉄骨造 地上2階地下1階

敷地面積 7,712.63 m²

延床面積 3,643.751 m²

1階 2,766.254 m²

2階 572.920 m²

地階 304.577 m²

1階

プール、更衣室、待合ロビー、観覧ロビー、会議室

2階

ロビー、多目的ホール、会議室、歓談室、空調機械室、電気室

地階1

濾過機械室、機械監視室

(施設設備)

競泳プール (公益財団法人日本水泳連盟公認 25m、8コース)

プール室

流水プール (周回距離 44.9m)、幼児・低学年プール

ウォータースライダー (滑走路全長 101.04m)、ジャグジー (2基)、寝湯 (3人用)、採暖室、観覧席 (119席)

ロッカー室

ロッカー数 550 (男: 264人分、女: 270人分、多目的 19人分)



(イ) 沿革

新千歳空港 24 時間運用を巡る地域振興対策の一環として、平成9年4月に着工、10年5月に完成し、開設準備を経て10年7月20日から供用開始しました。

施設は、公益財団法人日本水泳連盟公認25m競泳プール8コースと、101.04mウォータースライダーや周回44.9m流水プールなどのレジャー的要素のプールを備えています。

平成21年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者はカンセイ・ビーバー共同企業体です。

(ウ) 運営方針

利用者が水に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できる施設として、サービスの向上に努めています。

(エ) 利用案内、利用状況

(1) 開館時間 10:00~21:00

(2) 休館日 月曜日 (祝日の場合は翌日)、年末年始、整備期間 (2月)

(3) 利用状況 (令和4年度)

区分		延利用者数(人)
一般利用	未就学児	3,220
	小・中学生	23,197
	高校生	1,518
	一般	15,620
	65歳以上	5,611
	障がい者	3,858
	小計	53,024

区分		延利用者数(人)
教室	未就学児	285
	小・中学生	17,149
	一般	3,428
	その他の事業	703
	小計	21,565

合計 74,589 人

2 千歳市スポーツセンター

(ア) 施設の概要

所在地	千歳市真町176番地の2	電話 0123-22-1111
開設	昭和53年7月1日	
建築構造	鉄筋コンクリート造一部 鉄骨造 地上2階	
敷地面積	20,699.99 m ²	
敷地面積	3,846.80 m ²	
延床面積	5,991.81 m ²	
	1階	3,606.77 m ²
	中2階	286.04 m ²
	2階	1,984.24 m ²
	R階	114.76 m ²



《主要施設》

収容人数	2階固定席：772席、1階移動席：1,500席、立見席：500席
◎アリーナ	1,680 m ² (42m×40m) 【バスケットボール(2面)・バレーボール(3面)・バドミントン(8面)・テニス(2面)・卓球(35台)・体力テスト】
◎第2体育館	432 m ² (16m×27m) 【バレーボール(1面)・バドミントン(3面)・卓球(6台)】
◎トレーニング室	255.49 m ² 【ランニングマシン他19種36台】
◎幼児室	91.93 m ²

(イ) 沿革

昭和45年6月の「スポーツ都市宣言」以来、全市を挙げてスポーツの振興に力を注ぎ、千歳市開基90周年・市制施行10周年の記念事業として、このスポーツセンターの建設が決定されました。51年7月の着工以来、2か年の工事期間を経て、53年3月31日に完成、同年7月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。25年4月から1年間をかけてリニューアル工事を行い、26年4月19日より全館供用を再開しました。

(ウ) 運営方針

市民すべてがスポーツに親しみ、健全な体力づくりの場として積極的に活用されるような施設運営に努めています。

(エ) 利用案内、利用状況

- (1) 開館時間 9:00~21:00
- (2) 休館日 第4月曜日、年末年始
- (3) 利用状況 (令和4年度)

区 分			延利用者数(人)	
個 人	アリーナ 及び 第2体育館	当日券	小中校	10,600
			一 般	10,692
		定期券	小中校	11
			一 般	2,934
	小 計			24,237
	トレーニング	当日券	9,866	
定期券		10,301		
小 計		20,167		
そ の 他			221	
小 計			44,625	

区 分		延利用者数(人)
団 体	スポーツ	41,177
	そ の 他	440
	会 議	3,582
	小 計	45,199

合計 89,824 人

3 千歳市開基記念総合武道館

(ア) 施設の概要

所在地 千歳市あずさ1丁目3番1号 電話 0123-22-2100

開設 平成5年6月1日

建築構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
一部鉄骨 地上2階

敷地面積 28,037.47 m²

建築面積 6,567.23 m²

延床面積 7,298.64 m²

《主要室》

1,553 m²

アリーナ 剣道6面、柔道4面(公
式)、バレーボール3面(6
人制)、バドミントン10面

剣道場 450 m² 剣道2面

柔道場 450 m² 柔道2面

弓道場 463 m² 近的28m×6人立

トレーニング室 179 m² ランニングマシン他14種37台

会議室 114.3 m²

観覧室 279 m² 固定席約454席



(イ) 沿革

千歳市開基記念事業として、この総合武道館の建設が決定されました。

平成5年3月17日に完成し、同年6月1日から供用開始しました。

平成18年4月からは、民間による経営ノウハウを活用し、サービスの向上、経費削減や効率化を目的に、指定管理者制度を導入しました。現在の指定管理者は公益財団法人千歳市体育協会です。

(ウ) 運営方針

利用者が武道に親しみ、心身の健全な発達及び健康の増進の場として、気軽に利用できるような施設運営に努めています。

(エ) 利用案内、利用状況

(1) 開館時間 9:00~21:00

(2) 休館日 第2月曜日、年末年始

(3) 利用状況 (令和4年度)

		区 分		延利用者数(人)
個 人	アリーナ 及び 競技場等	当日券	小中高	13,793
			一 般	12,961
		定期券	小中高	5,716
			一 般	9,969
	小 計			42,439
	トレーニング	当日券	4,637	
定期券		7,794		
小 計		12,431		
そ の 他				29
小 計				54,899

		区 分	延利用者数(人)
団 体	スポーツ	56,849	
	会 議	4,148	
	小 計	60,997	

合計 115,896人

4 その他の社会体育施設

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
屋内	ふれあいセンター	あずさ1丁目1番13号	通年 9:00~21:00 休館：月の最終月 曜日、年末年始	鉄骨造平屋建 1,146.50㎡ 砂入り人工芝アリーナ ゲートボール2面、テニス1面
ゲートボール	青空公園ゲートボール場	あずさ1丁目1100番	4月~10月	ゲートボール2面
陸上	青葉陸上競技場	真町176番地の1	4月~10月	全天候舗装、3種公認400mトラック
野球	千歳市民球場	泉沢868番地の22 (青葉公園内)	4月~10月	面積25,000㎡、両翼95m、センター120m、本塁~バックネット周19.6m
	青葉球場	真町2196番地の1 (青葉公園内)		面積21,000㎡、両翼95m、センター115m、本塁~バックネット周19.6m
	上長都公園野球場	上長都1051番地の17		面積7,868㎡ 両翼70m、センター85m
	若草公園野球場	若草5丁目4番地		面積21,475㎡
	青葉少年野球場	真町176番地の3		面積6,870㎡、少年野球場1面
ソフトボール	あずまソフトボール場	青葉2丁目5番地の23	4月~10月	面積6,092㎡、ソフトボール場1面
	住吉ソフトボール場	住吉1丁目3番地		面積18,000㎡、ソフトボール場2面
	臨空公園ソフトボール場	泉沢1007番地の52		面積8,250㎡、ソフトボール場2面
ラグビー	青葉公園ラグビー場	泉沢868番地の23	4月~10月	面積15,000㎡
	青葉公園サッカー場	泉沢868番地の22		面積21,000㎡
	青空公園サッカー場	あずさ1丁目1096番地		面積9,800㎡
	臨空公園サッカー場	泉沢1007番地の112		面積15,914㎡
広場	青葉多目的広場	真町176番地の3	通年	面積894㎡
	泉郷多目的広場	泉郷29番4	4月~10月	面積7,543㎡
	青葉公園ピクニック広場	泉沢868番地の23	4月~11月	面積33,000㎡
庭球	青葉公園庭球場	真町2196番地の1	4月~10月	面積11,543㎡、人工芝、硬式7面、軟式5面
	すみよし2号公園庭球場	住吉2丁目4番地		面積1,380㎡、クレイ2面
	末広東公園庭球場	末広3丁目29番地		面積800㎡、人工芝1面
	しゅくぶ公園庭球場	梅ヶ丘2丁目8番地の1		面積1,218㎡、人工芝1面
	つばさ公園庭球場	泉沢1007番地の127		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)
	上長都明星公園庭球場	上長都5番地の2		面積1,098㎡、人工芝1面

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
	向陽台公園庭球場	文京3丁目4番地の1		面積2,730㎡、人工芝4面(夜間照明2面)
水 泳 プ ール	青葉水泳プール	真町176番地の3	6月下旬～9月上旬 10:00～17:00	コンクリート DN シート張(上屋付) 25m×10.7m、5コース 深度1.1m～1.5m
	北栄水泳プール	北栄1丁目10番3号		コンクリート DN シート張(上屋付) 25m×13m、7コース 深度1.3m～1.4m
	日の出水泳プール	日の出2丁目3番		コンクリート DN シート張(上屋付) 25m×13m、7コース 深度1.1m～1.5m
	末広水泳プール	富丘2丁目6番3号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×13m、7コース 深度1.1m～1.4m
	東水泳プール	東丘824番地の30		アルミ(上屋付) 20m×9m、3コース 深度0.9m～1.1m
	北斗水泳プール	北斗5丁目1番1号		アルミ DN シート張(上屋付) 24m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
	向陽台水泳プール	若草5丁目3番地		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
	信濃水泳プール	信濃2丁目34番地12号		アルミ DN シート張(上屋付) 25m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
	駒里水泳プール	駒里945番地		FRP(上屋付) 25m×7.82m、3コース 深度1.1m～1.2m
	北陽水泳プール	北陽3丁目9番1号		FRP(上屋付) 25m×10.2m、4コース 深度1.1m～1.4m
ス ケ ー ト	青空公園スケート場	あずさ1丁目1096番地	1月～2月 9:00～20:30	面積8,602.95㎡、1周400m 公認、夜間照明付、夏期ローラースケート場
	日の出スケートリンク	日の出小学校	1月～2月 8:30～16:00	1周約200m
	祝梅スケートリンク	祝梅小学校		
	高台スケートリンク	高台小学校		
	向陽台スケートリンク	向陽台小学校		
	信濃スケートリンク	信濃小学校		
	桜木スケートリンク	桜木小学校		
	北栄スケートリンク	北栄小学校		
	千歳スケートリンク	千歳小学校		
	緑スケートリンク	緑小学校		
	北陽スケートリンク	北陽小学校		
千歳第二スケートリンク	千歳第二小学校			

区分	施設名	所在地	利用期間・時間	施設概要
	泉沢スケートリンク	泉沢小学校		
	支笏湖スケートリンク	支笏湖小学校		1周約140m
スキー	千歳市市民スキー場	泉沢1007番地の9	12月～3月 9:00～17:00 ナイター期間 9:00～21:00	面積52,000㎡、管理棟175㎡、 標高差48m、最大斜度27度、滑 降長250m、簡易リフト
	歩くスキーコース	青葉公園	12月～3月	クラシカルコース 3.2km スケーティングコース 3.0km ウォーキングコース 3.6km

千歳市の教育
2023

令和5年10月発行

発行・編集 千歳市教育委員会
